

銘打つたりとは、さもあるべき事たり、去れば同庵は本道内地をかけた第一流の貴紳を顧客となし、重に中見藝妓を侍らして其客扱に遺憾なからしむるは嬉しきも嬉しき限りなり

○東壽司(南二條西二)

も又た當區屈指の料理店、西の宮東京庵と共に並び稱せ

らるゝもの、客室の清潔、女中の氣轉は先づ粹人通客をして大に嬉しからしむるさへあるに、調理又た頗る美にして近來紳士紳商の足を運ぶもの夥しきを見る

○西の宮(南四條西四)

足一度幌都を踏みたるの人士にして旗亭西の宮を知らざるものなし蓋し西の宮は當區旗亭と随一なるものなればなり其位置の廓内にあり

て見番に近く妓招聘に便なると客室の清潔にして調理の美なるとは顧客をして知らず知らず足を西の宮に馳せしむ加ふるに待遇の懇切なると仲居に美人の多きとは區内他同業者の斷じて及ばざるの處之等は粹客間に西の宮の名をして嘖々たりしめたる所以ならんか主人は本間鐵五郎氏義侠にして俠名高し別に支店を中島遊園地に設け風雅幽邃なるを以て特に其名を知られ四季の觀光一として適せざるな

く荷く粹を知るの人士必ず一遊を試みざるの旗亭と爲す

○永樂屋(南三條西二)

近年著しく名聲を知られ紳士紳商の來り遊ぶもの多きを以て名ある旗亭を永樂屋と爲す亭は南三條西二丁目に在り外觀甚だ小なるが如し

と雖も其實は然らず客室十一間の多きに達し何れも清潔にして器具又宜しく其調理は海魚たると川魚たるとを問はず客の需めに應じ隨時之を出すを以て名あり尤も鰻焼を以て知られ且つ女中の氣轉は以て客を喜ばしめ札幌來遊の人士は必ず一遊を試みて故國への土産と爲さざるべからざる料亭なり

○三河屋(南六條西三)

櫻は池に臨み夏期の丁酌に適し冬期雪見の風流に適し加ふるに新鮮の川魚を供するを以て知らるゝを三河屋と爲す亭は南六條西三丁目に

於ける成田山境内にあり尙ほ支店を遊園地に設け營業隆々たるは一に客に對する懇切と新鮮なる川魚調理の妙とが他の料亭より超絶するに依る亭内客室多く一大宴會には適せずとするも二次會の料亭としては三河屋を第一と爲す其調理の迅速なるに粹客の尤も喜ぶ處二六時中絃歌の聲の絶ゆるなきは如何に三河屋が好顧客

を有するかを知るに足らんなり尙ほ遊園地の支店は一大池沼を中央にして之を圍繞して幾多の離れを有し尤も夏期の清遊に適するを以て詩人騷客に知らる

○松月亭(大通西四) 調理の美味に一驚を來さしめ價の安きに再驚を興せしむるを料亭松月と爲す亭は區内の要樞大通西四丁目一條通りの半通りに在りと雖も建築宏大にして幽雅人をして又繁華の巷にゐるを知らざらしむる客室何れも清淨にして淺酌に適すると共に又大廣間の客室を有し疊數百八十疊に及び大宴會若しくは大懇親會に適する區内料亭多しと雖も松月の右に出づるものなく加ふるに美形を亭内に抱へ即時招聘に應ぜしむる處極めて至便なり要するに上等客も車を馳せ下流の士も足を運び而て待遇に甲乙なく廉價を以て客を遇するを以て其名高し

西洋料理店

○乳樂軒(大通西三) 西洋料理調理の美と善乳精良の肉類を販賣するを以て區民に重ぜられ其名を馳するを角長乳樂軒と爲す軒主岩淵兵九郎氏毫も利潤の如何を顧みず一意材料の精と肉類の美とを選んで調理し顧客に便するを以て専一と爲

す加ふるに其改築の家屋は善美を盡し西洋室と日本室との二に區別し西洋料理に屬するもの一として調理に應ぜざるなく而かも廉價を以てす位置や停車場通りを南下する數丁の處に在りて精良の肉と西洋料理の美と幌都廣しと雖も角長に及ぶものなし觀光の人士一度は行いて札幌肉の美を同店に味はざるべからず

- 豐平館 客の需めに應じて調理は尤も多人數の集會に適す(名處の部参照)
- 衛養軒 同軒は南二條西三丁目に在り一品と雖も客の需めに應ず
- 東勇軒 同軒は俗にチャンボン屋と稱せられ狸小路一丁目に在り手輕に調理すると廉價とを以て聞ゆ

娛樂場

○大黒座(南四條西三) 劇場として何人も知らざるなく名聲遠く東都に響くを當區に於ける大黒座と爲す明治八年工を了し自來幾歲月名聲益々傳へられて隆年に加ふ由來劇場なるものや一盛一衰興亡極りなく其經營の難き殆んど監視すべからざるものあつて存す此の難きに處し大黒座の巍然として繁榮評判を保つもの位置

の廓内てふ好場所にある爲めなりと雖も又座主若狭謙吉氏統御の才に富み劇道に於ける識別力あるに依る其克く人氣と俳優の技量とを看破するの明に至つては斯界氏に及ぶもの少なし之れ氏が御し難き俳優を巧に御し俳優又克く氏に悦服して劇に心勞し従つて観客を倦しめざる所以なり業に観客を倦ましめず大黒座の名獨り高き偶然にあらすと云ふべきなり

○札幌座(南七條西三) 創立日尙ほ淺きも建築の美麗と劇場としての設備完きを以て知らるゝを札幌座と爲す座主を山崎喜代太郎氏と爲す札幌座や劇場として位置僻在するの感あるも山崎氏の公共心に篤き現在地附近の中島遊園地往來の要衝に當り乍ら人家少なく殆んど原野の觀あるを慨し劇場を起して附近の般販を來さんとし斯くは新築さるゝに至れり明治三十五年五月落成し直に開業し自來名優を招き以て今日あるに至れり其座敷の清潔なるは一般看客の尤も喜ぶ處なり

○開進亭 同亭は南三條西四丁目狸小路に在り札幌隨一の寄席にして創立起原は明治十二年に在り當時市川亭と稱せしも二十五年に於ける大火の際焼失し同年十月

月惠館と稱せられて新築し二十七年清明館と改め更に開進亭と稱せり斯界に名ある太夫にして當區に來るもの必ず同亭に名を掲ぐるを以て同名聲の一般を知べし

○札幌亭 開進亭に次いて其名を知らるゝを札幌亭と爲す建築尤も新らしく設備よろしきと清潔とを以て知らる持主は高橋直吉氏なり亭は狸小路西一丁目に在り

○南亭 同亭は明治三十年建築せられ狸小路西二丁目に在り中流の寄席として其名を知らる

名 處

○豊平館 同館は区内大通西一丁目に巍然として屹立し札幌名處の一なり其建設は明治十三年にして實に開拓使の計畫になり明治十四年八月、聖駕北巡の際親しく行在所に充てられたるを以て其名特に高し經營修繕は御料局の所有なるを以て同局之を爲す構造は壯麗なる二層の洋館にして構内實に一町四方を有す建坪は二百五十余坪庭内の風雅園内の樹木一として珍奇ならざるはなく貴賓又は外人の旅館を兼ね又屢々多數官民の集會宴會等に充てらる

○中島遊園地 中島遊園地は札幌區の南端に於ける山一の區民散策場なり明治四年始めて區畫を設け十九年開鑿の工事を起し二十年を以て工を了す面積十町歩余園内に東西二個の清池を湛へボートを浮べて航遊に適し園の中央に本道物産陳列場あり本道産物の物産を蒐集陳列して普く公衆の縦覽に供し園内に於ける鬱蒼たる老樹は稚松と相交り軟草は一面毛氈の如く櫻樹池邊を繞り旗亭あり以て澁酌すべく競馬場は西南一帯の地に設けられ六月の札幌祭八月の招魂祭の二回に競

内外各國藥種繪具染料

醫療化學用患者用器械

有名賣藥洋酒寫真材料

醫家處方調劑所

⊖ 藥舖 藥劑師 齋藤 弘 輔

札幌本店 市一丁目西三番地 札幌支店 南三條西三番地

旭川支店 八丁通 樺太支店 大泊本町

名 處

○豊平館 同館は区内大通西一丁目に巍然として屹立し札幌名處の一なり其建設は明治十三年にして實に開拓使の計畫になり明治十四年八月、聖駕北巡の際親しく行在所に充てられたるを以て其名特に高し經營修繕は御料局の所有なるを以て同局之を爲す構造は壯麗なる二層の洋館にして構内實に一町四方を有す建坪は二百五十余坪庭内の風雅園内の樹木一として珍奇ならざるはなく貴賓又は外人の旅館を兼ね又屢々多數官民の集會宴會等に充てらる

○中島遊園地 中嶋遊園地は札幌區の南端に於ける山一の區民散策場なり明治四年始めて區畫を設け十九年開鑿の工事を起し二十年を以て工を了す面積十町歩余園内に東西二個の清池を湛へボートを浮べて航遊に適し園の中央に本道物産陳列場あり本道産物の物産を蒐集陳列して普く公衆の縦覽に供し園内に於ける鬱蒼たる老樹は稚松と相交り軟草は一面毛氈の如く櫻樹池邊を繞り旗亭あり以て澁酌すべく競馬場は西南一帯の地に設けられ六月の札幌祭八月の招魂祭の二回に競

内外各國藥種繪具染料

醫療化學用患者用器械

有名賣藥洋酒寫真材料

醫家處方調劑所

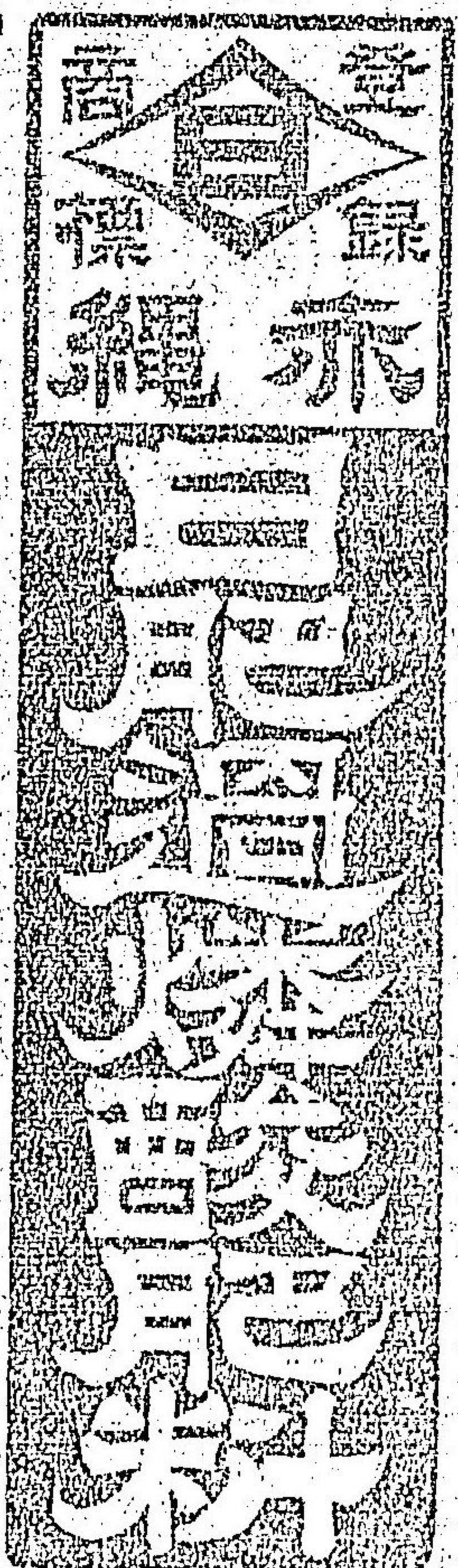
⊖ 藥舖 藥劑師 齋藤 弘 輔

札幌本店 市一丁目西三番地 札幌支店 南三條西三番地

旭川支店 八丁通 樺太支店 大泊本町

料肥造人の一第界世

① 弊店は製造元と北海道一手販賣の特約仕居候間値段は本社と毫も異なる事なし
 ② 製造所は東京府下南葛飾郡木下川日本人造肥料合資會社にして同社は近來敷
 地其他工場設備を數倍に擴張し最新式の機械を据付まとして同肥料の改良
 に勉めつゝあり
 ③ 今や壹ヶ年にして段々二百有餘万噸の製造をなせり
 ④ 日肥過磷酸肥料は世界第一位なるシリスマスアイランド産と生硫酸を以て
 製したる著名の化學肥料なれば効力顯著なるは論を俟たず



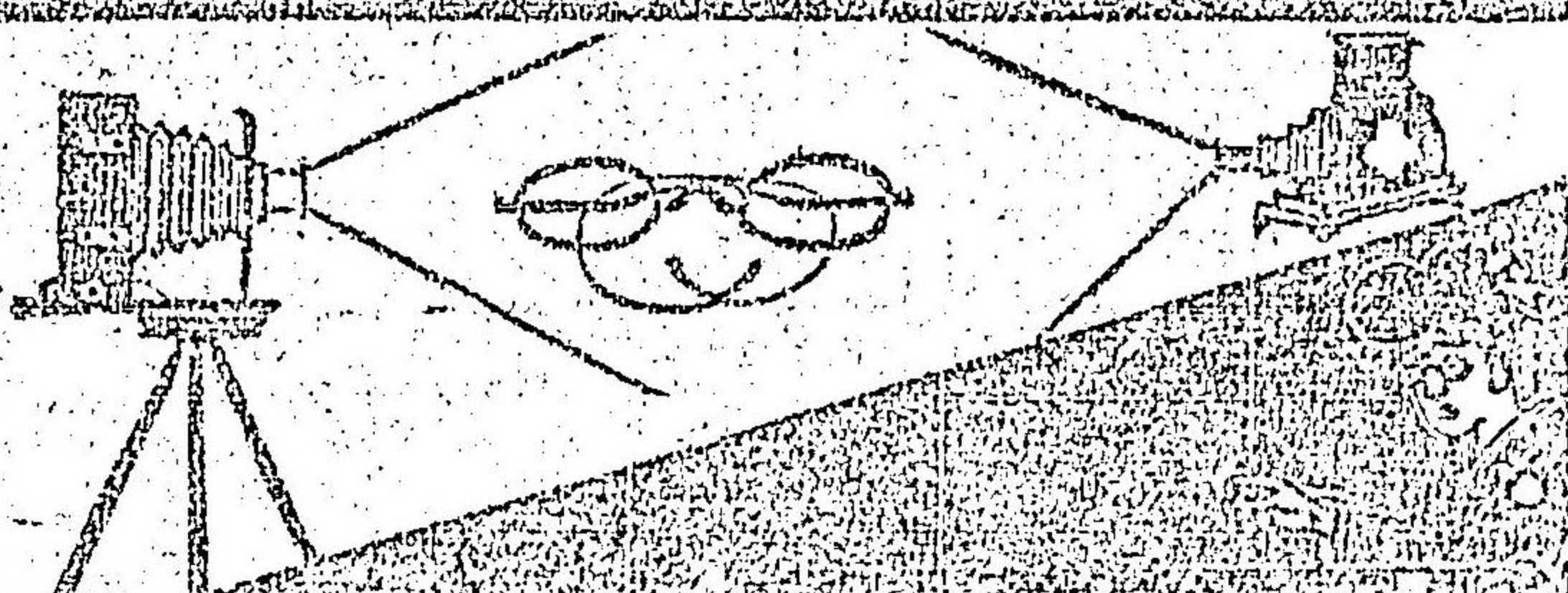
⑤ シリスマスアイランド産の最上級磷を以て製造したる人造肥料は社會幾多肥
 料中單に日本人造肥料あるのみ農家諸士幸に御愛用おらん事を希ふ

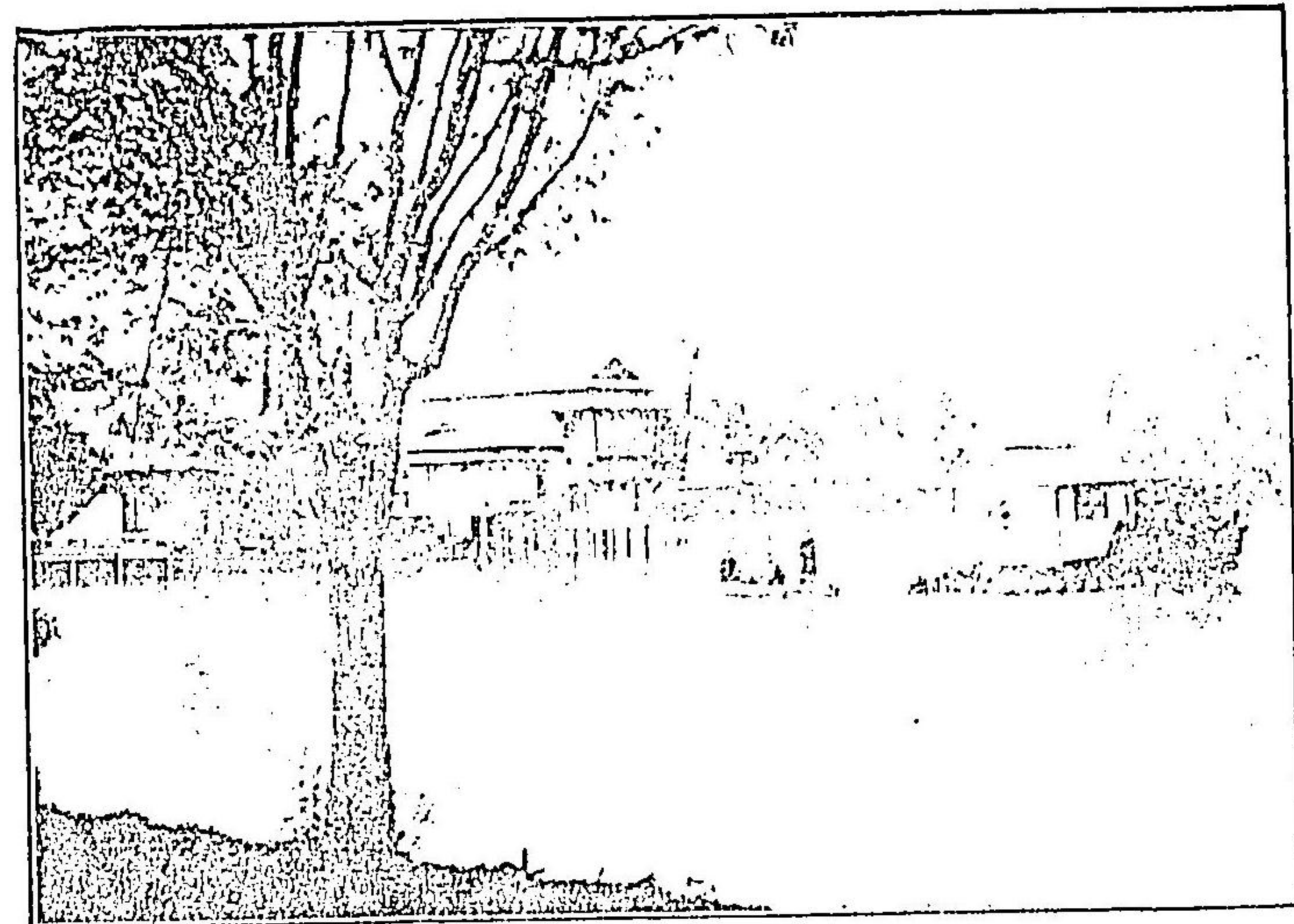
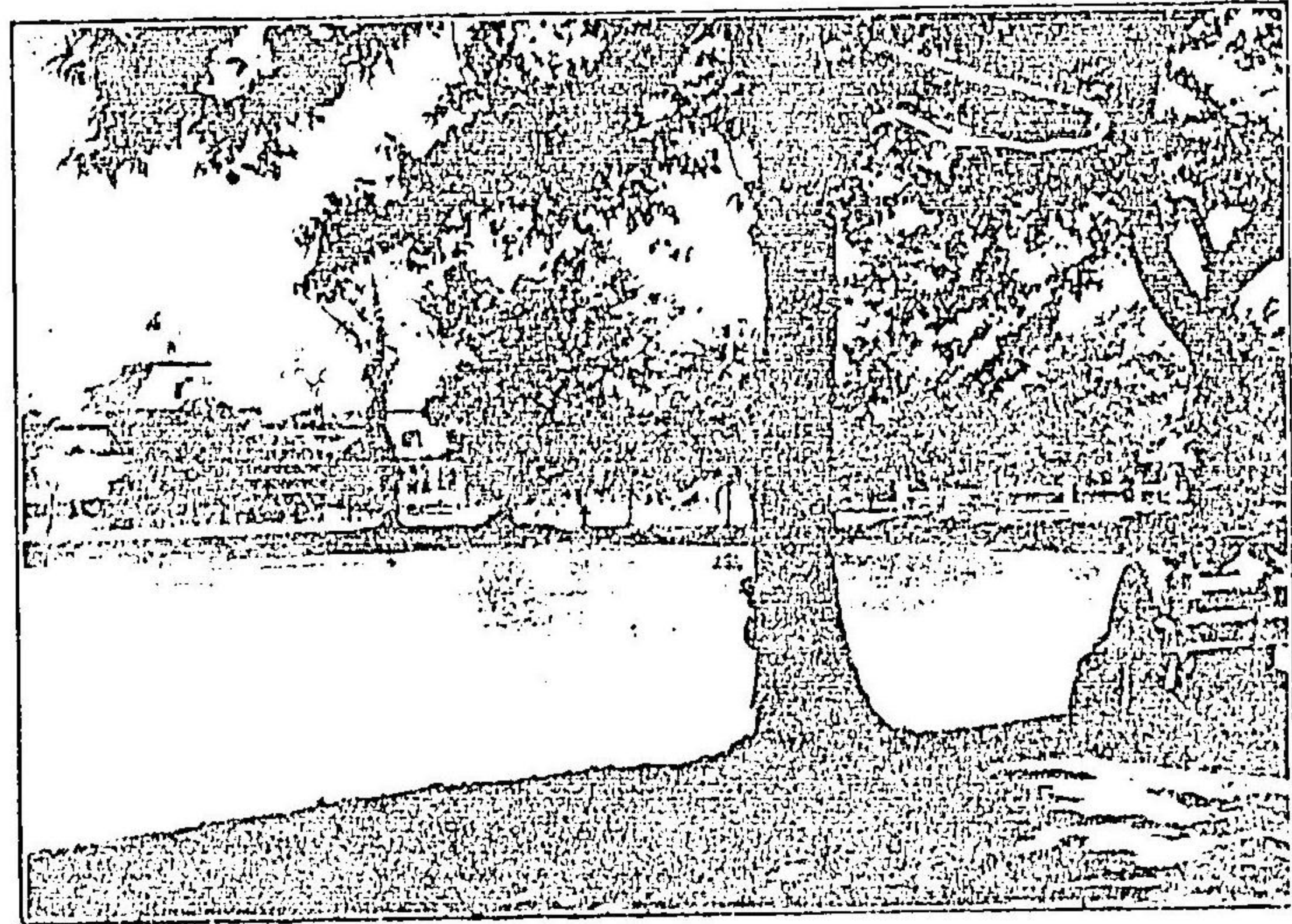
日本人造肥料北海道代理大取扱店

札幌 石神田商店

電話カ(又)ハカン

天
旅館
 屋後越
 札幌大通西四丁目七番地
加藤嘉藤次
 (電話架設中)

眼鏡 器具 修理 各種

水野眼鏡店
 札幌大通西四丁目七番地



街燈點火受負

其機襪他點火に對し
る襪械大販賣

札幌區南四條西
六丁目十番地
札幌點燈舍
阪東庄次郎

種物 雜貨
卸賣 小賣
札幌市一條西二丁目
① 細川初太郎

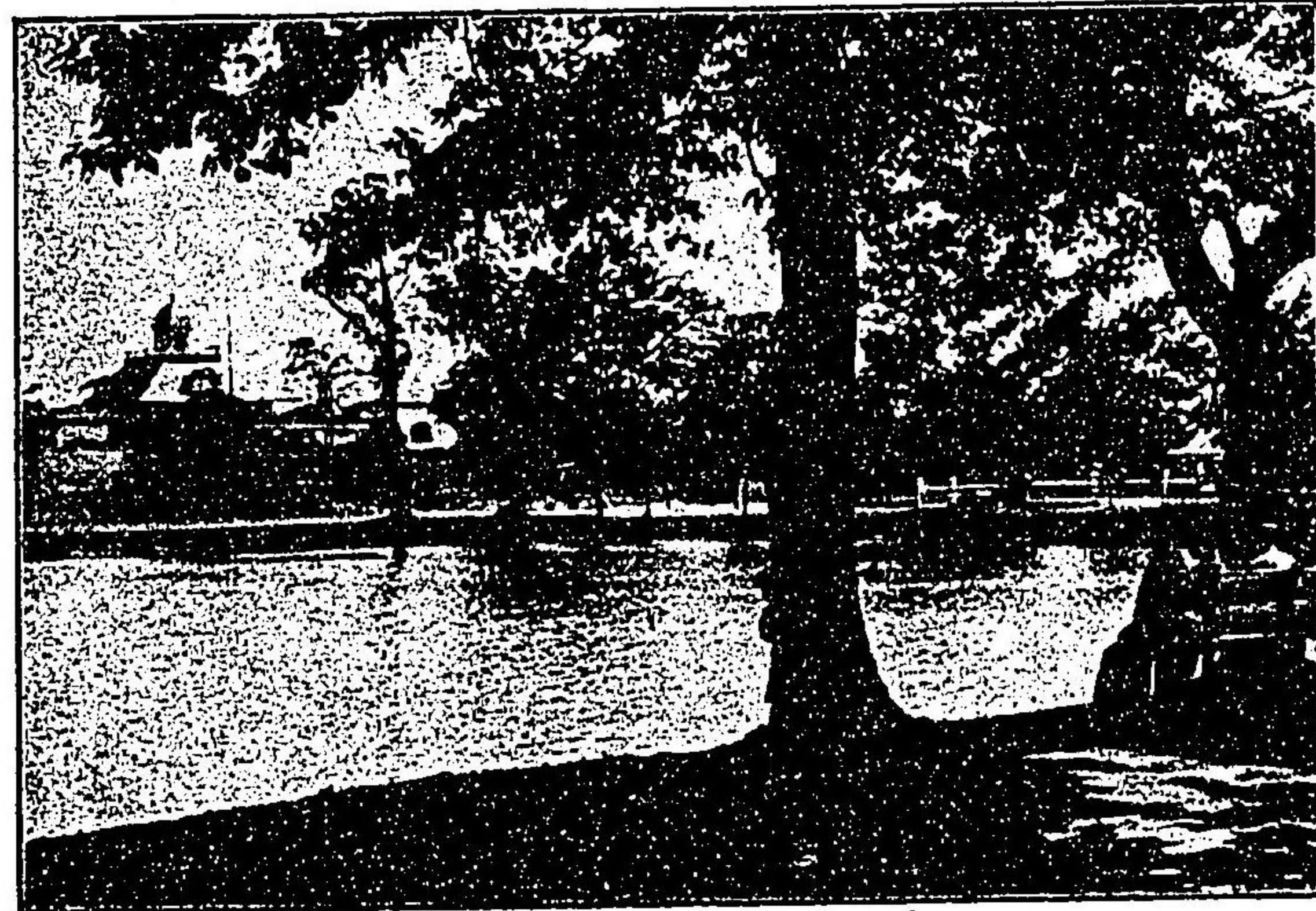
北海道物產
共進會賞狀受領

佛檀宮三
寶木材標
本卸小賣

札幌區南二條西

山田金商店

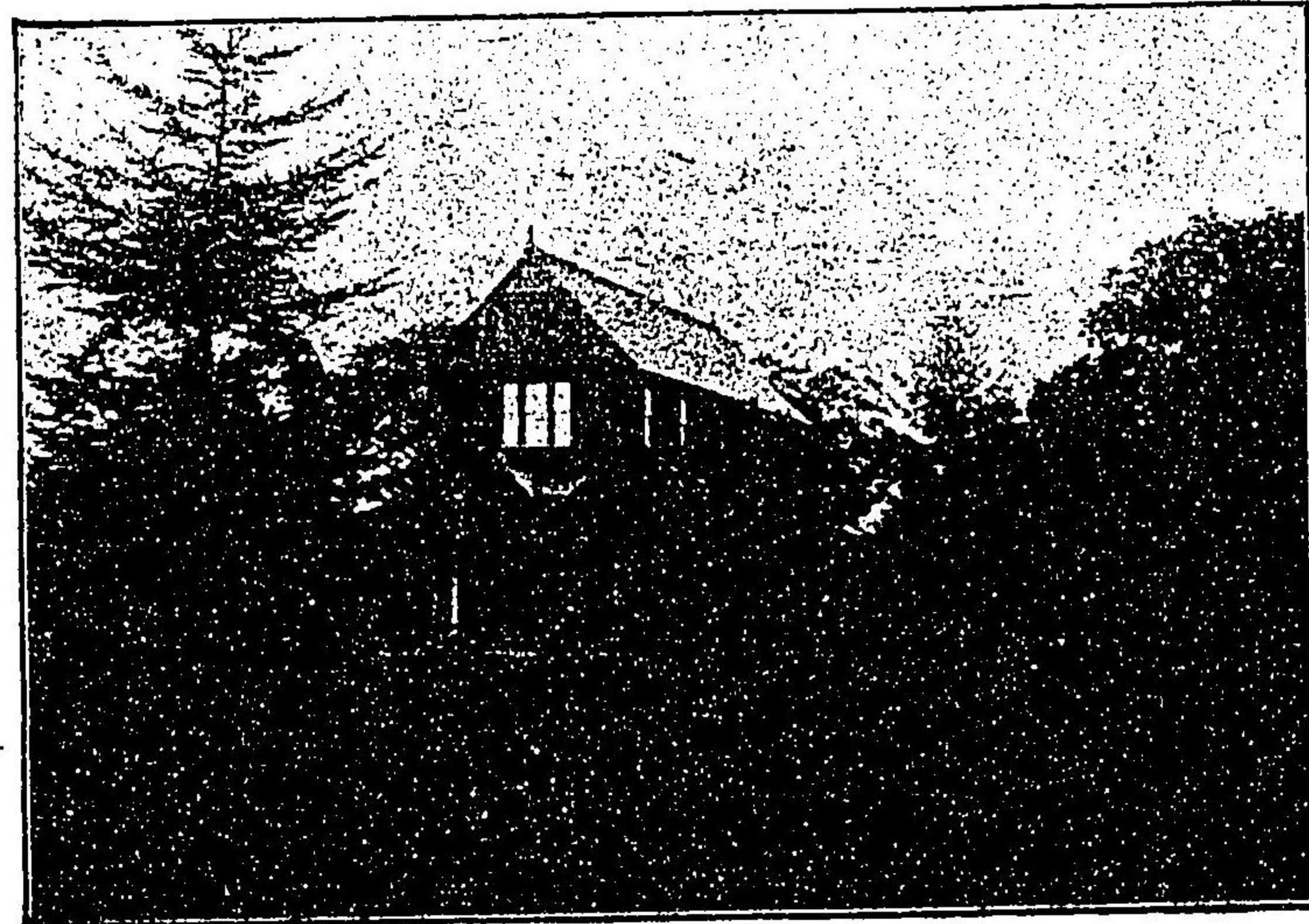
銀木 瀨戶
盃 盃 各種
御好
齋藤 盃店
札幌御好
齋藤 盃店



望ヲ會進共産物リヨ地園遊幌札



景之池地園遊幌札



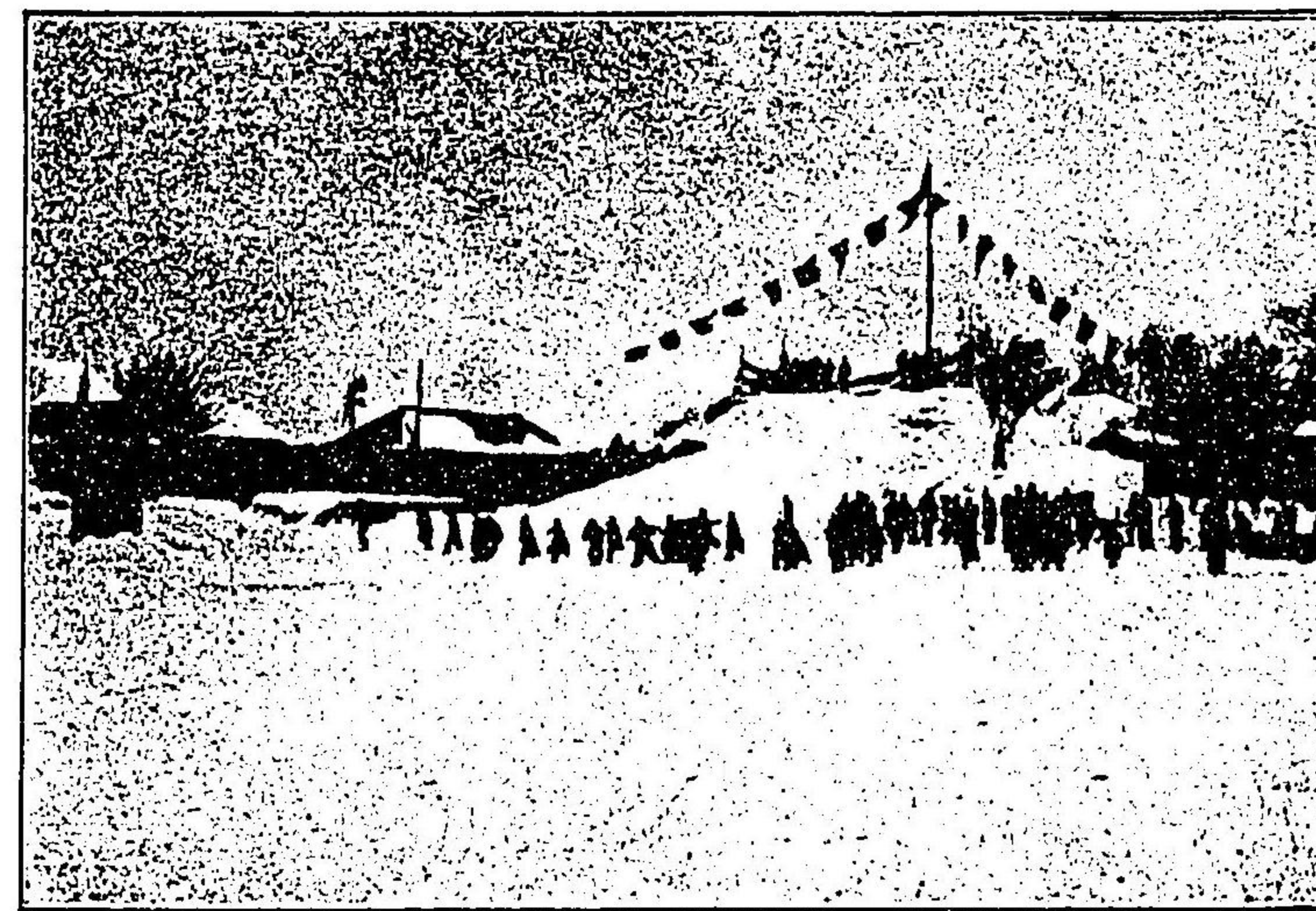
札幌博物館之景



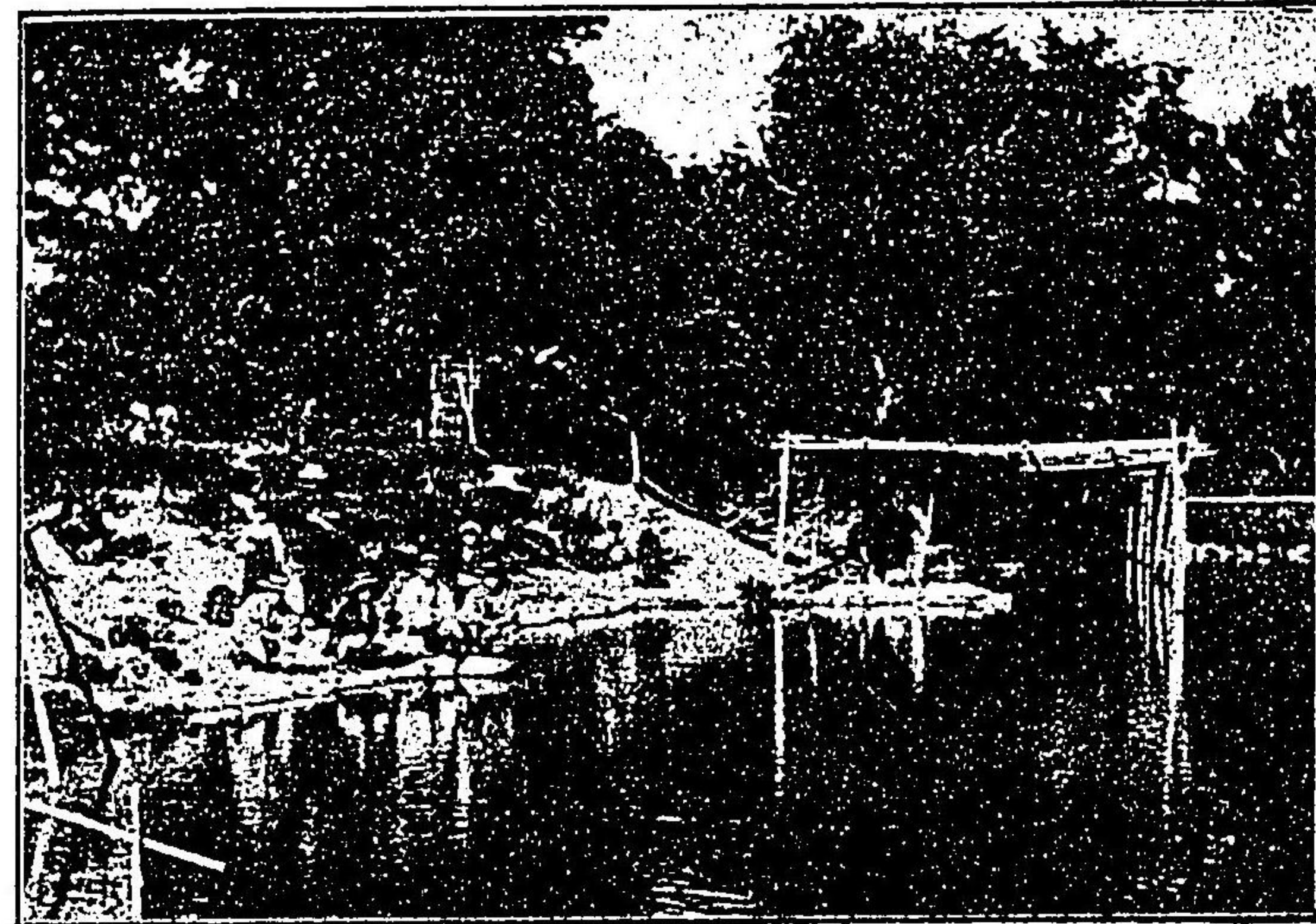
圓山花見之景



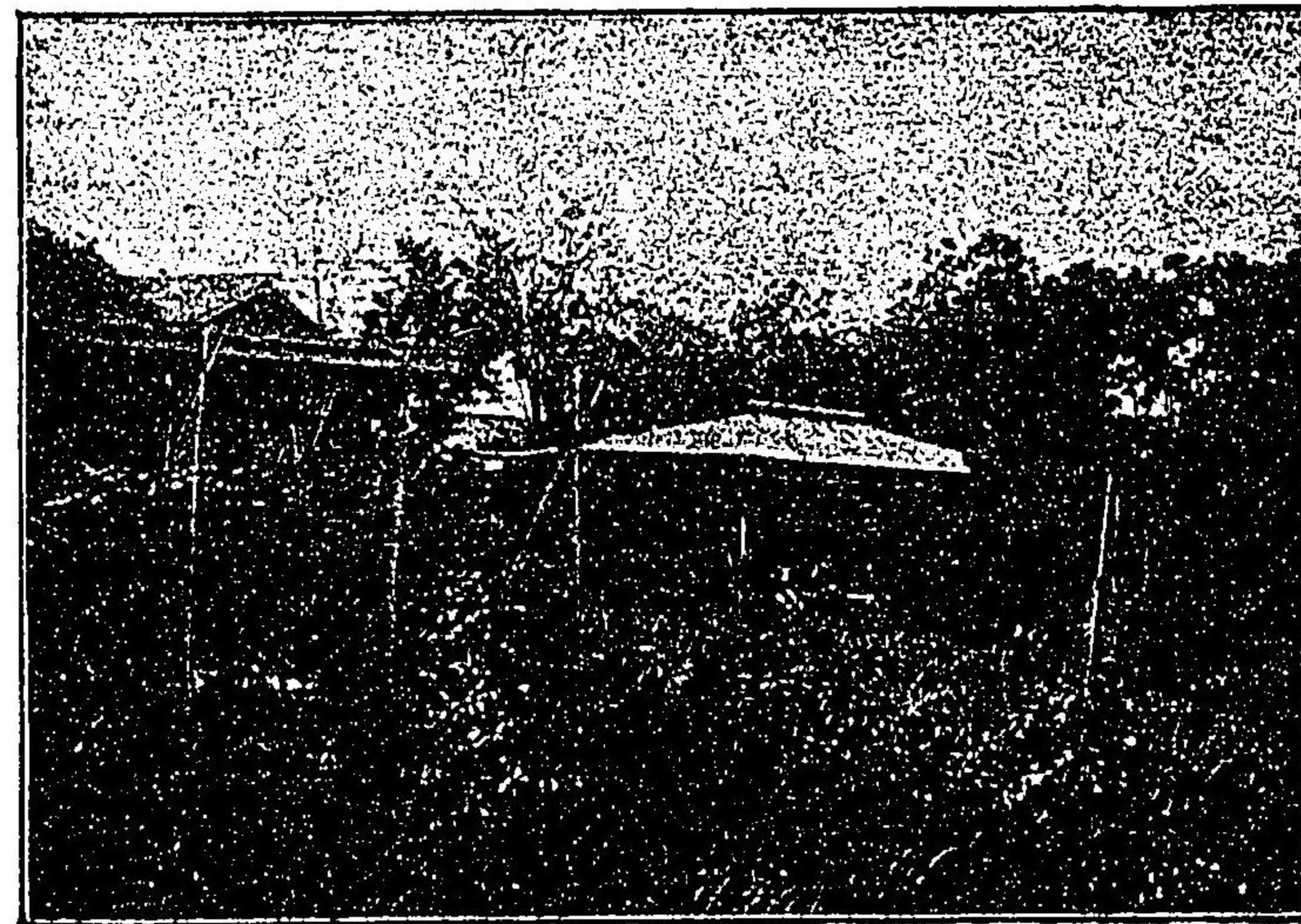
豐平河畔釣魚之景



札幌體育會之催雪之景



景之園花岡幌札



景之園阜東幌札

馬を催ふし春夏秋冬春は花見に適し夏は納涼に適し秋は観楓冬は観雪四季時として散策に適せざるなく区内唯一の娯樂場として老幼男女の杖を曳かざるなし札幌停車場を去る南に二十町其中島の名あるもの豊平川其の背後に流れ創成川其左方より前面を擁し殆んど一小嶋の觀あるを以てなりと觀光人士の必ず一遊せざるべからざる處に屬す

○岡田花園 区内幾多の花園ありと雖も基樸宏大にして花卉の種類多く何人も俄に企て及ばざる發達を爲したるを岡田花園と爲す花園は中島遊園地の西端に在り二六時中百花爛熳として別に一個の樂天地を爲す園内和漢洋の花卉物として栽培せられざるはなく就中牡丹原種は大阪の吉助(原種は東京堀切)芍薬百合等殊に種類の多く美麗なるを以て知らざるものなし其他珍花奇草四時紅紫の色を絶たず庭樹に盆栽に求めてあらざるなく其温室は設備完全に園内清池あり緋鯉金魚を養ふて一段の美景を添へ築山に茶亭に其風流にして閑雅なる一遊又忘るべからず園主は横彦三郎氏面積は約三町歩明治二十二年より經營して遂に今日ある

に至れる其岡田花園の名あるもの初め當地の紳商岡田佐助氏南一條西七丁目岡田花園を有し楨氏は其義弟たりしなり而して楨氏現在地に經營を開始するや岡田花園に於ける花卉擧げて之を該所に移植せり楨氏岡田氏の徳を忘れざらんが爲め自家經營の園に岡田花園の名を附し自來岡田花園と稱せり札幌觀光人士の必ず杖を曳ざる可らざる名處なり

○博物館 同館は區内北三條西八丁目なる閑雅幽邃の地に在り札幌農學校附屬物にして同校植物園内に建つ階上階下の二に區別し本道産の動物植物礦物其他毛皮類及びアイヌ人の製作せし各種の器具を陳列し毎年四月より十月まで毎月二回つゝ開館して公衆の縦覽に便す構内宏大鬱蒼たる樹木蝦夷松と相映じ綠色の牧草一面毛氈の如く清洒たる池沼涓々たる流水其の閑雅及ぶ處なく加ふるに構内に有名なる温室ありて暖國産の植物を培養して四時珍花の絶ゆる事なく開館の際は衆庶老若男女を問はず競て縦覽し殆んど公園の觀を呈し札幌觀光人士の必ず一觀すべき處に屬す

○圓山公園

圓山公園は札幌神社境内に在り札幌を去る南方三十余町櫻花を以て名あり境内の櫻樹數百株稚松老樹の間に點在し五月開花の際には札幌數方の人士皆な來り集りて一日を櫻花觀賞に費し其の雜沓殆んど留る處を知らず秋は觀楓の人士一瓢を携へ詩士騷客皆な圓山を稱して京都の圓山に比し蓋し圓山の名の起りし所以なりと園内に隣りして養樹園あり御料局札幌支廳の所轄にして各種の苗木を培養し試験林として其名高し

○東阜園(北八條東一)

同園は明治十一年の創設になり區内に於ける一名處として其名高し園主は上野正氏性頗ぶる花卉を愛し斯道に研鑽を重ね札幌の地味氣候大に花莖蒲に適するあるを悟りて之が栽培に従事し更に米人ホーマン氏に人工交接の説を聽きて夏種を得栽培三年苦心の結果非常なる好結果を得花薔の大花卉の美麗を以て聞ゆるに至る時に明治十七年たり當時開拓使書記官調所廣丈氏一日杖を同園に曳き其美を激稱して公衆の縦覽に供せんを愆し園を東耕と名けて衆庶の縦覽に供す後東阜園と改む上野氏更に力を牡丹の栽培に盡し凡そ花卉として見

るべきもの一として栽培せざるなく年と共に經營の歩を進め園内の清酒なると風雅なると紅黃白紫四時其妍を競ふを以て大いに其名を知られ札幌観光の人士皆な杖を曳いて其目を樂ましめざるなく札幌名處として其名大に高し

○豊平橋 同橋は區内と豊平村との交通を接續する橋梁にして又實に本道に於ける人道鐵橋の嚆矢なりとす明治三十年道廳技師岡崎文吉氏の設計に基き起工し翌三十一年落成せり橋梁の延長二百十二尺五寸中央に一箇の橋基を設け長さ百二十呎の鋼鐵製橋梁と長さ九十尺の木鐵混合製橋梁との連続したるものにして工事費實に二万五千八百余圓壯觀比なし加ふるに豊平橋上の明月は詩人歌客に激賞す

○屯田兵招魂碑 火車小樽よりして將さに札幌驛に着せんとする一刹那左方老樹鬱蒼たる樹林の中央一構への清酒たる地を見中に屹立せる石碑を見ん是れ明治十年本道より出征して西南役に戦没したる屯田兵の忠魂義膽を合祀したる者なり毎年八月一日二日を以て參拜の式を舉げ區民遙拜して赤誠を捧ぐ

○黒田銅像 區内大通西七丁目の中央に屹立し巍然として四圍を睥睨しつゝある銅像を故黒田清隆伯の銅像と爲す明治三十三年九月二十三日黒田伯の計一度傳へらるゝや道民深く黒田伯の本道に對する功勞を追想し一大銅像を建設して之を不朽に傳へんとし直に寄附金募集に着手し對馬嘉三郎氏を創立委員長となし翌三十四年五月を以て起工に着手し工事費七千九百七十圓余を費し三十六年六月を以て落成せり作像は長沼守敬氏鑄造は久野徳次郎氏工一度落成を告ぐるや三十六年八月二十五日を以て盛大なる除幕式を舉行して衆人皆な英姿を仰ぐ札幌觀光の人士一度は英采を仰いて故伯の本道開發に對する功勞を偲はざるべからず

遊 廓

本道創設の時に當り開拓の實を擧んとする必ずや民人の娛樂に便するを要とせり是れ娛樂のある處招かずして民人の圍集を來せばなり故を以て開拓使廳の本道を開かんとするや其創設時代に於いては力を極めて旗亭妓樓の設立を獎勵し或は資を供し或は特種の利便を與ふる等内地各府縣に於いて見る可らざるの奇觀も本道

に於いては極めて急務たりしなり今札幌に於ける遊廓の起原を尋ねるに明治四年初めて遊廓區畫地を創成橋以東豊平方面に定めし、當時般賑は渡嶋通り即ち今の南一條通りのみ見舞ひし事とて遊廓區畫地とは名のみにて其實なく現在日本銀行出張所の建設せらるゝ南一條西一丁目秋田屋越中屋と稱せる旅店相接庇して風俗を亂し其の徹を追ふもの踵を接して起り殆んど花街の状態を呈せり當時の有司其一般風紀に關する少なからざるを愛へ薄井監事をして適當の地を市街區畫地外に選ばしむ薄井氏相せし地即ち今の薄野是れなり人或は薄野の命名を以て當時茫漠たる一帯の茅薄ありしに依るならんと思意するも實は然らず薄井監事の此の地を相したるに因みたるなり明治五年道路を開きて遊廓區畫地を畫し秋田屋を茲に移轉せしむ今の大田中昇月樓は此の秋田屋を修築改造せしものなりと云ふ斯くの如く札幌遊廓薄野は其端を遠く明治五年より起り自來風雨茲に幾年其發達頗ぶる遅々明治二十三年尙ほ貸座敷總數僅に十數軒娼妓又百名に達せず却つて狸小路に於ける密淫賣跳躍の概あり官全力を之が嚴壓に盡し今の豊川町俗に所謂三等小

路を設けて之れに移轉せしめ二十五年順に繁榮を來し三十二戸二百名の多きに達せり自來官の密淫賣嚴禁に力を濺ぐや次第に其繁榮を援け二十八年好景氣に際し廓内空地なきに至り貸座敷總數四十二戸娼妓三百名となりしも目下貸座敷總數二十七軒娼妓總數二百七十七人に過ぎず貸座敷中尤も有名なるを田中高砂の二樓とし金生岡田青葉北越西花萬龜三四等の各樓是に次ぐ今其の内容を示さば左の如し

○高砂樓(丸山直吉) 名も高砂の松にちなみて、緑の赤繩、未ながく、南里の籬に色香を競ふて、狹斜隨一の美名を歌はるゝを丸山直吉氏の高砂樓と爲す、樓や甍に美觀壯麗を以て廓中に冠たるのみならず又た實に窈窕の花顏細腰の美姫多きを以て其名粹人間に喧傳せらる今同樓抱の花魁を紹介せんに

- | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|
| 高橋 | 龜代 | 山形 | 榮山 | 佐藤 | 山形 |
| 上鉢 | 春惠 | 同森 | 香田 | 藤 | 新瀨 |
| 山田 | さだ | 青森 | 石垣 | とく | 山形 |
| 葛西 | とよ | 同 | 長村 | つね | 同 |
| 藤原 | かみ | 山形 | 尾本 | い | 新瀨 |
| 霧花 | 蝶衣 | 岩手 | 莊司 | ねい | 山形 |
| 夕立 | 花蝶 | 花喜 | 桐蝶 | 山形 | 山形 |
| (廿三) | (廿四) | (廿四) | (廿三) | (廿三) | (廿三) |
| (廿五) | (廿七) | (廿五) | (廿四) | (廿四) | (廿四) |
| (廿二) | (廿一) | (廿一) | (廿一) | (廿一) | (廿一) |

若平 小山 加藤 渡邊 初梅 八重桐 小萩 紫

松が枝 小島 加藤 渡邊 初梅 八重桐 小萩 紫

新山形 新山形 新山形 新山形 新山形 新山形 新山形 新山形

(廿二) (廿二) (廿二) (廿二) (廿二) (廿二) (廿二) (廿二)

千歳 菅谷 山田 長谷川 大野 新山形 福助 小六 若松 曙

菅谷 山田 長谷川 大野 新山形 福助 小六 若松 曙

(二〇) (廿七) (二〇) (廿四) (三〇) (十五)

○金生樓(千葉 長吉) 名からして金生樓のまこと金の生る全盛は夜毎毎日に絶へぬ絃歌の響にて廊中屈指の青樓なるを知るべく暴らず懇なるは此家の得色客足繁さも無理ならぬと推せらるべしさて又た同樓に植付けし色香異る花の幾本と云へば

百夜 伊藤 宮城 (廿六)

日雨 熊谷 宮城 (廿五)

左村 佐々木 同 (廿六)

千松 佐藤 同 (廿九)

昌岡 後藤 同 (二〇)

右唐 連勝 占の 森 同 (廿一)

翼號 千岩 佐守 同 (廿二)

同 々 葉淵 藤屋 同 (二〇)

同 々 木み けよ 同 (廿一)

昇月樓、北越樓、長谷川樓、凱旋樓、西花樓、金華樓、若松樓、源嘉樓、稻花樓、敷島樓、北明樓、福清樓、千歳樓、岡田樓、北清樓、榮清樓、仙遊樓、成田樓、新松島樓、松嶽樓、日新樓、三四樓、第三樓、三津樓、近怡樓、松葉樓、尙は當區見番としては町見番、新見番、舊見番、中見番あり、孰れも一本半玉の藝妓をたくはいて大小宴會さてはおひろひのれ遊びに坐間の幹旋やら酒興やらを助けしめつゝあり

雑之部

▲天鹽國苦前郡初山別村勢多古内 砂金鑛解説書

一、總論

北海道に於ける砂金は其分布の廣潤なる其産金量の豊富なる其採金歴史の古き頁を有する確に一大産物たるを失はざるなり南は渡島、後志より日高、十勝に亘り北方天鹽、北見に達し往古頼朝公時代より徳川時代に繼承し近くは利別、夕張金山、枝幸、新十津川に於て個人の經營せるあり其産金量は明治三十五、六、七

八四ヶ年間札幌山監督署の調査に係はるもの約三百廿二貫目（此換算金額大約百三十五万二千圓）達せるを以て更に古代よりの採取高を積算すれば幾千万圓に及ぶや知る可からざるなり而して其砂金の多くは砂礫層間に存在し従て採取方法輕易なるを於て普通採取工夫を入區せしめ入區料を徴收して自由に採取せしむるを得たるも本砂金鑛は粘土層中に沈定せる粉金鑛なるを以て其採取法亦自から他と相違せざるを得ず然も本砂金鑛は昨年始めて採取に着手したるものなるに今や枝幸、新十津川に睡て將に一大産地たらんとするの盛況を呈するに至り以下項を逐ふて解説する所あらん

二、位置

本砂金鑛位置は天鹽國苫前郡初山別村字勢多古内にして羽幌港を北に距る二里海岸より勢多古内河を遡ると約半里東西に狭く南北に長し而して南は築別河に連り北は初山別に達す

三、廣袤

現時砂金の存在を確認し得べき區域は幅約半里長さ約二里半の細長き帶狀を爲せ共精密なる探検を爲さざるが故に其分布區域が果して何れの邊に亘るやを確言するを得ざるものとす

四、交通運搬及物資の供給

交通は春、夏、秋三季間は小樽港より羽幌港迄定期航海の便あり一晝夜にして達すべし冬季にありては航海不便なるを以て増毛又留萌より十八里余又は海岸に沿ふて十五里を陸行せざるを得ざるも此季節には採取業を休止するが故に多くは不便を感せざるなり
物資の供給は小樽港に仰ぎ一旦羽幌港に陸揚し是より馬背又は小舟にて現場に輸送す

五、砂金鑛の地質及廣さ

第三紀層の上に沈澱せる第四紀層中の洪積層にして表層は五寸乃至三尺の粘土質壤土なれば砂金を包有せず是より下層一体の砂石盤に達する迄大約平均厚十尺の

間は粘土及徑一尺以内の塊石を混せる砂礫より成り細くして湖き多量の砂金は存在せり而して附近に根原と認むべきものなきは案するに往古一大沼澤にして遠く他の金産地より流出しつゝある際大粒のものは途中漸次沈澱し細粉のもののみ此地に漂流し來り泥土と共に沈澱せしものならん

六、合金量、金粒の形状大小及其品位

明治三十九年六月中御法川式採金器械にて試験せる結果は土砂百貫目に付き五匁以上六匁に達すべきを確めたり而して此中又た少量の白金を混ぜり金粒は細くして扁平状をなし恰も叩き潰したるが如くにして菱角を有せず數ヶ月間採取せる内二分以上の重量を有するものなく直徑曲尺五毛より二三厘に及び何れも厚さ極めて薄く恰も金箔の破片様のもの十中八九を占め肉眼にては辛ふして認め得るもの尠からず尤も稀に直徑曲尺一分厚さ三毛位のものを混ぜり
金の品位を見るに日本銀行小樽出張所に於ける分拆の成績に依れば純金は砂金の百分の八十八又は九に及べり

七、現時採金の有様

現に採取せる鑛區に沿ふて勢多古内川上流に於て長五十三間最高九尺の堰堤を幅八尺の溢流渠を設け是より百十尺の墜道と十三尺乃至二百四十尺の樋二十四ヶ所を依て溪谷山腹を横斷して延長一千余間の用水路を掘鑿し事務所工夫小屋附近の山腹に生水を導流し茲に普通採金に使用する樋を改良し更に水槽を裝置し流水と共に流下する砂利及粘土を攪拌して砂金を分離沈澱せしめ一日の採金を終る時に採取するものとす

八、採取量

本砂金採取量は現行方法に依り一日工夫一人に付三分強乃至一匁に達せり

九、販路

凡て日本銀行小樽出張所へ賣込み居れり

十、採取業擴張計畫

現在採取法は微細の點に注意を拂ひ主として粘土の溶解に苦心し或は之を攪拌し或は冬季氷結作用を利用せるも何分粘力強き粘土中に含有せる粉金なる爲め流水

に混じ又は土塊に含有せられたる儘流失するもの多きに依り左の計畫中なり

一、現今の規模を擴大し勢多古内川上流に一大貯水池を築設し又は茂築別川上流より用水を引用し之を丘陵の最高部に導流し高壓力を以て土砂を洗滌し更に攪拌器等を設備し完全に粉金と土砂とを分離せしむると

一、沈澱槽を設置し微細の粉金をも沈澱せしむると

一、化學的作用を併用して微細の粉金をも採取すると

方今我國家財政上金準備愈急を告げ財政の基礎屢々危からんとする時に當り本道砂金採取法に一大刷新を加へ微細の粉金をも遺漏なく採取するの計策を講ずるは焦眉の急務なりとす就中本礦區に於ける砂金は粘土中に含有せる粉金なるが故に多大の資本を投じ特殊の設備を整ふるは自然免かれざる所に於て今や調査の進捗と共に奮て設備を完成し採金上に一模範を示し益學術上より考究するは礦主の竊に豫期する所なり

〔譯〕藤澤精米所(南一東四) 電話二〇

は精米製粉製麵業者として幌都に名聲を博し普く

業務を擴張し日に隆昌の域に進みつゝあり抑も當主人藤澤榮藏氏は富山縣人にして明治二十四年渡道し本道の形勢を探り直に圖南の策を講ぜんとせしも更に資金の蓄ふるものなく雄圖宜しく他日を期するの已むなきに到り斷然意を決して其成株式會社の帳場に入り帳簿堆裏に屹々として精勵するもの十星霜然れども彼が當初に懐ける希望は店員として東奔西走の間に涵養され、蓄蓄され、練磨又練磨を重ねて、反て他日獨立者として一大便宜を成すの導火線となれり、故に彼れ同會社を辭するや直ちに獨立經營として豊平村字川上に水車場を設け水力を利用して精米製粉の製造場とし、當區南二條西一丁目店舖を構ひて、是が製造品を専ら販賣せり、幾十年の辛酸經營は此時に於て大に顯はれ、隆々として斬然等輩を凌ぐもの、蓋し偶然にあらざるなり、然れども氏小成に安ずるなく愈々出で、愈々雄に、基礎確立、博信多實、遂に又同水車場及該店舖の狹隘を感ずるに到り南一條東四丁目に一大精米所を築造し以て今日の發展を來せり卷頭に掲ぐる小照二個は氏が其工場たり、氏又更に北八條東一丁目支店を有す

北海道物産共進會

戦後經營の主眼は實業の振興と經濟界の發展とを措いて他に需む可らざるなり、今や我北海道は新進氣鋭當る可らざる活氣を以て殖産興業の實を擧げ駉々乎として富源の開拓に勉めつゝあるを以て、海陸物産の豊富なる優に全國の模範として誇るに足るもの頗る多し、是に於て昨年二月本道各團體の代表者相會合して物産共進會準備を開會す、一万七千三百二十六圓の經費を以て之を開設するに決したり、然りと雖も斯る小規模にては到底充分に本道の富源を全國に紹介すること能はざるを以て本年三月再び協議を凝らし、大々的擴張を斷行して、其經費實に四万二千餘圓とし出來得る限り設備を完全することに決定したり斯くして愈本年九月十日を以て開會の式を擧げたる北海道物産共進會は空前の盛事として永遠に北海道民の紀念す可き完美的設備を見るに至れるなり

開會式

開會式は前記の如く九月十日午前九時三十分を期し、第一館の左方に設けられた

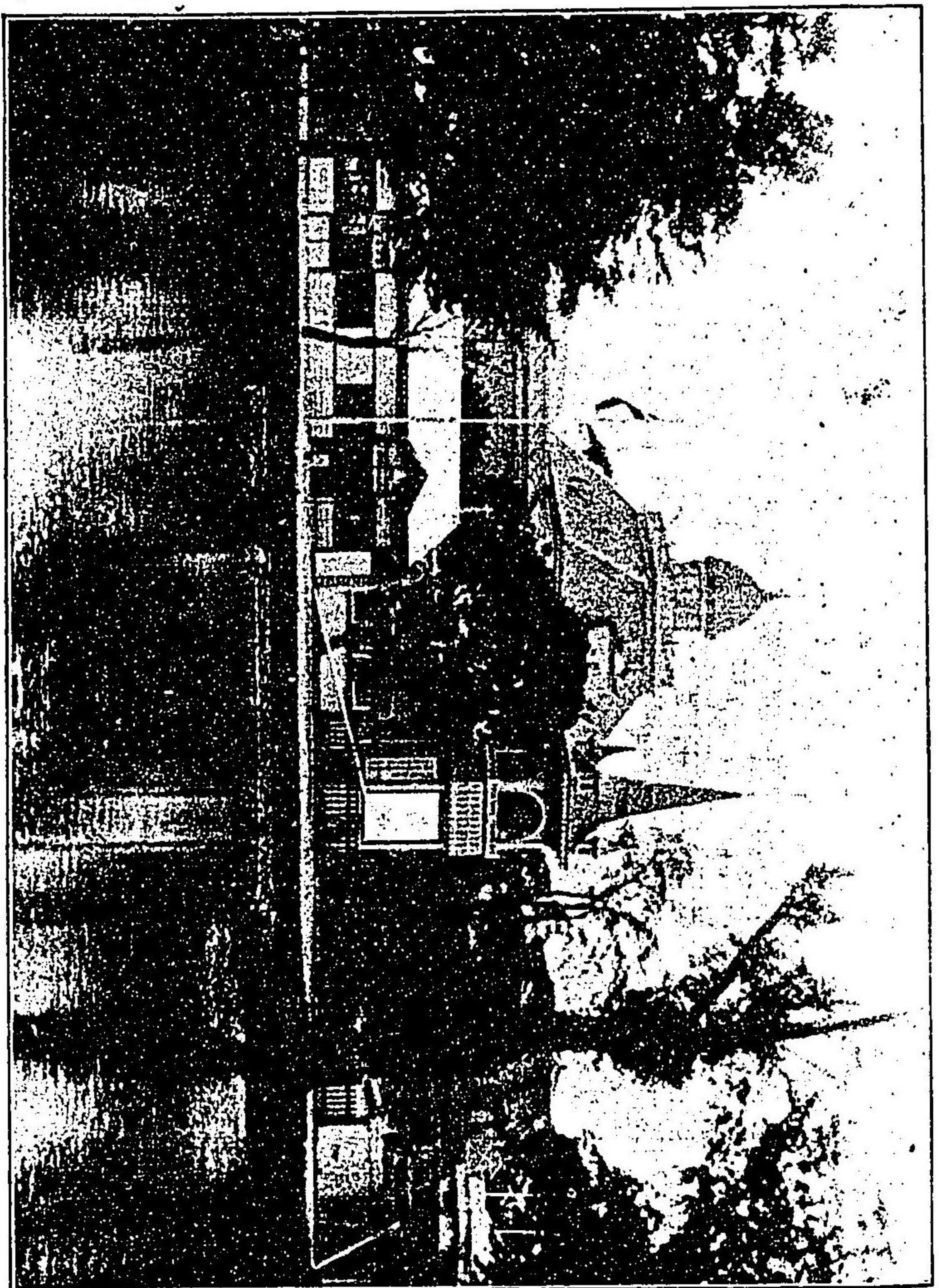
る式場に於て舉行されたるが、當日の來賓は、代議士、高等官、道會議員、區會議員、各學校長及び教諭、區内及び各地新聞記者其他の紳士淑女を合して無慮一千餘名、規律整然として各自設けの席に着くや、先づ事務委員長從五位勳六等高岡直吉氏は申告文を朗讀し、次に會頭從三位勳三等男爵園田安賢氏の式辭農商務大臣の祝電、園田北海道廳長官及び北海道物産共進會協賛會長從四位勳四等農學博士佐藤昌介の祝辭を初めとし札幌、浦河、の兩支廳長及び各實業團體總代、小樽商業會議所長等の祝辭朗讀あり、森源三氏は出品人總代として之に對する答辭を朗讀したり、最後に安東庶務係長は各地より寄せ來たれる祝電を朗讀し午前十一時全く式を了し、直ちに公衆の入場を許したるが、當日の縦覽者は實に五千名以上に達したるなり

各館の設備

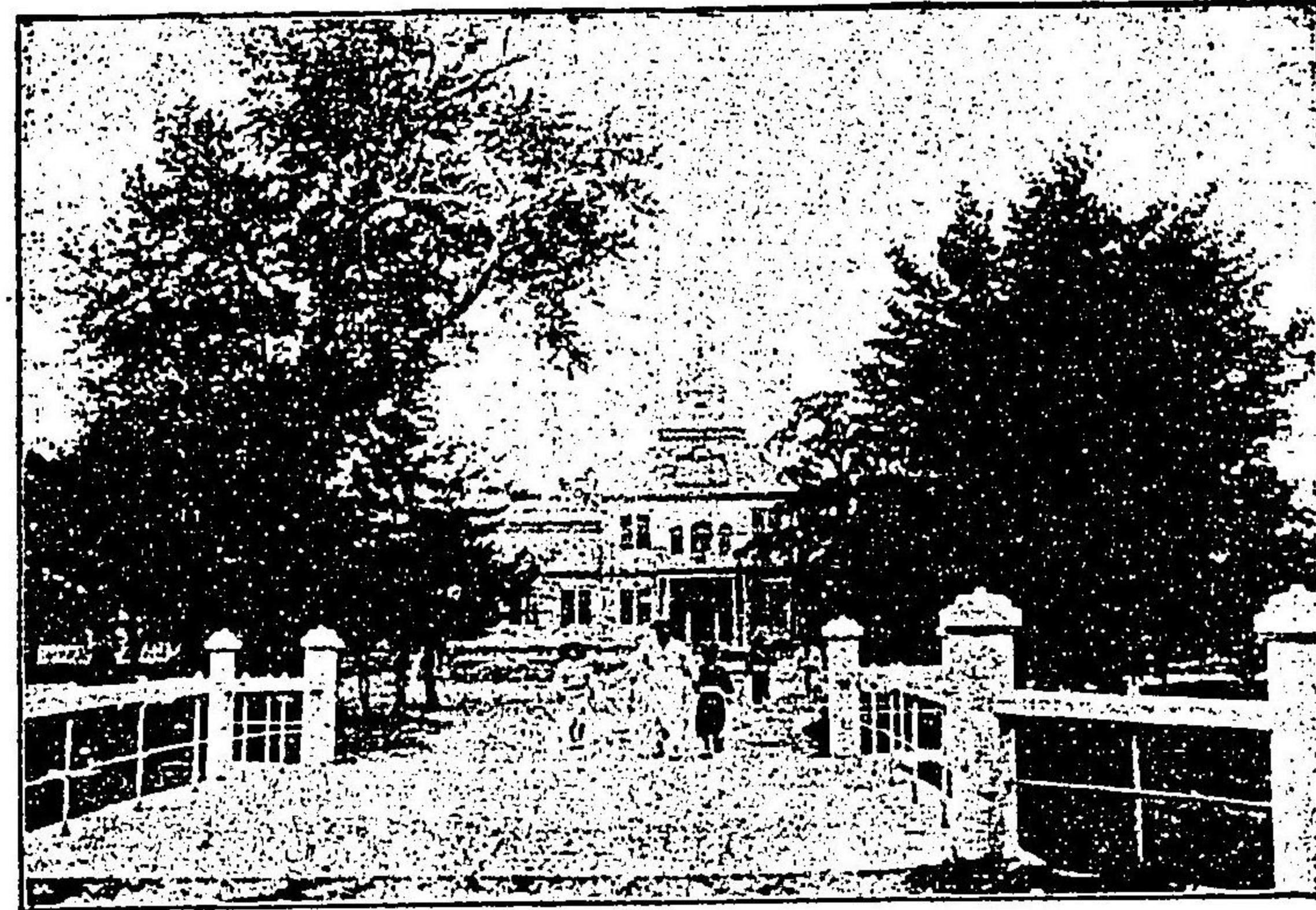
▲經費の分類 今回の共進會に要したる經費は總額四万二千餘なるが、其金額よりすれば、北海十一州の富源を全國に紹介する大事業の完備を見る上に於て餘り

に小額に失する憾みなき能はずと雖も、然れども當局者が最初の一万七千三百餘圓を一倍して其規模を擴張するに至れる苦心は實以て諒とせざる可らざる所なり、今其經費の收入を大別すれば、地方補助金一万圓、團体贈金五千圓、一般寄付金二万圓、雑收入七千圓なりとす

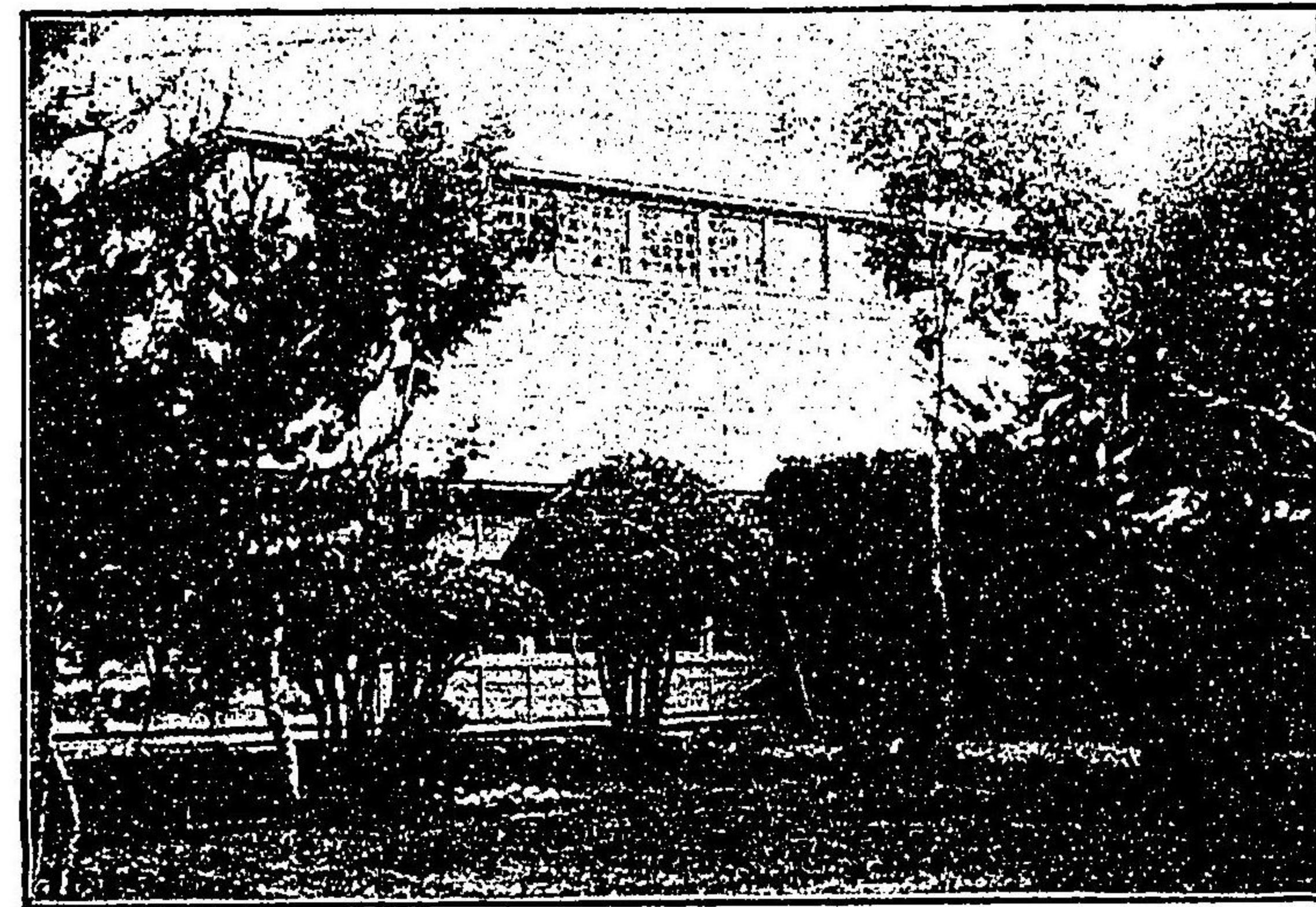
▲會場の模様 會場の總地積は約一万三千坪、建物二十三棟千六十二坪餘内二棟二百十餘坪の外は皆新たに造營したるものに係る、而して出品物陳列館は第一、第二、第三の三館に分ち、第一館と第二館は一條の廊下を隔て、相接続し、第三館は別に第一館を隔て、建設されたり而して第一館の建築は最も宏壯を極めたる永久的建築物にして、工を本年四月六日に起し七月二十二日に竣工したるものなり、第一館には重に海産物及び農産物を陳列し、樓上には農商務省出品の参考品及び京都、大阪其他各地方より出品の織物類を陳列したり、第二館には農事試験所、及び樺太民政廳出品の海陸物産の参考品を初めとし、各小學校生徒の製菓、金銀細工、漆器類、化粧品類、寫真其他の美術品を陳列し、第三館には農具及び



會進共るた見りよ岸對の池地圖遊島中



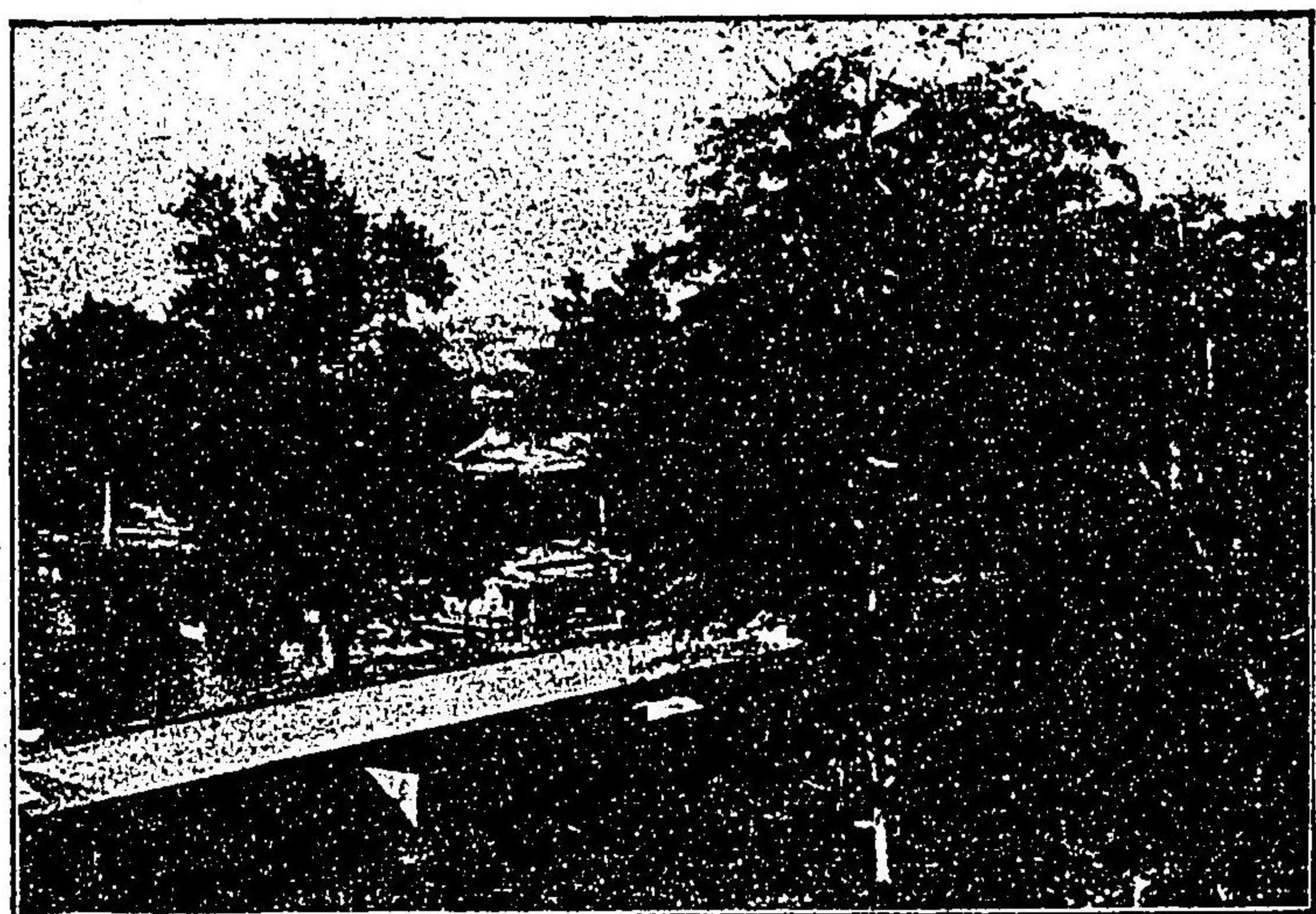
遊園地橋上より撮影せ共進會前風景



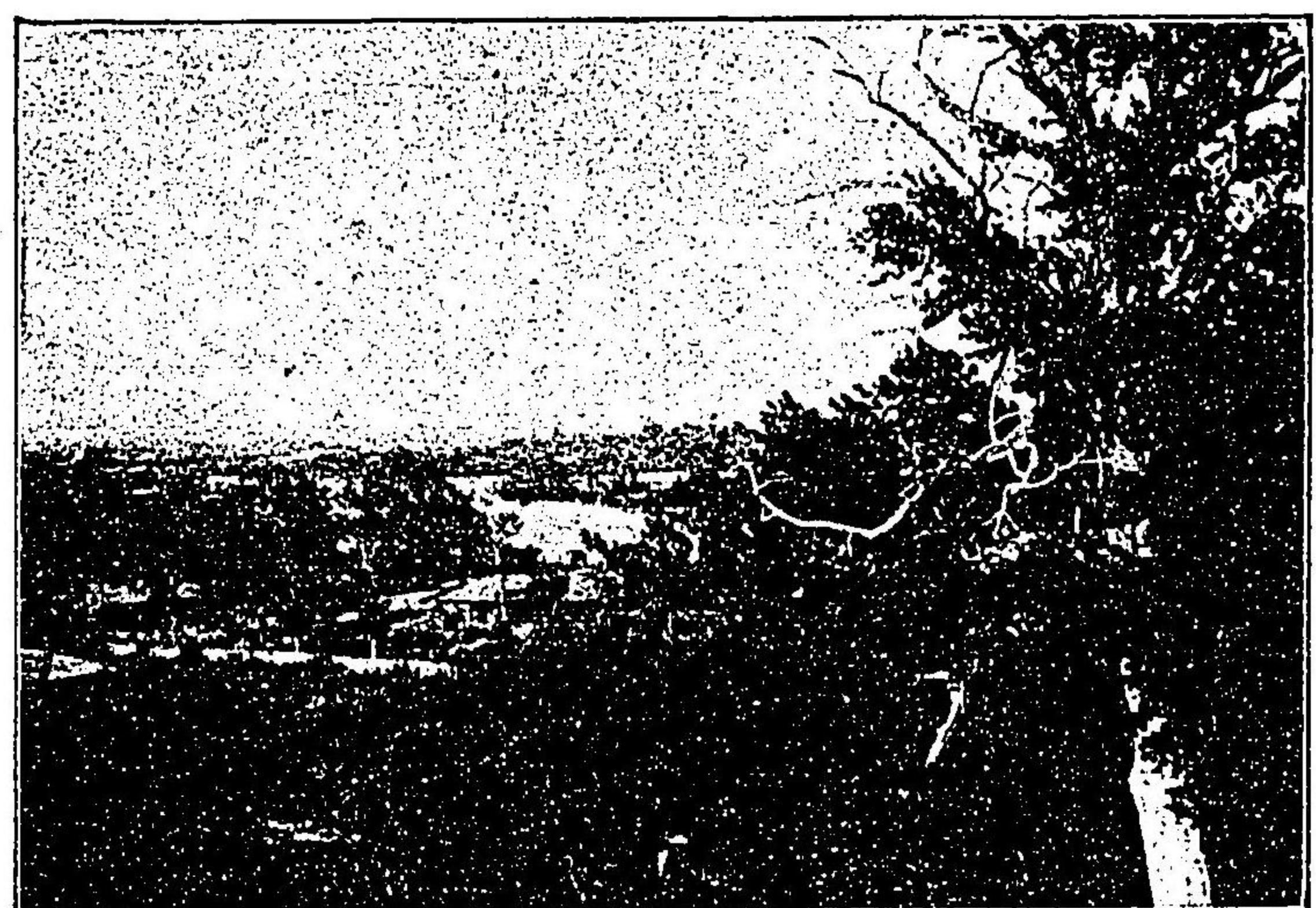
北海道物産共進會第二館



北海道物産共進會に映る鏡



北海物産共進會三樓上より見たる園地



北海物産共進會三樓上より豊平方面を遠望する

牧草、日本郵船株式會社の出品に係る荷造標本を以て充實されたり
 ▲館外の出品物 館外には畜産類及び石炭、水瓶、木材、蠶室、木材標本家屋等あり、畜産類には馬、牛、豚、家禽、兎の數種にして、牛馬を除いて他は極めて少數なりし

▲出品物總數 出品點數を大別すれば、普通出品一万九千三百七十二點、參考品二千五百八十八點、總計二万一千九百六十點にして參考品の區域は宮内、農商務大藏の三省及び府縣より樺太民政廳に亘りたり

▲賣約總高 陳列品の賣約は十五日より開始し、二十八日を以て停止したるが此間に於ける賣約總數は人員一千四百四十五名賣約品は各種を通じて三千九百十二點、其金額は五千五百五十二圓五十四錢一厘内當日迄收入したる現金は四千百十圓四十七錢七厘なりとす、今參考の爲に日別にして揭示すれば左の如し

日	點數	人員	金額
十五日	四五六	九四	八四九 ^〇 一五四

共進會彙報

(一四九)

十六日	四四〇	一四六	六九五、四六八
十七日	二四六	一一八	五三三、〇一八
十八日	二〇七	七五	二二六、七六九
十九日	二二四	一一一	四三三、一七四
二十日	二四三	一三四	四四〇、三五〇
二十一日	三〇八	一二五	二二七、〇五八
二十二日	二八五	一〇一	二八四、四五五
二十三日	二三一	七八	一七四、〇五五
二十四日	二一四	六四	一一二、三六一
二十五日	二八七	八九	二〇〇、〇六四
二十六日	一〇八	五五	一九七、五八一
二十七日	二九七	一〇二	三五九、〇〇二
二十八日	一〇二	二九七	三五九、三四〇
計	三六四八	一五八九	五〇七〇、七一九

○受賞者及び審査梗概

二十六日褒賞授與式を行ひたるが、當日審査委員長南農學博士の申告に依れば、其受賞者及び審査の概要は左の如し

申告書

北海道物産共進會開設の舉るや、不肖鷹次郎の之を審査委員長に承け、各部審査委員と共に一定の標準の下に外觀の審査に加ふるに器械及び化學的の審査を以てし其方法は務めて精密にして公平確實なるを期し、以て出品の優劣を判定するや九月十日に始り二十四日に終る、其結果として賞を擬するもの

名譽金牌	八點	名譽銀牌	二十七點
一等賞	六十九點	二等賞	二百二十八點
三等賞	五百九十點	褒狀	一千四百廿一點

合して二千三百五十三點とす、之を総出品數に比例すれば、約百分の十七強に當り、今參考の爲め金銀牌受賞者人名を擧ぐれば左の如し

金牌の部

- 牡馬 エアシャイヤー種、マイダーコンマシター種
- 札幌郡篠路村 前田農場
- 牡馬 四回雜種 北辰號
- 札幌郡琴似村 齋藤英吉

建築及架工用材

鯿鑑詰
鯿粕
石炭
札幌ビール
札幌黒ビール

札幌區北二條西一丁目
三井物産合名會社札幌出張所
標津郡標津村 藤野辰次郎
網走郡網走町 藤野四郎兵衛
空知郡岩見澤村 北海道炭礦鐵道株式會社

製麻織物

札幌區北二條東三丁目
大日本麥酒株式會社札幌支店
札幌區北八條東一丁目
北海道製麻株式會社

銀牌の部

大麥
小麥粉

札幌區北五條西七丁目
札幌製粉株式會社

札幌區北五條西七丁目
札幌製粉株式會社
札幌區北五條西七丁目
札幌製粉株式會社
札幌區北五條西七丁目
札幌製粉株式會社
札幌區北五條西七丁目
札幌製粉株式會社

牡牛 エアシャイ種、第二バロニーモデル

札幌郡篠路村 前田農場

牡馬 二回雜種 叢雲號

上川郡美瑛村 藤野牧場

牡馬 五回雜種 第二石狩號
建築及架工用材

浦河郡萩伏村 赤心社 澤茂 吉
石狩郡石狩町 村田龜五郎
小樽區入船町 天鹽木材株式會社
富士製紙株式會社江別出張所

燐寸軸木

網走郡網走町 日本燐寸軸木株式會社

鯿粕

歌葉郡歌葉村 佐藤榮右衛門

鯿鑑詰

網走郡網走町 村山コト

鯿粕

紗那郡紗那村 三井物産合名會社紗那鑑詰所

鯿粕

留萌郡鬼鹿村 花田傳七

長切昆布

留萌郡鬼鹿村 福士儀兵衛

鱈肝油

根室郡根室町 柳田藤吉

漁網

釧路郡釧路村 豐島庄作
岩内郡岩内町 岡村徳次郎
函館區臺町 北海道器械網株式會社

金銀礦石

硫黃

清酒竹葉

清酒

醬油

セメント

セメント

後志國 磯田 田中 平八

山縣古武井 磯田 山縣 勇三郎

朝田古武井 磯田 朝田 又七

札幌郡 江別村 笠原 久藏

上川郡 旭川町 神谷酒造合資會社

小樽區 奧澤村 石橋 彦三郎

上磯郡 上磯村 北海道セメント株式會社

▲農業 在りては農産物の出品は概して改良進歩の跡あり、然れども將來注意を要すべきは種の選擇、栽植肥培の方法及び調製乾燥等に在り、とす果實は時期尚早くして出品點數多からざるを遺憾とす、齒は品質一定せざるの關點あるも、其優等品に至つては品質府縣産に優るもの少しとせず、蠶種は微粒子毒絶無なるより斯業上最も喜ぶべき現象なり、麥粉、澱粉、罐詰等に至りては、大に見るべきものあるも其出品多からず農具類は製造の點に於て稍發達の兆を呈するは喜ぶべく、農業の經營方法等に關する出品寥寥たるは誠に憾むべしと雖も、全般より之を觀るときは本道農業の發達改良を証するに足るものあり

▲畜産 在ては動物類は長足の改良發達をなしたる實跡顯著なるを認むと雖も、猶血液を改進し其用途に適するものを主産するを勉むるの要あり、畜産製造品に至ては尙ほ幼稚なりと雖も獨り牛酪は品質の優良なるものあり、將來斯業の發達を期せざる可らず

▲林業 其發達は概近の事に屬すと雖も本道産木材の名聲を内外に弘め、或は隣寸、軸木、製紙原料等見るべきもの少なからず、然れども林産利用の程度尙幼稚にして殖林事業と共に將來大に奨勵すべきものなり

▲水産 在ては乾製品は洗滌に注意したる結果色澤香味共に美にして、一般に改善せるを認め新に起りしものとして燻製煮干、及び節類あり、罐詰類も亦大に進歩の跡ありと雖も、皆尙改善すべき餘地あり、肥料魚油は壓搾煮蒸に注意し製品大に佳良なり、漁網は從來一に府縣に仰ぎしもの本道の産出を以て一部の需用に應ずるに至りしは喜ぶべしとす

▲鑛業 在りては石炭、骸炭、硫黃、滿俺金銀等にして、出品點數多からずと

雖も、其經營設備の完全なるものあり、産額も亦年々増加し、將來發展の餘地綽々たり

▲工業 在ては本道特産、麥酒、亞麻、織物、酒類、酒精等に至りては、既に世の定評あり、酒精、醬油の如き製造品に至ては品質優等府縣産と顔顔するに足るものあり、絹物は稍々發達の狀あり、織物金屬製品、化學製品及び雜工作品に至つては尙幼稚にして出品者少なく漸く緒に就き將來の發達を知るべし之を要するに大要に於ては學理の應用、技術の進歩、産額の増加頗る著しく、本道産業の發達洵に慶賀すべきなり

共進會開會の各集會

北海道物産共進會を機として、札幌に開催したる各種關係の會合は、政友會北海道支部大會、東北北海道聯合新聞雜誌記者臨時大會、愛國婦人會北海道支部大會、日本赤十字社北海道支部大會、共進會主催實業講話會等にして猶共進會協賛會の新聞雜誌記者招待會、職業俱樂部の新開記者招待會、赤十字社北海道支部の

園遊會、愛國婦人會北海道支部の遊園會、北海道共進會の園遊會等あり孰れも空前の盛會なりき

共進會雜俎

▲共進會開設を當込み旅店及び割烹店、貸座敷等は新たに客室を増築したるもの少なからざりしが、旅店の如きは如何なる邊陲の地に在るものと雖も一室四人乃至七人以上の客を收容せられざる所なく、偶々宿所に窮して野宿したる旅客もありしと傳へらる、之に反し割烹店及び貸座敷は最初の目的齟齬し多大の損失を招きたるもの少なからずと聞く▲繪葉書及び共進會案内の賣行最も多く、共進會案内は一万部を賣切りたる後大福引を催すと廣告す一冊毎に福引券を付して賣却したるが忽ちにして賣切となり閉會後兩三日を経過して景品引換を了したり▲共進會協賛會にては會場附近に來賓優待所及び新聞記者休憩所を設け、來賓には一々拓殖便覽、移住成績、北海道移住手引草北海道の利源其他數種の印刷物を贈與したり此書籍購入費七百圓を要したる由なり▲札幌市内の煙草店にては共進會開會

四五日を経過せざるに大和、山櫻等の巻煙草の品切となり、孰れの煙草店に到るも一個も餘さるに至れり

共進會附近の建築物

共進會開會に際し會館付近には協賛會の依託販賣店を初めとし各種の建築物には商品を陳列し自由に縦覽を許したるが今其重なるものを舉ぐれば

▲北水協會 之れ北海道の水産物一式の製造品を陳列し居るが中に鱒詰、身欠鱒の類最も多かりしが如し、主に水産物製造の奨励を目的として建設したるものなれば價格從て低廉なりしが故に閉會迄には大抵賣切となれり、此處を一直線に通過して右に上手に折るれば

▲岡田花樹園 あり縦覽者の便宜を計りて花卉盆栽の類多く陳列され、園内には大なる池ありて十年生十五年生の大鯉潑測として游泳し居るを見る築山あり休憩所あり恰も一幅の畫圖中に在るの感あり、園中の一室には本年十四才の少女が縦覽者の需に應じて揮毫し居るを見るに筆力雄健優に當世の書家を凌駕するものあり

り少女は山崎某の娘にして現に某小學校に通學し居るものなりと云ふ

▲公衆俱樂部 當區の中鱒商店主が自費を以て建築したるものにして遊園地に何かの催ある時は自家の販賣品即ち各種の織物を陳列して公衆の觀覽に供し蓄音器などを供へて餘興を添へ傍ら公衆の需に應じて共進會紀念スマンプを葉書其他の物品に押捺するなご用意周到を極めたり同俱樂部は平素は無料にて集會に供する由なるが之れ同店主人が商業に慧敏なるの致す所なるべし

▲北斗畫會 之亦遊園地附近の幌南學校内に開設さる、區内斯道家の揮毫に係るもの最も多きが中には東都有志の畫家の揮毫に係るもの少なからず風流の道に志あるものは大抵此處に立寄らざるはなし

▲今井呉服店の陳列場 此金線織女帯地三百圓以上の逸品を初めとし男女流行新柄の織物及び高尚なる化粧品類を列陳しあるが中には化粧道具一揃二十五圓に價するものあり此處も亦公衆の隨意縦覽に任じ價格亦低廉に販賣し居れり

▲協賛會依託販賣店 宛然淺草の中店を見るが如しとの評判ある共進會協賛會の

依託販賣店は賣藥、菓子類、織物、陶器、鐘錶類、雜貨、酒類、南部釜、金銀細工、秋田蔭摺、津輕漆器等の各種に別ち孰れも妙齡の女子をして黒紋付に嵯茶の袴を着けて客に應待せしめたり

▲福音館 札幌區の各教會の宣教師牧師が共進會縦覽者に福音を宣傳するが爲めに設けたる所謂天幕傳導所にして共進會開會中毎日午前二時より同四時迄牧師等が交々熱心に説教をし聖書類を公衆に分與したり彼等が誠實を以て播きたる種には果を結び必ず良き收穫を見たるなるべし

▲札幌興農園 停車場通の左側に在る煉瓦造の宏大なる建造なるが共進會開會中は農事奨勵の爲め階上階下に農具一式を陳列し自由縦覽を許し中には歐米最新式の農具數十種あり孰れも志望者の需めに應じ相當代價を以て賣却し居たり

▲共進會構内の建物 正門の左側には繪葉書類の賣店あり其處に隣りして共進會郵便局あり數名の局員日々交代して事務を執る、郵便局を右にして二三間離れたる處に景品引換所あり其他消防用具置場、巡查駐在所等あるが孰れも粗造の建築

物に過ぎざる也

雜之部追加

◎左の數葉は本書主文中に入るべきも材料調査員の遲達に係るもの付
茲に掲載する事とせり讀者諒焉

○正見病院(北一西一) 院長正見伊三郎氏は温厚篤實の人にして毫も虚飾を尙はず、患者に接するに懇切丁寧を旨とし居るが故に來診者日に増加し爲に病室の狹隘を告ぐるに至りたるを以て、今回更に新たに病室を増築し院務益々隆盛を極む、院長正見氏の得意は胃腸の治療にして學理上、技術上共に斯界の冠とするに足る、氏の如きは地方に得難きの良醫と謂ふ可し

○嶋津製網所(南七) 札幌區内幾多の製網業者中一頭地を抜くものは、島津製網所となす、製作品の精巧にして堅牢なる一度使用したるもの、皆能く熟知する所にして、世間既に定評あり何ぞ復た嗚々の贅評を要せんや、若し夫れ價格の低廉なるに至ては札幌中第一に推すべきなり

雜之部追加

〔四〕九島商店(南二) 同店販賣の各種漬物類は風味佳良を以て名あり、之れ畢竟するに原料の選擇宜しきを得るの故に外ならず、店主九島幸三郎氏は勤勉實直を以て旨となす、故に商取引は確實にして信用最も厚く商勢日に繁昌し行くは蓋し當然の事たるのみ

〔六〕齊藤商店(西三) 齋藤大治郎氏が店主として營業日に月に繁盛を極めつゝある同商店は和洋小間物及び洋服類を以て專業とし斯業界に信用最も深厚なるが店主の注意宜しきを得たる結果、店員の客に接する態度の親切にして謙遜なる實直にして快活なる他店に多く其比を見ざる所なり故に各地方より新たに取引を求むる者續出し遠近に其名を博するに至る

〔中〕南部商店(南五) 店主南部伊之吉氏は福井縣の産にして、夙に商業に志を抱き其初め本道に渡航するや、赤裸々の身を以て銳意資本の造成に心を砕き、先づ五十集の行商をなし、千辛万苦零細の利益を蓄積し機を見て米穀荒物の業を開き加ふるに海産乾物の販賣に従事したる所、信用日に加はり商運驟々として開展し

現時札幌區内に於て屈指の大商店と稱さるゝに至れり

〔弁〕浦澤商店(南四) 荒物石油雜貨商中正直と廉價を以て札幌區内に知られたるを浦澤商店となす、氏素と渺たる一行商に過ぎざりしも、刻苦精勵、寤寐の間と雖も商機の乘すべきを視察し、粒々辛酸を嘗めて社會の暗潮と戦ひ、誠實勉強を以て運命の主神としたる結果、終に今日の成功を見るに至れり、以て如何に同商店が社會に信用の深厚なるかを知らるに足る可し

〔全〕上野商店(南五) 元共益商館の一隅に、和洋小間物文具下駄類を陳列し居たる一小賣に過ぎざりしも、店主上野鍋吉氏が、商機に乗ずるの敏捷なると、顧客に接するに親切なるに依りて忽ち好評を博し、終に現住所に移轉し一躍屈指の大商店となるに至れり

〔伊〕藤製鐵工場(南三) 工場主伊藤彌三郎氏は斯業に多年の研究を積みたる人にして自ら三德車の製造法を發明し一度之を實地に試用するに及んで輕便無比實益莫大なりとの好評を博す由來注文者續々絶えず其名聲江湖に噴々たるに至る

同工場製造の器具は凡て堅牢確實なるを以て信用最も厚し同場將來の隆盛や推知するに足る可き也

○北海博愛醫院(六、九) 同院長は豫備陸軍二等軍醫にして日露戰爭に従軍して滿韓の山野を跋涉し以て傷病軍人を醫療し刀圭術に熟達の故を以て軍人の信頼する所となりたり平和克復後東京にありて諸種の醫術器具を整備し本年七月本道に渡航し當區に來りて北海博愛醫院を設立し博愛仁慈の精神を以て無告の窮民を收容し施術施藥の恵みを爲し以て仁術の實を盡さんとすと、氏の學識と技術とを以て此仁をなす近き將來に於て内外に名聲を博するに至るや疑なき也、氏の如きは地方刀圭界の君子と謂つ可き也

札幌要覽終

同工場製造の器具は凡て堅牢確實なるを以て信用最も厚し同場將來の隆盛や推知するに足る可き也

○北海博愛醫院(大通四) 同院長は豫備陸軍三等軍醫にして日露戰爭に従軍して滿韓の山野を跋涉し以て傷病軍人を醫療し刀圭術に熟達の故を以て軍人の信頼する所となりたり平和克復後東京にありて諸種の醫術器具を整備し本年七月本道に渡航し當區に來りて北海博愛醫院を設立し博愛仁慈の精神を以て無告の窮民を收容し施術施藥の恵みを爲し以て仁術の實を盡さんとすと、氏の學識と技術とを以て此仁をなす近き將來に於て内外に名聲を博するに至るや疑なき也、氏の如きは地方刀圭界の君子と謂ふ可き也

札幌要覽終

法學士 安東俊明

札幌區北四條西四丁目
一番地停車場通
(電話三二八番)

札幌區北一條西二丁目舊農學校跡
辯護士 仁平豐次

電話番號百十五番

札幌區北四條西三丁目一番地
辯護士 村田不二三事務所

(電話百三十八番)

專心一意諸般の法律事務を
懇切に取扱ひ申候
札幌區南一條西四丁目十八番地
辯護士 井上敦美

商品目錄

- 製筆大中小細文字用蓄筆諸先生
- 書翰用眞筆細筆數品
- 各學校選定習字用畫筆○各官廳
- 辭令御用筆
- 奈良市大製墨家古梅園香雲堂墨
- 朱墨特約販賣
- 石田花の家村製各水彩畫用英
- 國製水彩油繪の具
- 算盤銀行諸會社用帳場用懷中用
- 學校用品々
- 其他和洋高等學校用文具一切

札幌區南一條西三丁目八番地

流線堂

電話(五百〇三番)

内外科
整骨科

三野醫院

札幌區南七條東一
丁目創成川見付

北一條西三丁目三番地

辯護士水野吉太郎

品質の精良なるは全道無比

營業品目

- ◎網類
- ◎漁網
- ◎擦
- ◎マニラロープ
- ◎亞麻モトセ
- ◎麻
- ◎各種麻類
- ◎天幕雨覆

北海道製麻株式會社製品販賣
價格の低廉なるは御購求の上

札幌區南七條西二丁目二番地

網類漁網
製造販賣
島津商店

乾物漬物 青物罐詰

商業の秘訣は薄利を以て販
賣するにあります江湖の諸
君も斯かる商店よりお買ひ
なされるに限りませす

札幌南三條西二丁目南角詰

倉新妻商店

(電話三三三番)

馬車橋

農具製造業

札幌市二條町二丁目

三上本店

靴類製造販賣



札幌市二條町二丁目
高松徳蔵

北海道杉木業



諸官廳御用達製品
販賣亞鉛屋根張請負

札幌市二條町三丁目
橋本秀松

誘蛾燈
噴霧器
名品取
專賣特許
出願中

札幌市二條町三丁目
橋本秀松

橋本秀松

電話三三五



馬車橋

農具製造業

札幌南二條東二丁目

三三上本店

靴類
製造
販賣



北二條東二丁目一番地

高松徳藏



諸官廳御用達製品
販賣亞鉛屋根張請負
ストーブ製造販賣

誘蛾燈 專賣特許
噴霧器 出願中
一名虫取

札幌北三條西三丁目一番地
停車場通り

橋本秀松

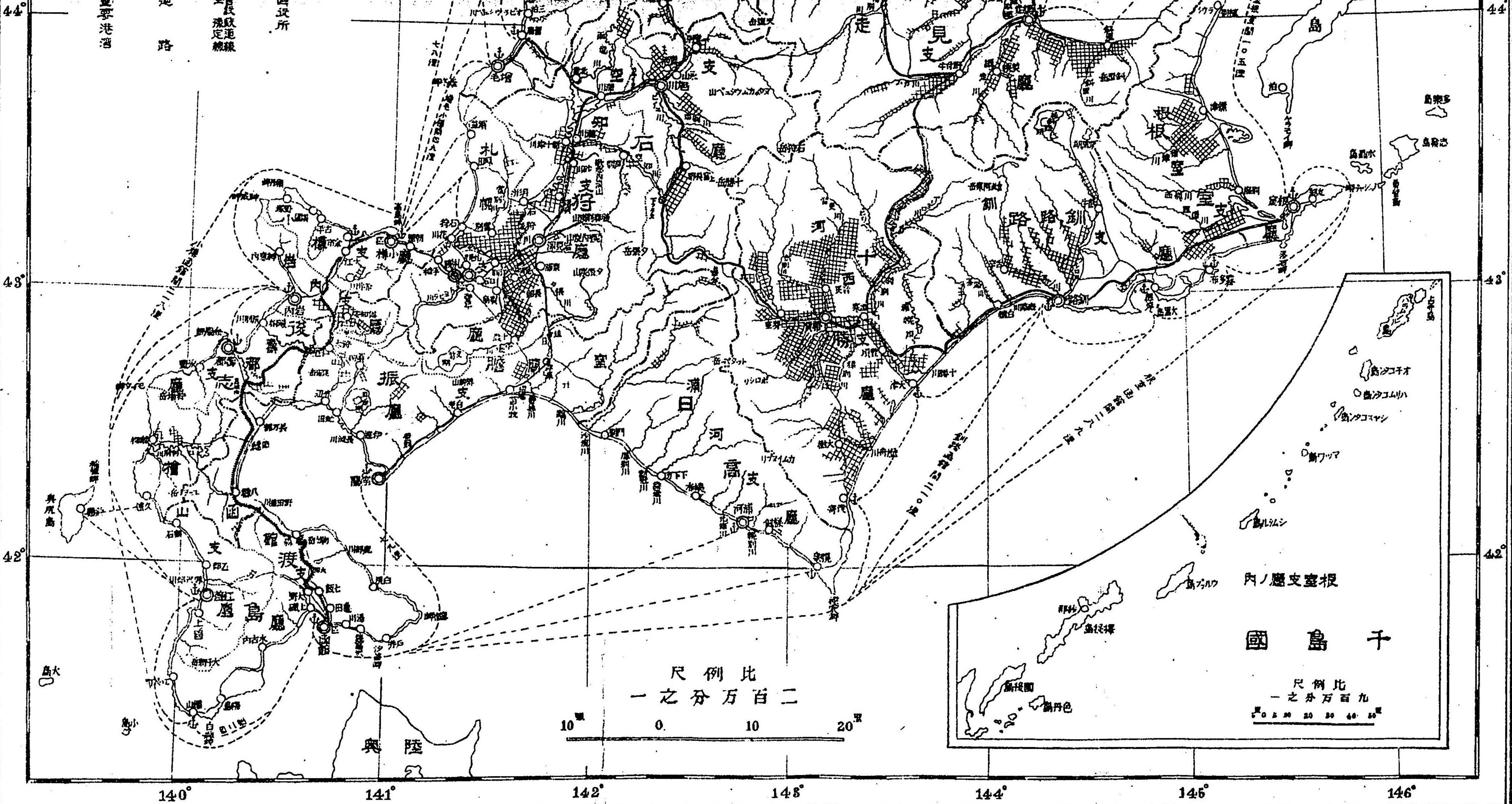
電話三三五
電略(ハシ)



北海道移住案内

記號

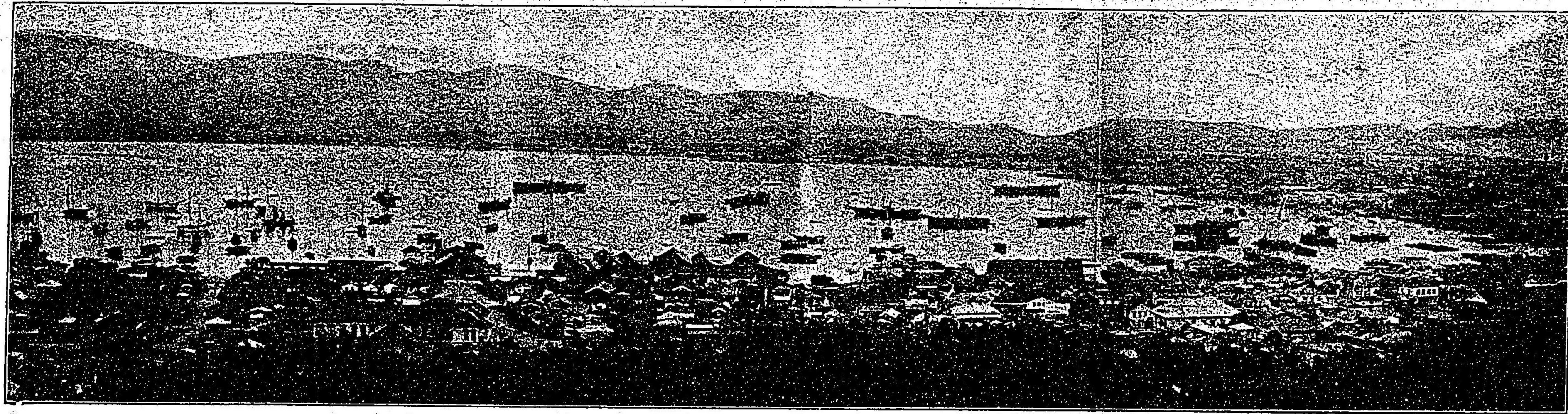
全支廳所在地 ○ 全支廳所在地
 支廳區區定線 區區所
 全支廳區區定線 區區所
 支廳區區定線 區區所
 支廳區區定線 區區所



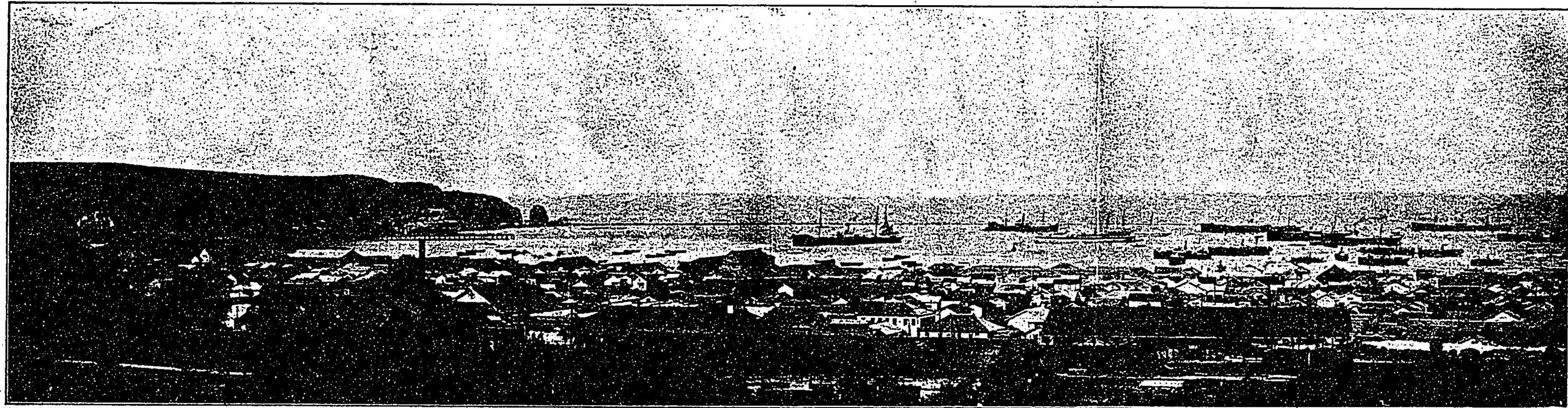
尺例比
 一之分万百二

尺例比
 一之分万百九

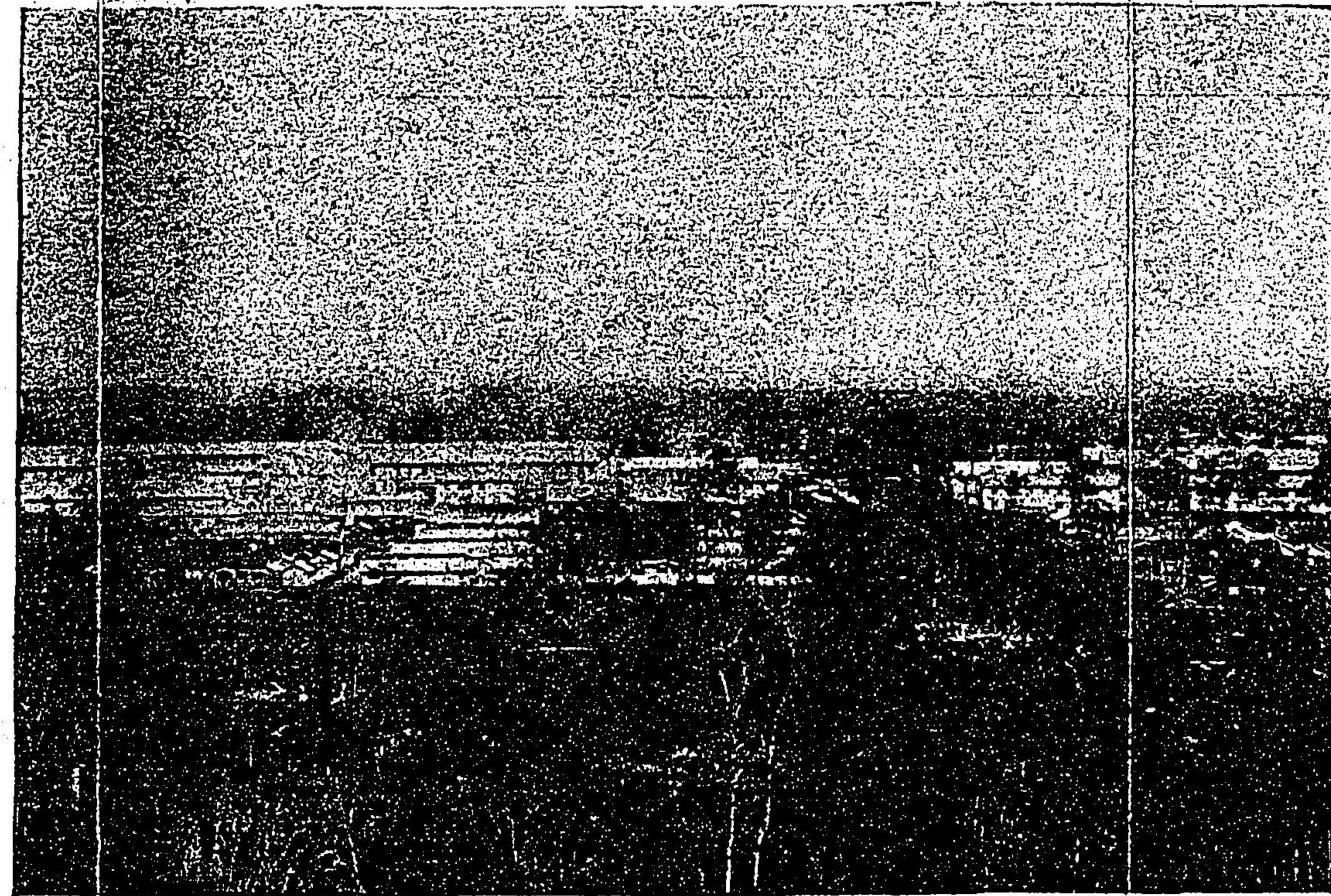
内ノ屬支室根
 國島千



函館全景



小樽全景



上川第七師團全景

移住案内

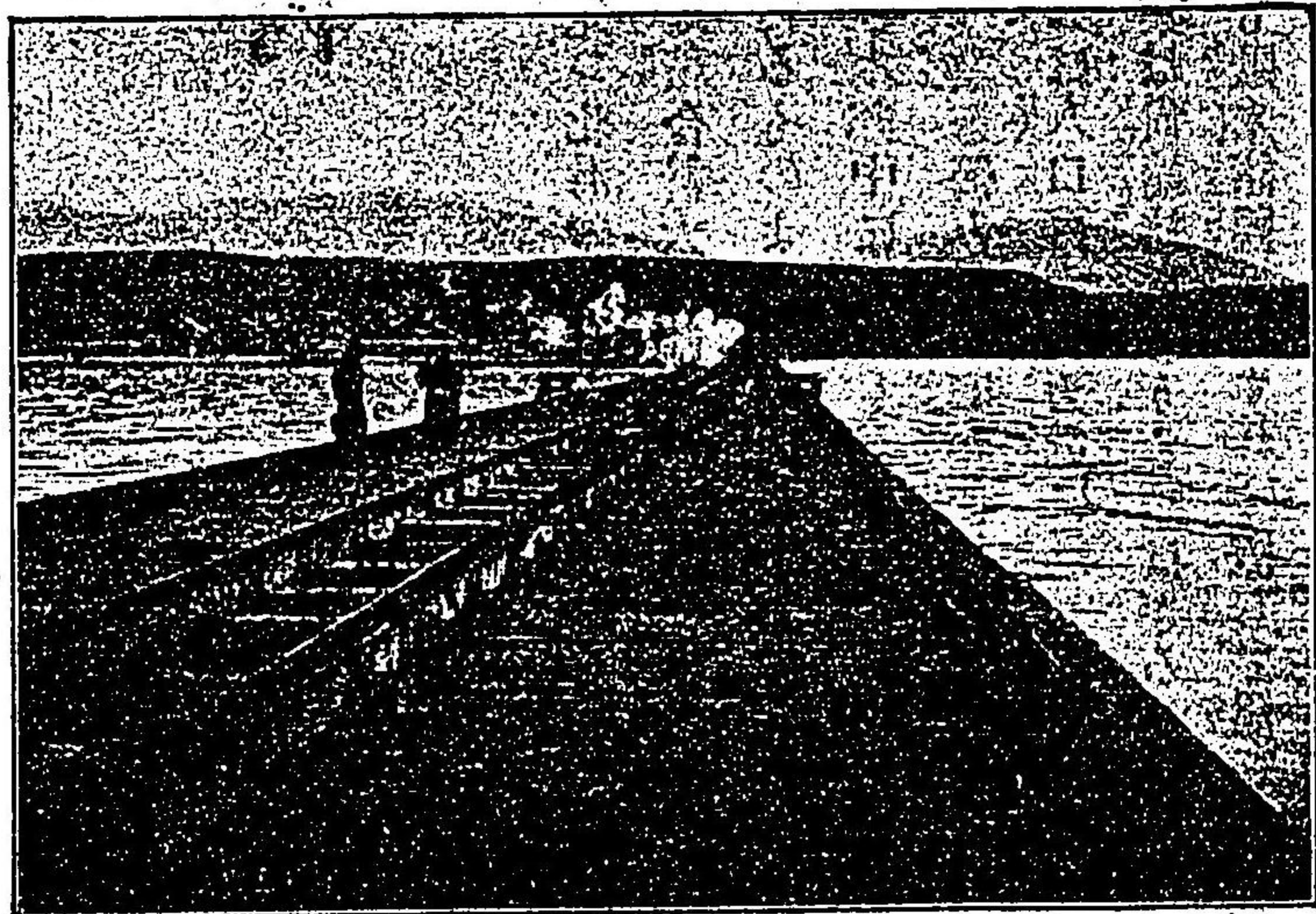
吾人は今移住案内を爲さんとするに當り先づ北海の概況を畧叙すべし
北海道は本島及び數十の島嶼より成り其地積合計六千餘方里ありて殆んど本邦地積の四分の一を占め臺灣九州四國を合せたるものより稍々大なり其原野は廣くして農耕牧畜の業に適し且水産物の多きことを本邦中に冠絶し又頗る有用なる礦物に富めり而して昔時は蝦夷地と稱し重もに漁業を營みしが開拓使以來大に拓殖の辦法を講し諸業漸次進歩し明治三十七年末には人口百十二万餘に達せり然れども土地の廣大なるに比すれば人烟寡少拓殖の業は尙端緒にありと謂はざるを得ず
氣候 本道は本邦中にては温度低しと雖も歐米諸國に比すれば概して温暖なり例

移住案内

移住案内

年四月は積雪融解し爾後温度急に昇り夏期の最高は華氏九十度以上に達し能く植物を生育せしめ而かも朝夕は涼しくして人身爽快なり秋季は温度急に降り概ね九月下旬に初霜を結び十一月末より雪を積み一二月の頃其深一尺乃至四尺となり寒氣強しを雖も衛生に宜しく且冬期は伐木運搬の業に適せり

交通 本道と府縣との交通は神戸より東海並に西海を廻りて函館、小樽に至る及び青森より函館、室蘭に至る郵船會社の定期航海あり其他該社外の船舶にして來航するもの少なからず本道沿海



小樽築港の景

の航海は郵船會社船及び本廳補助航海船其外往來する船舶數多あり平時に於ては支障なしと雖も唯冬期は北見、根室の地方殆んど航海を絶ち不便を感じり炭礦鐵道は小樽港手宮より起り石狩原野を横斷して室蘭港に至り又中途より岐れて諸炭山に至る官設鐵道は砂川にて炭礦鐵道に連絡し旭川に至り岐れて天鹽線及び十勝線となり北は名寄、南は落合に至り釧路、帯廣間汽車を運轉せり又北海道鐵道は函館小樽間を開通し全道の鐵道は七百餘哩に達せり

道路は開拓使以來開鑿する所一千九百餘里に達すれども未だ十分ならず且道路の粗悪なる所少しとせず然れども重なる道路には數里毎に驛遞の設ありて馬を備ふるが故に旅行には格別の困難を感せず馬の賃銀は一里に付き十錢より二十錢迄とし冬季夜間惡路には割増をなす

移住民 昔時に在りては奥羽及び北陸道地方の人民の外は移住するもの稀なりしに其後諸國より渡來するもの増加せり近頃一ヶ年の移住人員は五六万人にして農民は富山、石川、徳島、福井、青森、新潟を最とし宮城、岐阜、岩手、山形

移住案内

秋田、香川、福島、愛媛、奈良、鳥取の諸縣之れに次ぐ漁民は青森を主とし新潟、秋田、石川の諸縣之れに次ぐ商業は新潟、石川、二縣の者多數を占む

農業 農作物の主要なるは大豆、小豆、米、大麥、小麥、裸麥、粟、黍、蕎麥、玉蜀黍、蠶莩、燕麥、馬鈴薯、菜豆、亞麻、大麻、藍等とす蔬菜は蘿蔔、甘藍、玉葱、南瓜等を主とし果樹は蘋果、梨を主とす水田は近年大に増加し今後著しく進歩すべき模様なり藁、柾柳も適當し栽培する者あり

大豆、小豆、蠶莩、菜豆は府縣に輸出し品質佳良なるを以て好評あり藍も亦相應の品位を保ち悉く輸出せり大麥は麥酒醸造所に小麥は各製粉所に亞麻、大麻は製麻會社に燕麥は家畜の飼料として皆販路多し米、裸麥、粟、黍、玉蜀黍は多く自家の食料に供し馬鈴薯は食料となすの外澱粉を製して市場に出し又之を原料として酒精製造の業をなすものあり其他蘋果、甘藍、玉葱の類何れも佳良にして府縣并に外國へも輸出せり

農事試験場は札幌にあり地方農事試験場は石狩國旭川に同分場は十勝國帯廣に

あり農産の増殖改良に關する試験を行ひ且種苗を取りて農民に配布せり

養蠶 従來の經驗によれば本道各地概ね養蠶に適し殊に蠶蛆の害なく蠶種も亦良好にして年々府縣へ輸出せり桑は野生多きを以て之れを採りて飼育すべしと雖も開墾の業進むに従ひ桑樹減少するを以て漸次桑苗を栽植すべし其種類は本道野桑中の良きものを選ぶを安全とす

牧畜 本道は頗る牧畜に適す土産馬は性質順良機敏にして能く勞役に服せり惜らくは體格小にして力量足らざるも逐年改良の結果漸く其缺點を補ふに至らんとす又洋種を輸入し改良を圖り往々駿馬を産し府縣へも輸出せり牛はホルスタイン、アサシヤ、短角、ゲルンシー、デボン及び其雜種にして和種稀なり乳牛種牛として間々府縣へ輸出せり豚は皆洋種にして農家は往々飼育せり

北海道廳種畜場は石狩國真駒内に在り各種の良畜を飼育蕃殖し種牡牛馬貸與規則により畜種を牧畜者に貸附し又牡牛馬豚の胤付を許し以て牛馬豚の改良を圖れり御料牧場は日高國靜内郡新冠にあり良馬を産出せり民設牧場の數は三百十

七ヶ所あり

漁業 本道の水産に富むは世人の普く知る所なり水産物中最も重要なるは鯨にして鯨、昆布、鱈、鰺、鱈、烏賊、鰹、之れに次ぐ其外大鰯、鮫、鮑、鮑、鮑、鱈、鱈、チカ、キウリ、カナガシラ、ソイ、ヒラメ、鮑、海扇、ホツキ、牡蠣、海鼠、ウニ、若布、石花菜、銀杏、草海藻等あり海獣類も亦少からず鯨は渡島より北見に至る西海岸諸國に多く産し根室、釧路の二國之れに次ぐ鮭は全道各地に産し就中石狩、根室、北見の三國に多し昆布は東海岸諸國特



札幌の杉林

に日高、釧路、根室の三國に多し鯨は渡島、膽振、日高の三國を主とし鱈は各地にて釣り鱈も亦各地に産すれども千島國最も著名なり其外渡島、後志二國の烏賊、日高、釧路二國の鰹、北見、根室二國の大鰯、釧路國厚岸の牡蠣は何れも多額の産出あり又従前殆ど棄て、顧ざりし鮫、鰹其他雜漁の業漸く盛ならんとす
海産物の販路は頗る廣くして或は粕に搾りて肥料となし或は乾製又は鹽藏して食料品となし其他種々の雜用に供し年々夥しく府縣に輸出し又昆布は多く支那に越けり

林業 森林は御料林官林民林を合せ殆んど約五百七十万町歩あり其他未開の原野には尙ほ數多の樹林ありて最初に開けたる一部の地の外は頗る樹木に富めり樹種の重なるものは針葉樹にありては榎松、蝦夷松、イナイ(方言オンコ)として濃葉樹にありては桂、ヤナタモ、榎(方言アカタモ)刺楸、黄蘗(方言シコロ)檜、榾、樺(方言ガンビ)檜、樺、七葉樹、朴、山毛櫸、菩提樹、赤楊、ハ

コヤナギ、ドロヤナギ、山胡桃とす此等の樹木は或は建築或は器具或は薪炭に用ふべし又燐寸軸木、鐵道枕木、銃床、染料等種々の材料に供すべし
 植樹の業は渡島國其他一部の地に行はれり其樹種は渡島國にては杉、赤松、落葉松を主とし其他の地方にては落葉松を重もとせり又椴松、檜、アスナロ、ハコヤナギ、栗、桐等も少しく栽植せり

礦業 本道は頗る有用なる礦物に富み其既に採收せらるゝものは石炭、砂金、硫黃、滿俺、銀、石油、とす石炭は石狩國に最も多く就中幌内、夕張、歌志内の諸炭山を著名なりとす又釧路、天鹽、膽振、北見の諸國にも數多の良炭層ありて前途甚だ有望なり砂金は北見、天鹽、石狩、十勝の諸國に産せり、硫黃は各處の舊火山口に堆積し現今採掘の箇所尠からず近年は千島國より多量に産せり滿俺は後志國釧路郡、銀は後志國余市郡より出せり

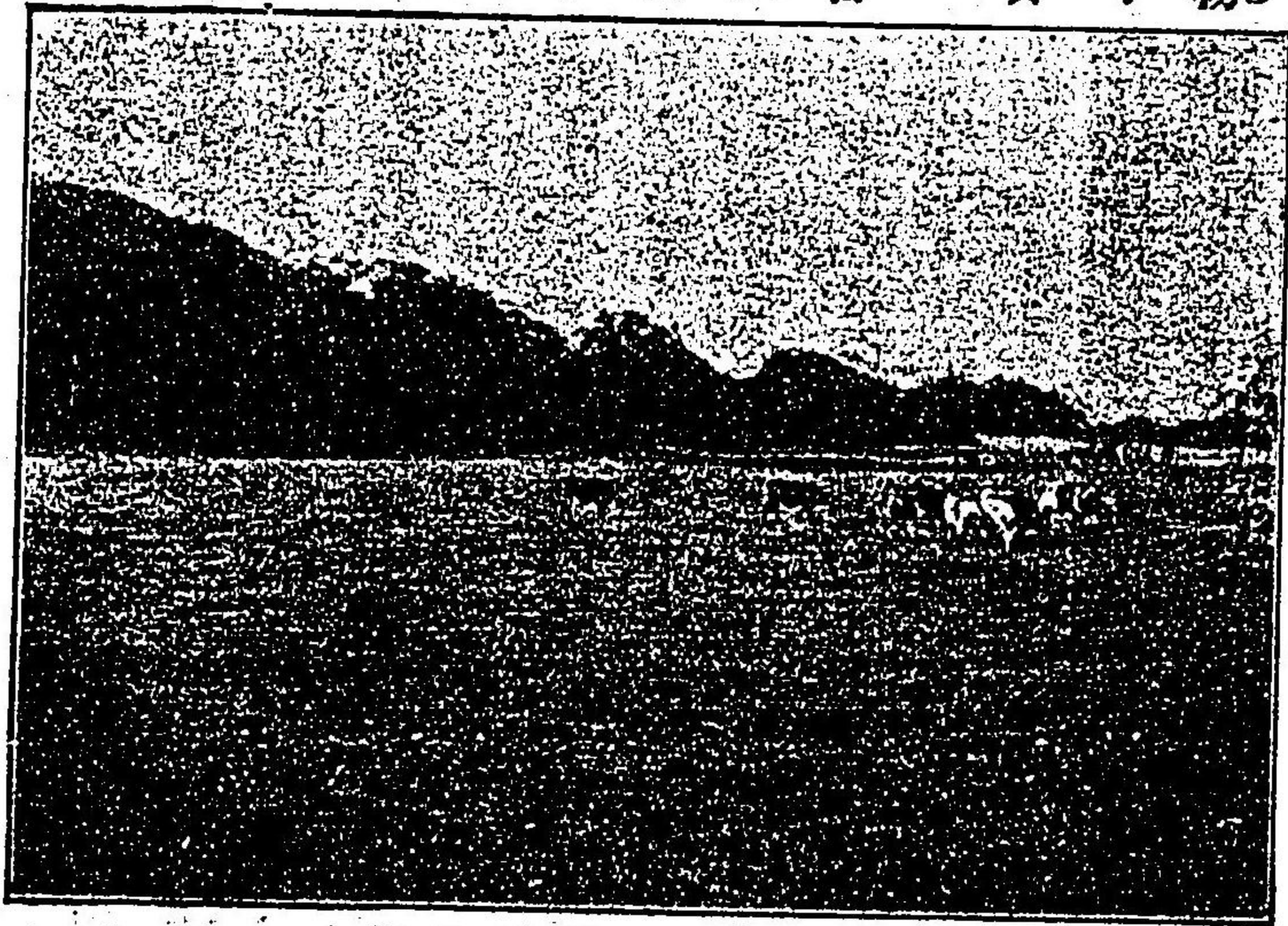
工業 諸種の工場中規模の大なるは札幌の製麻會社、麥酒釀造所、製粉所、機械製造所、骸炭製造所、岩見澤の炭礦鐵道會社工場、函館の船渠會社、上磯のセ

メント會社、上川の酒精釀造所、膽振國道分の骸炭製造所、早來の製磁所、釧路の紙料製造所、根室國西別の藤野鑛詰所等とす又工業中廣く行はるゝは燐寸軸木製造、酒造、澱粉製造、材木挽割、鍛冶等とす其他亞麻製線所、造船所、精米所、種油製造所、沃度製造所、醬油製造所、晒鹼製造所、製氷所、煉瓦石工場、製革場、製紙場、硝子工場等あり

商業 重なる商業地は函館小樽の二港とす實に本道の二大關門にして内外に向て盛んに取引をなせり其他札幌、旭川、岩内、江差、福山、根室、室蘭、釧路、厚岸、稚内、大津、帶廣、浦河、網走、増毛、余市等は各々其附近地方の市場として樞要の地たり又近來開拓の進歩するに從ひ各處に小商業行はれ漸次便利を増せり物價は交通の便利なる地に於ては府縣に比し格別の差異を見ず其他の地方は運搬の便否に從ひ其價を増せり

明治三十七年管外輸出品價格は合計三千七百九十万二千餘圓にして海産物を主とし農産物、礦産物、林産物之に次く同年管外輸出品價格は四千百五十六

万三千餘圓にして米最も多く呉服大物類、煙草、酒、砂糖、麩等之れに次ぐ金融 本道は新開地にして資本未だ十分ならざるが故に金利高し銀行利子は一ケ年に付九分乃至一割五分とし民間普通の貸借は一ヶ月に付一分五厘乃至三分とす高利貸と稱するものに至りては一ヶ月に付五分以上に達することあり金融の機關たる銀行の數は本店支店出張所を合せ五十八あり其所在地は函館小樽、札幌、旭川、江差、岩内、根室釧路、福山、室蘭、壽都、余市、古平増毛、稚内、厚岸、網走、帯廣、浦河



札幌農學校附屬牧場

殖民地

瀬棚、熊石、濹川、岩見澤とす拓殖銀行は札幌に在り
 賃銀 本道は人口の割合に比すれば事業甚だ多きか故に勞力の需要繁くして諸雇賃銀は府縣よりも高し末尾に掲ぐる所の賃銀表に就て見るべし
 教育 小學校の數は千〇六十五あり基本財産として土地を所有し其收入を以て教育費に補充するもの少からず又新移民地若くは舊土人部落の如きは其情況により官より補助費を補給し學校を設けしめ又簡易教育規程を設けて容易に教育をなし得るの道を開けり
 衛生 都會及び發達せる村落には病院又は開業醫あり其他の村落は概ね村醫を置き又新開の村落の如きは官より村醫費の一部を補給して之を置けり流行病は府縣に比すれば甚だ少なし風土病も亦少なく唯新移民地に間歇熱の多く行はるゝを見るのみ

殖民地の選定 拓殖の業を進むるには先づ殖民地を選定するを要するを以て

道廳は明治十九年以來之れが調査をなし今日迄に查了せし未開原野凡五十五億萬坪に達せり而かも殖民地の需要は年々増加するが故に今後も尙ほ之れを撰定するの必要あり

殖民地の區畫 右の如く撰定したる殖民適地は其儘移民に貸付したる所なきにあらざと雖も多くは區畫を施設して貸付せり是れ區畫を施設せば土地の整理に都合よきのみならず移住者を入るゝに甚だ便なるにやれり
區畫の法は縦横に兩基線を施し其基線に準じて平行線を畫し以て大中小の區畫を設けり小畫は通常一戸分と稱し其地積五町歩、中畫は小畫六個を合せ其地積三十町歩、大畫は中畫九個を合せ其地積二百七十町歩なり
本年以後貸付すべき殖民地 拓殖の進捗すると共に純粹なる穀稼農地の漸次減少する傾あるは數の免れざる所なりと雖も事業設計の如何に依り農牧混同等の經營を爲さんとする者には之れか適地尙ほ饒多なりとす

未開地處分法

本道國有未開地は明治三十年法律第二十六號北海道國有未開地處分法によりて處分せられ同年勅令第九十八號によりて無償貸付の面積を定められ同三十二年北海道廳令第十九號北海道國有未開地處分法施行細則により施行せらるゝものとす其處分の内最も移民に必要なるは同法律第二十六號第三條の無償貸付なるを以て茲に専ら此事に關し其概要を述べし
貸付すべき地 開墾牧畜若くは植樹等に供せんとする土地は無償にて貸付すべし而して其貸付すべき土地は區畫地と普通原野との二種あり區畫地の事は已に前章に述べたり普通原野の内目下貸付するは石狩、後志、渡島、膽振、日高、十勝、釧路七國の各一圓、北見天鹽二國の大部根室、千島二國の沿海とす但し宅地は何處にても貸付せらるゝことあるべし

貸付地積の制限 貸付すべき土地の面積は一人に付開墾に供する土地は百五十万坪以下、牧畜に供する土地は二百五十万坪以下、植樹に供する土地は二百万坪

以下とし會社又は組合に於ては右の二倍迄を出願するを得べし而して許可すべき地積は出願人の希望、起業の方法、資本の多少等によりて斟酌せらるゝなり又組合にして組合員中既貸付地を有するものあるときは其地積をも合算して右制限地積を超過するを許さず

一度土地の貸付を受けたる者は其土地の全部を成功するに非れば他の土地の貸付を受くるを得ずと雖も相當の資力ありて成功するを得ると認むるときは貸付せらるゝを得べし

土地貸付の期間 土地貸付の期限は許可の翌年より起算して普通十ヶ年以内となし尙ほ貸付地積の大小により左の標準を定む

五千坪未滿	三年以内	六万坪未滿	八年以内
一万五千坪未滿	五年以内	十万坪未滿	九年以内
三万坪未滿	六年以内	十万坪以上	十年以内

植樹又は泥炭地の開墾に限り特に二十ヶ年以内の期間を以て貸付し又天災其他

避くべからざる事故により貸付期間に成功する能はざるときは貸付期間の半期まで延期するを得べし

土地貸付の時期 普通原野は何時にてても出願するを得べし尙ほ區畫地中一日貸付をなしたる後の残り地又は一般の返還地は隨時に出願するを得べし

土地貸付に關する特典 府縣知事の證明を有する移住者(移住心得の章を見るべし)は他の出願者に先ちて土地の貸付を得る特典あり且二十戸以上團結して三年以内(豫定存置期間二年なるときは初年に總戸數の二分の一以上、三年なるときは初年二年に總戸數の三分の一以上宛移住すべし)に移住せんとする者は其移住を完了するまで未移住者に貸付地を豫定存置し又右と同一の期間及配當を以て二十戸以上の小作人を移住せしめんとする者にして其小作人の三分の二以上を府縣より募集する者には貸付停止中の土地を豫定存置することを得るなり

貸付地豫定存置願 前項に依り豫定存置の許可を受けんとする者は左の書式(書

移住案内

式略)の願書に府縣知事の證明書及財産證明書(團結移住に之を要せず)戸籍抄本、團結規約圖、面其他法人は定款組合は契約書を添へ直接本廳に差出すべし但し其移住期限に就ては特に本廳に於て變更せしむることあるべし

土地貸付願書 土地の貸付を受けんとする者は規定書式の願書に起業方法書、圖面及び現在人名を記載したる戸籍抄本を添へ支廳に差出すべし此外公共團體以外の法人に在りては定款組合に在りては契約書を添付すべし十萬坪以上の貸付願書には殊に官廳公署又は會



石狩川の鮭、曳網

(12)

社等の證明ある財産調書を添付するを要す又十萬坪以下の願書と雖も同様の財産調書を添付せば其身の信用を確かむるの利益あり又原籍官廳の證明書又は添翰を有するものは之れを其願書に添付するをよしとす(書式略)

右の外宅地、牧場、植樹、海産干場の起業方法書等の書式は北海道國有未開地處分法施行細則に示せり本廳より各府縣郡區市役所町村役場等に配付し置ける書類に就て看るべし

事業の着手 土地の貸付又は豫定存置の許可を得たるときは時機を誤らずして其の事業に着手すべし豫定存置を得たる者にして豫定命令の如くならざるときは豫定存置の效を失ひ團結移住者にありては既移住者のみ一戸五町歩の標準を以て貸付せらるべし又通常貸付許可の後一ヶ年以内に事業に着手せざるときは其貸付處分を取消さるべし

貸付地の讓渡 貸付を受け事業に着手したる後左の事情を生じたるときは本廳の許可を得て其貸付地の上に有する權利を賣買讓與し又は債務の擔保に供するを

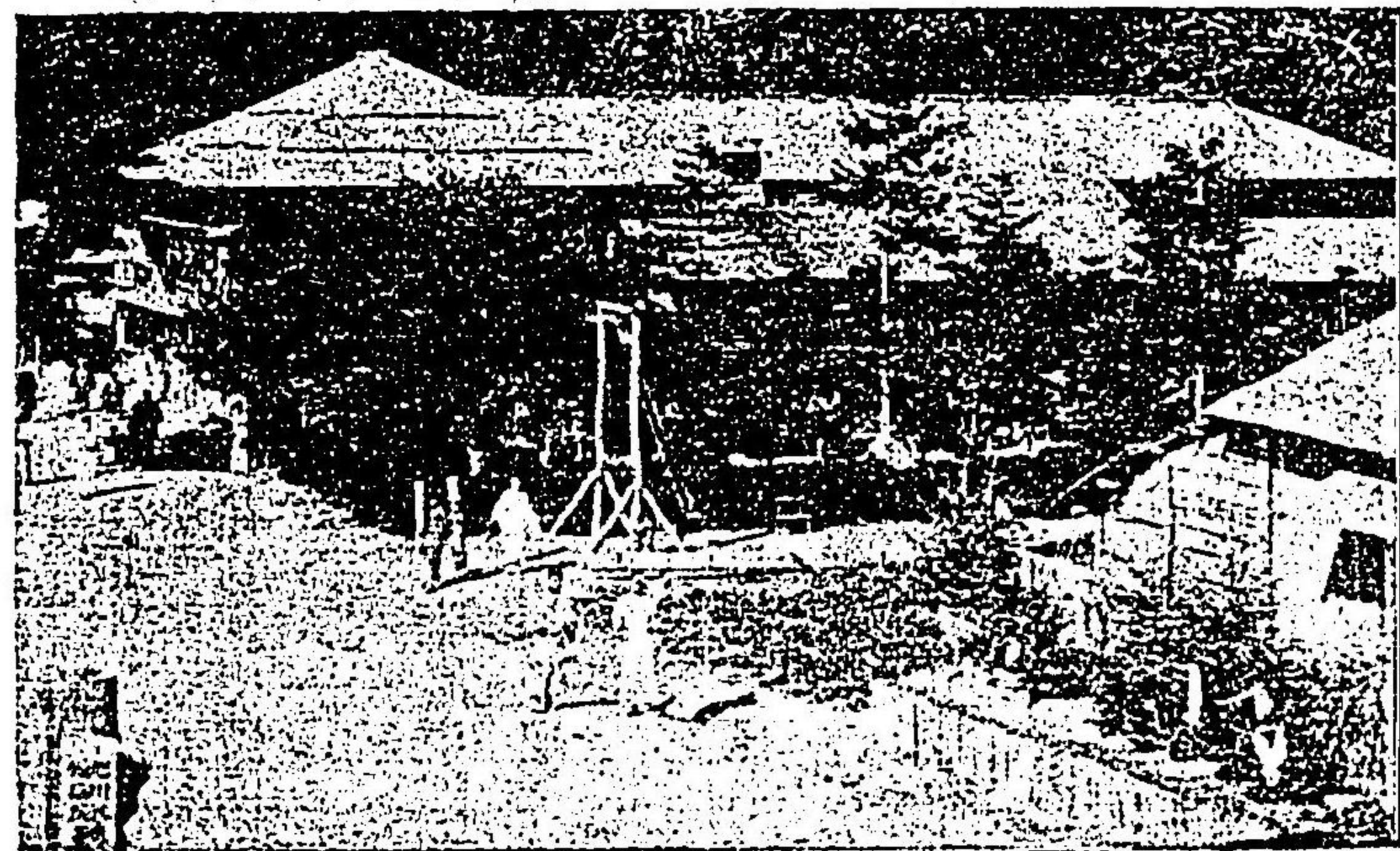
移住案内

(11)

得べし

- 一 相続又は分家したるとき
- 二 天災其他避け難き原因に基く故障あるとき
- 三 轉居轉業又は疾病に因り當初の目的を達し難きとき
- 四 小作人に其小作せる貸付地の權利を移轉せんとするとき
- 五 貸付期間内全地成功したるとき

移民中には往々竊に他人の貸付地を買受け後日に至り紛紜を生じ甚しき不幸を見ることあり故に貸付地買受



北海道唯一の温泉眺望絶佳元壯觀別天地の趣あき
 (登別温泉旅館の泉) (馬車停揚り一里半)
 (馬車の便あり)

又は讓受げんと欲せば必ず公然の手續を履み出願して許可を受くるを要す

貸付地の成功 貸付地は起業方法書に記せし如く豫定の事業を後れざる様成功すべし本廳に於ては隨時其成否を點檢し豫定の如く成功せざるときは未成功地の全部を返還せしめ且拓殖上又は土地整理上支障ありと認むる場合には其成功地の一部若くは全部を無償にて返還せしむることあるべし
 返地の場合に於て主たる事業を成功せずして従たる道路、堤塘、建造物等のみを營造し又は成功検査後に成功したる土地と雖も其土地荒廢に屬したりと認むるときは未成功地として處分し又一旦成功したる土地と雖も其土地荒廢に屬したると認むる時は未成功地として處分するを例とせり

貸付地の返還 着手以前に於て全地を返還せんとするときは届出づべし着手後に於て返還せんとするときは本廳長官に願出づべし此場合及び成功検査の結果返地を命ぜられし時其地内に伐採したる樹木あるときは其相當代價を辨償せしむるものとす又貸付地にして公用又は公共の利益となるべき事業に供せんとする

ときは本廳より之れを返還せしむることあり此場合には其地内の建設物其他の物件は所有者の請求により評定の移轉料を辨償し又は評定價格を以て買收し且土地に對して費したる直接の費用又は其費用より評定價格の方多額なるときは其價格により辨償せらるゝなり

貸付地の付與 貸付地は起業方法の通り全部成功の後願書を差出せば無償にて附與せらるべし但し貸付期間満了の後一ヶ年以内に附與を出願せざるときは其權利を拋棄したるものとす

貸付地中開墾すべき地は全部成功に到らずと雖も土地整理上支障なしと認むる場合は出願により其成功地の全部若くは一部を付與せらるべし其標準は開墾すべき全地三萬坪未満は一回、十萬坪未満は二回、十萬坪以上は三回とし毎回出願の地積は五千坪を下るを得ず

右の如く土地の付與を受けたる者にして六ヶ月以内に其登録を請ふとき及び土地臺帳に登録するときはその登記税を免除せらるべし

付與を受け民有となりたる土地は翌年より二十ヶ年の後にあらざれば地租及び地方税を課せらるゝことなし且北海道の地租は一般に地價百分の一とす

代理人 土地の貸付を受けたるものにして地元戸長役場内に居住せざるときは其部内の居住者を代理人に定め双方連署の上所轄支廳に届出づべし

土地調査の立會 土地の貸付、付與の處分其他土地開墾に關し實地に當事者の立會を要する爲め當該官吏より通知を受けたるときは之れに立會すべし

標杭の建設 土地の貸付、付與を受けんとする者にして實地立會の通知を受けたるときは區畫地の外は立會前に其土地の境界に假標杭を建設すべし又成功検査の際は其の成功區域に標杭を建設すべし土地の貸付、付與の許可を受けたる者は指令受領の日より三十日以内に規定の様式により土地の境界に標杭を建設し貸付地は貸付期間、付與地は十ヶ年間之れを存置し亡失毀損の場合は更に建設するを要す

訴願及び行政訴訟 土地の貸付を受け一ヶ年以内に事業に着手せず若くは成功検査

査の結果により土地の返還を命ぜられたるとき不服なれば訴願又は行政訴訟を提起するを得

移住心得

本道は農業に適する未開原野多し本道は新に興すべき事業多し本道は大抵の業務に於て府縣よりも比較的利益多し然れども本道の事情を知らず目的方法を定めず漫然空望を抱きて渡來するに於ては實に其目的を達する能はざるのみならず徒らに不案内の地に彷徨し遂には所持の金品をも消費し盡くし甚だしき困難に陥ることなしとせず故に移住せんと欲するものは先づ能く目的方法を定め既に移住したる後は耐忍勉勵して其業に従事するを要す尙ほ移住につき注意すべき事項の大略を左に述べん

團結移住 未開の原野に入り開墾をなさんとするものは成る可く團結移住をなすを可とす何となれば其業容易ならざるを以て多數の人一致和合し緩急相救ふの必要あればなり其他團結の利益は一々舉ぐるに違わらず殊に府縣知事の証明を

得て出願せば貸付地の豫定存置を得るの便宜あり其移住をなすに當りては先づ總代人を派し豫め土地を撰定し許可を受け十分の準備をなして出發すべし

單獨移住 既に開けたる土地又は其近傍にして地積大ならざる處に移住せんとする農民若くは農業外の目的を以て移住せんとするものは必ずしも團結をなすを要せず能く目的方法を定めて出發すべし信用すべき先移住の知り人をたよりて來るは最も安全なり又開墾を目的となすものは府縣知事の証明を受くることを忘るべからず此証明を有するときは他の出願者に先ち土地の貸付を得る便利あり

小作移住 本道大農場にて要する所の小作は毎年三千戸を下らず故に右等農場の小作人となりて立脚の地を造くるは移住の一方便なり然れども不確實なる農場に入る時は實に立脚の地を得ざるのみならず却て非常なる困難に陥ることなきにあらざれば小作人となる前に正實なる農場を撰み保護の厚薄契約の善惡を善く善く吟味すべし

府縣知事の證明 開墾の目的を以て團結移住をなさんとする者は明治三十年拓殖務省令第三號北海道移住民規則により規約を締結し(一)事業の目的(開墾牧畜植樹等)(二)貸付出願地積(三)移住の戸口(四)從來の職業(五)總代人を設けたるときは其氏名(六)移住後に於ける隣保救護の方法を設けたる時は其方法(七)移住旅費家屋農具衣食等の準備並に支出の方法(八)小作の方法に依る場合は前各項の外小作契約を掲記し府縣知事に差出し證明を受くべし

單獨移住者にして土地の貸付を受けんと欲するものも亦事業の目的、希望地の所在地並に地積、本人又は家族移住の有無、從來の職業、資産、組合ならば組合契約、小作法ならば小作人保護の要領等を記し府縣知事に出願して證明を受けるを利ありとす右證明を有するものが土地貸付上如何なる利益あるかは未開地處分法の章に就て知るべし但し證明を受けたる後六ヶ月以内に本廳に何等の申出を爲さざるときは其證明の效力を失ふに付其場合は更に出願して證明を受けるを要す

移民募集者 一種の移民募集者あり種々の甘言を以て誘導し旅費の一部を騙取し或は到着後人夫となし又は他の小作人となし其間に於て私利を博せんとするものなきにあらざる注意すべし

本廳下附の土地貸付指令書若くは本廳長官又は本道支廳長の證明を有する本人又は代人若くは移住民募集の目的を以て設立したる法人にして豫め本廳長官の認可を受たる者にあらざれば府縣に於て小作人を募集し又は小作人を移住せしむるを得ず之に背くものは科料に處せらる

小作人渡航證明 地積三十万坪以上の貸付を受け小作開墾をなさんとする者は小作人を府縣より募集せざる可からざるに付其小作人の本道に上陸したるとき其地の警察署又は分署より渡航證明を受け他日検査を受ける際之を以て府縣募集に係ることを證すべし

汽車賃汽船賃の割引 明治三十六年内務省告示第九十號に依り本道に移住するものゝ爲め汽車賃汽船賃の無賃割引券を下附せり故に移民は其住所を有する地の

府縣島廳又は郡區市役所警察署に申出で割引券の下付を請ふべし若し居住地に於て割引券を受くること能はざるときは旅行先の官公署に之を請求して下付を受くるを得べし

右割引券を携帯する移住民に對し北海道内の官、私鐵道は無賃、其携帯品に對して官設鐵道は無賃、私設鐵道は日常必要の家具衣類農具に限り無賃、遞信省所管の鐵道其他の鐵道は五割引、其携帯品は無賃定限に超過する分を五割引とす但し讚岐、尾西、北越鐵道は搭乗賃並に無賃定限に超過したる携帯品共三割引水戸鐵道は同しく二割引とす日本郵船會社大阪商船會社の汽船は五割引其他の汽船にて二割乃至五割引をなすものあり委細は割引券を請求するとき其官廳に就て聞くべし

又北海道へ移住後割引券(左右の小券を切り棄たる残りの中央券)を移住の證憑として携帯する時は未開地貸付等に特殊の取扱を受くべし

北海道協會に於ては移住者の爲め本道に於ける解賃、宿泊料、車馬賃、運搬賃

の割引券を發行し各府縣郡市區役所に配布しあるが故に其下付を受けて携帯すべし

移住の期節 通常二月前後に移住するを例とす是れ其頃は雪解の際にて開墾耕種に都合よきに由れり然れども本道の農業に慣れざるものは動もすれば小屋掛伐木等に手間取れ其年に於て豫期の收穫をなす能はざるの憂あり因て團結移住者の如きは秋季數名の壯者を派して小屋掛其他の準備をなし翌春に至りて移住するを得策とす尤も一月より六月までの間は北海道廳より要港に官吏を出張せしめ移住者に各種の注意と保護とを與ふるを以て此期間に移住するを便利とす

旅行の準備 從來春季早々渡航するもの、内には間々旅裝不十分にして跣足氷雪を踏で上陸旅行するものあり老幼の如き殊に憫れむべき状態を呈す故に移民は一般に旅裝を十分に於て老幼婦女子と雖も必ず足袋脚半股引の類を用意すべし携帯すべき貨物は衣服夜具は勿論家具農具の類と雖も破損し難く荷嵩の大ならざるものを選びて荷造を十分にすべし殊に荷札は破損脱落して受取の際不便を

来たすこと少なからざれば可成厚き木札と布札の二様を用ひ住所姓名を明記し荷物より脱落せざる様堅く結束すべし

移住費 旅費は里程の遠近等に因りて大に異なれば運車運船賃表並に其割引及び本道里程表等を参照して各自に算出すべし移住後の経費は其目的によりて一様ならず通常區畫地一戸分即五町歩を開墾せんとする農民に在りては其移住地の便否家族の多少により五十圓乃至二百圓を要せり通例一戸四口に對し衣服夜具の類を携帶するものとして小屋掛費十四圓弱、家具費九圓餘、農具費二十六圓弱、食料八十七圓餘、合計百三十六圓餘を要し其内家具農具の如きは多少携帶するによりて其費を減すべく又小屋掛費も自己の勞力によりて多少減するを得べし

旅行の道順 裏面にある北海道渡航案内圖を見るべし尙ほ本道に於ける道順の明かならざるものは函館又は小樽等の要港に出張せる移住民取扱者の指圖を受くべし

旅行中の注意 多くの回漕店又は旅人宿の中には稀れに船待其他種々の口實を設

け移住者を滞在せしめて宿拂の多きを貪り或は船賃運送賃等を受取りて其受取證及引換證を渡さずして向拂となし移住者をして到着後不當の支拂をなさしむる等の弊あり故に地方に於て信用確固なる旅店回漕店を撰び荷物托送の際は必ず受取證引換證を取りて携帶すべし

本道内の旅行には到る所の支廳局長役場區町村役場警察官吏に信賴して旅行の安全を圖るべし殊に函館、小樽、室蘭、釧路、網走其他重なる上陸地には管轄支廳、警察署の官吏及び北海道協會員等派出して移住者に關する事を取扱ふ所ありて汽車汽船の割引券を與へ或は割引の特約ある旅人宿貨物運送店等を示し種々の便宜を與ふ故に移住者は必ず之れに就て總ての事を問合せ安全に目的の地に至るべし

北海道協會 は本道に於ける拓殖及び生産事業の普及發達を謀るを以て目的とし本部を東京芝區愛宕町二丁目支部を札幌區大通東二丁目四番地に出張所を各

支廳所在地に置く該會は本道各種の事業並に移住に關し無料にて質問に應じ又解賃、宿泊料等の割引に付移住者の便利を圖れり

開墾耕種

未開の原野に入り開墾に従事するは随分難儀なる次第にして適當の資本と勞苦とを費さざる可らず然れども數年の後開墾の業成り荒蕪は變じて美田となり鶏犬の聲其間に和するに至りては其愉快言ふべからざるものあらん故に開墾をなさんと欲するものは堅く前途の愉快を心に期し耐忍して屈することなく勉強して其業に従ふを要す

小屋の位置構造 原野に入れば先づ住居すべき小屋を造るを要す其位置は成るべく高燥にして衛生に適し飲料水の便利よくして水害の患なく且開墾地を前面に見渡すを宜しとす其構造は雜木の丸木を用ひ大抵三間に五間位の堀立となし秋季なれば茅蘆の類を以て屋根を葺き周邊を圍ひ春季なれば笹樹皮又は割木等を以て之れを覆ひ秋期に至りて修補すべし

開墾法 樹林地は先鋸及び鐮を以て伐木し枝を纏めて焼き棄て笹又は雜草は他へ延焼せざる豫防をなし乾燥の時を見て焼き拂ひ或は刈りて後焼き去り唐鋸を以て開墾すべし不慣れの間は甚だ難儀なるも少しく慣るれば案外に困難を感ぜざるなり若し其の地草原にして樹木なければ草を刈り或は焼き拂ひ唐鋸を以て開墾し又廣き地積ならば新墾プラオを以て墾鋸するを便とす概して開墾地は府縣の田畑に於けるが如く丁寧に失せんよりは寧ろ粗放にして廣く耕し播種の期を誤らざるを利とす尙ほ開墾に就ては種々の便法あるが故に先住者の經驗を聞きて良き法を採るべし

開墾の勞費 土地の状態と開墾の精粗とにより一樣ならずと雖も通常一段歩に付開墾人夫は草原は四人乃至八人樹林地は十人乃至二十人を要すべし草原を新墾プラオにて開墾せしむるときは一段歩に付一圓乃至二圓を要し馬匹器械を購入し使用すれば一日三反乃至五反を鋤起することを得べし

種子物 種子物は風土の異りたる府縣より持來るも初年より能く成熟するもの少

なし故に一部の蔬菜類の外は移住の後信用すべき種物店又は近傍の農家より求めて安全なる種類を用ふべし

播種の季節 播種の時期を失へば豫期の收穫を得ずして困難するが故に能く注意すべし未尾に掲ぐる所の季節表は石狩國以南の經驗なるが尙ほ地方により年によりて適宜斟酌するを要す

耕種の方法 新墾の初年に於ては其耕種の方法一樣ならず肥沃なる地に於ては大抵の穀類は類僅に畦に當る所のみを墾して種を下し翌年に至りて全部を墾するもの多し而も播種後の手入れを怠らざれば十分の收穫あり樹根なきに至れば馬耕をなすが故に大に人力を省くを得べし尙ほ畦間の廣狹、播種の量、栽培の順序等は舊移住者に就て聞くべし

農作物 新墾地に適する作物は大豆、小豆、蕎麥、粟、黍、玉蜀黍、蕪菁、馬鈴薯等とす移住の初年には自家の食料となすべきものを作り其以後の新墾地には適宜販賣作物をも交へ作るべし熟畑となりし後は種々の作物能く登熟し又其土

地によりては水田を設くるも可なり

排水 排水は大に土地を改良し收穫を増すの効あり殊に濕潤に過ぐる憂ある地は新墾の初年と雖も排水溝を設くることを怠るべからず

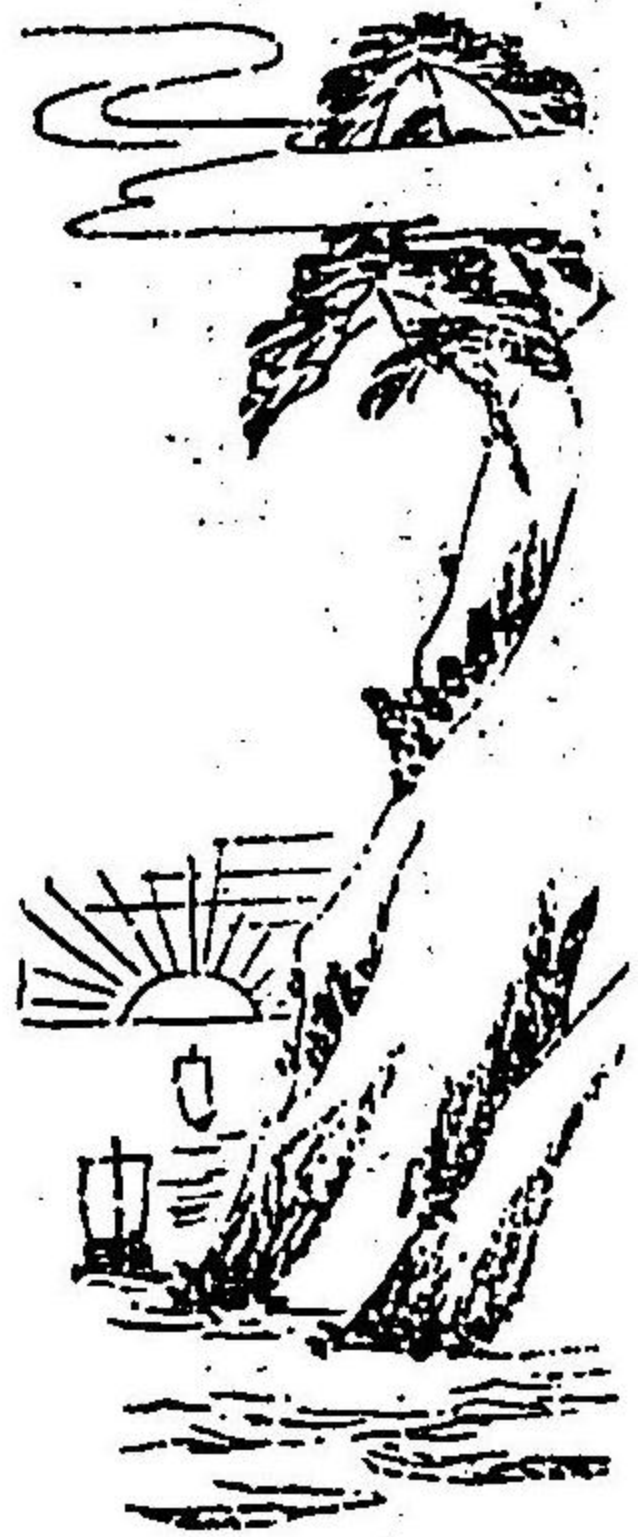
風防薪炭用林 貸付地の十分の二までは風防、風致、薪炭用の爲め存置するを許すが故に能く其地の風向等を察して樹林を保存すべし若し其地天然の樹木なければ新に栽植するを可とす

肥料 新墾地に於ては三年乃至五年間は肥料を施さずして十分の收穫あり然れども之れに慣れて施肥を怠るときは終に地力瘠せ衰へて再び恢復すること難きが故に未だ地方の衰へざる内より施肥に注意すること大切なり

家畜 鶏の如き飼育容易なるものは初より之れを飼ふべし又牛馬も適宜の時期に購求し之れを愛育して運搬に供し耕耘に用ひ其肥料を取りて畑に施すは農家の要務たり

冬間の仕事 冬期は重もに力を伐木に用ひ翌年開墾の準備をなすべし又地方に依

北海道各町村里程案内



移住案内

りては薪まき或は木材もくざいとなし或は炭すすを焼きて販賣はんばいせば一家の生計せいけいを補ふに足らん

(三四)

經由町村	札幌ヨリ小樽、岩内、壽都、江差、福山ヲ經テ函館ニ至ル	札幌ヨリ輪西、森、楢法華ヲ經テ函館ニ至ル陸路	白老	五、二、五三、〇元	四、〇、七〇、八元	四、〇、七〇、八元
里程	一、二八、〇〇里	一、二八、〇〇里	幌別	四、三〇、四二、七〇元	二、三、一〇、六八、二〇元	二、三、一〇、六八、二〇元
累計	一、二八、〇〇里	一、二八、〇〇里	鶴別	二、〇〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			輪西	二、三、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			元室蘭	一、二、五〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			東紋別	二、二〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			有珠	三、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			此田	一、一五、〇〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			禮文	五、二〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			長万部	八、二七、五〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			國縫	三、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			雲	五、〇三、三〇、六〇、九二、二〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元	一、七、一〇、〇〇、〇〇元
			八		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			函館		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			下湯川		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			錢龜澤		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			戸井		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			尾岸内		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			楢法華		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			尾札部		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			鹿部		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			砂原		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			森		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			石倉		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			落部		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			下		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			手箱		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			函館ニ至ル		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			下		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			手箱		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元
			函館ニ至ル		一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元	一、三〇、〇〇、〇〇、〇〇元

北海道各町村里程案内

作壽橋	作有野	岩小	仁大	鹽小	朝里	錢函	江差	泊乙	熊取	久遠	太田	太櫓	瀬棚	利別	國縫	長万部	黒松内	熱内							
二〇六、五四三、九〇八、五五	一、五、五九三、七〇三、三	一、〇七、五三三、三〇七	八、〇九、五三三、三〇七、二六	一、〇七、五三三、三〇七	一、〇七、五三三、三〇七	一、〇七、五三三、三〇七	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇						
二〇六、五四三、九〇八、五五	一、五、五九三、七〇三、三	一、〇七、五三三、三〇七	八、〇九、五三三、三〇七、二六	一、〇七、五三三、三〇七	一、〇七、五三三、三〇七	一、〇七、五三三、三〇七	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇							
江差	泊乙	熊取	久遠	太田	太櫓	瀬棚	利別	國縫	長万部	黒松内	熱内	函館	田磯	上磯	茂邊地	木古内	知内	福島	吉岡	大澤	福山	根部田	江長町	石崎	上ノ國
三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

壽都ヨリ	海岸線	經由	町村	壽都	政泊	本目	永豊	島歌	瀬棚	函館ヨリ	七飯	森至ル	函館	龜田													
里	程	累	計							里	程	累	計														
三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇													
七飯	赤井川	森	札幌ヨリ	増毛	宗谷	網走	根室	至ル		留萌	増毛	茂生	川下	厚田	望來	石狩	花畔	札幌	網走	根室	至ル						
三、三三、〇〇〇	四、一四、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇							
三泊	鬼鹿	苦前	羽幌	聚參別	天楢	稚内	宗谷	枝幸	雄武	滑川	紋別	別別	常呂	三泊	鬼鹿	苦前	羽幌	聚參別	天楢	稚内	宗谷	枝幸	雄武	滑川	紋別	別別	常呂
二、一五、〇〇〇	四、〇四、〇〇〇	四、〇四、〇〇〇	二、〇五、〇〇〇	五、〇九、〇〇〇	一、一三、〇〇〇	五、〇九、〇〇〇	六、一五、〇〇〇	二、四九、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	八、三三、〇〇〇	一、三三、〇〇〇	七、一四、〇〇〇	二、〇二、〇〇〇	二、一五、〇〇〇	四、〇四、〇〇〇	四、〇四、〇〇〇	二、〇五、〇〇〇	五、〇九、〇〇〇	一、一三、〇〇〇	五、〇九、〇〇〇	六、一五、〇〇〇	二、四九、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	八、三三、〇〇〇	一、三三、〇〇〇	七、一四、〇〇〇	二、〇二、〇〇〇

岩見澤	江別	對雁	苗穂	札幌	網走ニ至ル	札幌ヨリ上川ヲ經テ	根室	別海	標津	斜里	藻琴	網走	能取
四,〇九,三八	一,〇三,二四	三,二六,五三	一,〇〇,〇〇	一,〇〇,〇〇	一,〇〇,〇〇	一,〇〇,〇〇	八,三三,四一	八,〇〇,四二	二,四三,一四	六,〇三,〇〇	一,三四,〇〇	三,〇五,〇〇	三,〇〇,〇〇
九,二八,四五	五,一九,〇七	四,一六,五三	一,〇〇,〇〇	一,〇〇,〇〇	一,〇〇,〇〇	二,八五,三〇	四,九四,二九	二,八五,三〇	二,七二,九二	二,六三,三四	二,五三,〇四	二,五三,〇四	二,五三,〇四
對雁	札幌	經テ留萌ニ至ル	札幌ヨリ月形、妹脊牛ヲ	網走	野付牛	國境	下愛別	永山	旭川	音江	瀧川	砂川	美唄
四,一六,五三			二,八五,三〇	二,一八,五八	三,三三,三三	一,二四,三四	四,三〇,〇〇	二,三〇,四六	七,三三,〇九	六,〇〇,〇〇	二,〇五,〇七	四,三三,九一	四,二六,四九
四,一六,五三			三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三	三,三三,三三
落合	金山	中富野	美瑛	旭川	旭川ヨリ大津ニ至ル	留萌	北龍	妹脊牛	雨龍	新十津川	浦臼	月形	當別
七,〇〇,〇〇	一〇,一〇,〇〇	八,〇〇,〇〇	六,三〇,〇〇	六,三〇,〇〇	六,三〇,〇〇	九,二〇,〇〇	三,一八,〇〇	三,〇〇,〇〇	二,四〇,〇〇	四,四〇,〇〇	四,〇〇,〇〇	五,一八,〇〇	二,一八,〇〇
三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇

名寄	多寄	士別	劔淵	比布	鷹栖	旭川	旭川ヨリ名寄ニ至ル	大津	安泊	藻岩	帶廣	芽室	新得
二,二三,三五	四,二四,〇〇	三,一八,〇〇	七,二二,〇八	三,〇六,二九	一,二七,四二	一,二七,四二	一,二七,四二	二,二五,〇〇	二,二二,二五	七,三四,五五	三,三〇,四四	七,三〇,四四	四,〇三,二〇
三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五	三,一五,二五
勇掛	苦小牧	經テ根室ニ至ル	苦小牧ヨリ浦河、釧路ヲ	苦小牧	早來	安平	追分	由仁	角田	栗山	栗澤	岩見澤	岩見澤ヨリ苦小牧ニ至ル
三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	六,一八,〇〇	六,一八,〇〇	一,一八,〇〇	二,〇〇,〇〇	四,〇〇,〇〇	一,〇〇,〇〇	一,一八,〇〇	三,三〇,〇〇	三,三〇,〇〇	三,三〇,〇〇	三,三〇,〇〇
三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇	三,〇〇,〇〇
鹿路	白糠	音別	十勝	大津	歴舟	茂寄	猿留	幌泉	浦河	荻伏	下々方	門別	鶴川
二,〇〇,〇〇	六,〇〇,〇〇	六,三〇,三九	一,一七,一八	八,二五,〇〇	五,〇五,〇〇	七,〇三,四〇	八,一七,二七	九,三三,〇三	二,二五,〇三	八,二二,四三	八,二二,四三	四,二五,二二	四,一八,〇〇
八七,二五,一〇	八五,二五,一〇	七九,二五,一〇	七三,三〇,二二	七三,三〇,二二	六三,二四,〇四	五七,一九,〇四	五〇,一六,〇四	四三,一四,五七	三三,〇三,五五	二九,一四,五三	二九,一四,五三	二七,一六,一〇	二七,一六,一〇

北海道各町村里程案内

釧路	五、一五、五〇九三、〇二、五二
太田	三、〇五、五〇一五、〇八、四五
厚岸	二、一八、五〇七二、七三、九
霧多布	八、一四、二二六、〇六、〇〇
初田牛	八、〇三、〇〇二四、〇八、〇〇
和田	七、一六、〇〇三三、一四、〇〇
根室	二、〇〇、〇〇三三、一四、〇〇
紗那	二、〇〇、〇〇三三、一四、〇〇
留別	六、二六、四二

札幌ヨリ各支廳所在地ニ至ル里程

所在地	支廳名	陸路	浦河支廳	浦河支廳	同	四九、一八、四〇
岩見澤	空知支廳	同	河西支廳	河西支廳	同	八三、三、〇〇
旭川	上川支廳	同	釧路支廳	釧路支廳	同	一九、二六、三三
小樽	小樽支廳	同	根室支廳	根室支廳	同	一五、〇一、四〇
増毛	増毛支廳	同	紗那支廳	紗那支廳	陸路三三〇、二室蘭迄	海路五七 室蘭ヨリ
稚内	宗谷支廳	同	函館ヲ經テ紗那ニ至ル			
網走	網走支廳	同	北海道近海海里			
岩内	岩内支廳	同	小樽網走線			
壽都	壽都支廳	同	自小樽	四九	自小樽	七八
江差	檜山支廳	同	自増毛	五九	自天賣	七八
福山	松前支廳	同	自留萌	五六	自天盤	一〇八
函館	函館支廳	同	自小樽	七八	自仙法志	一一六
室蘭	室蘭支廳	同				

北海道各町村里程案内

至自 網小 走樽	至自 常小 呂樽	至自 湧小 別樽	至自 紋小 別樽	至自 雄小 武樽	至自 枝小 幸樽	至自 稚小 内樽	至自 香小 深樽	至自 鬼小 脇樽
三〇四	二八八	二七〇	二六二	二三六	二二二	一四八	一三〇	一一九
至自 大函 津館	至自 浦函 河館	至自 室函 蘭館	函館 根室線	至自 函小 樽	至自 江小 差樽	至自 壽小 都樽	至自 岩小 内樽	小樽 函館線
一七九	一〇五	一七九		二一八	一四六	七六	六九	
至自 斜古 丹館	至自 乳香 路館	至自 瀬函 石館	函館 紗那線	至自 根函 室館	至自 花函 咲館	至自 霧大 布館	至自 厚函 岸館	至自 釧函 路館
三三五	三三四	三一八		二八九	二六三	二四三	二三〇	二一〇
							至自 紗函 那館	至自 單函 冠館
							四二八	四一三

至自 網小 走樽	至自 常小 呂樽	至自 湧小 別樽	至自 紋小 別樽	至自 雄小 武樽	至自 枝小 幸樽	至自 雅小 内樽	至自 香小 深樽	至自 鬼小 脇樽	至自 小樽 函館線
三〇四	二八八	二七〇	二六二	二三六	二二二	一四八	一三〇	一一九	小樽函館線
					函館根室線				
至自 大函 津館	至自 浦河館	至自 室蘭館			至自 函小樽	至自 江小樽	至自 壽小樽	至自 岩小樽	至自 小樽
一七九	一〇五	七九			二二八	一四六	七六	六九	
					函館紗那線				
至自 斜古丹	至自 乳香館	至自 瀬石館			至自 根室館	至自 花咲館	至自 霧大布館	至自 厚岸館	至自 釧路館
三三五	三三四	三一八			二八九	二六三	二四三	二三〇	二二〇
								至自 紗那館	至自 單冠館
								四二八	四一三

！本舎の發展！

北海道出版界の進歩運々として内地に比し頗る遜色あるは御同様本道文化の爲め痛嘆に堪へざる義と存じ本舎は年來御深く心を斯業の改良發展に潜め幸に各種新聞雑誌印刷の御用命を受ければ外の好評を忝ふし居候も看はらみて自ら満足し難きもの多く有之候ひし處今回舎主自身出京の序を以て詳しく申し候中中央出版界の現状を視察致し候上多數の嶄新なる器械器具活字等購入し又従來技術上の欠點改良の途をも講上候間將來本道出版業者間に於て文字物即ち刊行物の印刷に就ては獨歩を以て任じ得る事と自信致候に付續々御用命仰付被成下度奉願上候 敬白

活版石版 銅版製本 印刷所 博光舎

札幌區大通西三丁目

旅館

宮城

八重樫

惣藏

札幌南二條東一丁目創成橋際

電話(二三四)

蒸氣機 鋼製四輪車
 山用 鋼製四輪車
 架橋組立出王
 和洋式炭素燒農具
 諸器械製造及修繕

野島製罐工場 工場主 野島初之助

札幌區大通東三丁目一番地
 (電略ノシマ)

樺太の概況

樺太は南は宗谷海峡二十四哩を隔てし北海道と相對し、北は北緯五十度を限りて露領に接す、地形東南に狭く、南北に長く其地積は臺灣より少しく小なり、山脈南北に連亘し平地少しと雖も、ボロナイ川、ナイブナ川、ヌスヤ川、ルウタカ川の沿岸及びチピサニ、トンナイチヤ間にある湖沼の沿岸の如きは、皆沃野ありて農耕收畜に適せり、沿岸漁利に富むは人の普く知る所にして、鯨、鱒、鮭、鱈、鯡、昆布其他種々の魚介海産あり、山には樹木繁茂し、又た有用なる礦物を藏せり、樺太の主産をコルサコフと云ふ、昔時楠溪と稱しアニウ灣に臨める要港にして樺太民政署を置く、其東方大泊には新築家屋二百餘戸、商店、旅人宿等ありて日用品の需要に不便なし、ウラヂミロフカはコルサコフの北凡十里、ヌスヤ原野の中央に位し、樺太民政支署あり、將來有望の地なり、マウカは又西富内と稱し、西海岸に於ける樞要の地にして樺太民政支署を置く目下市街建設中なり、道路はコルサコフ港よりウラヂミロフカを経てナイブナ以北に通ずる幹線道路あり

樺太の概況

樺太の概況

樺太は南は宗谷海峡二十四哩を隔てし北海道と相對し、北は北緯五十度を限りて露領に接す、地形東南に狭く、南北に長く其地積は臺灣より少しく小なり、山脈南北に連亘し平地少しと雖も、ボロナイ川、ナイブナ川、ススヤ川、ルウタカ川の沿岸及びチピサニ、トンナイチヤ間にある湖沼の沿岸の如きは、皆沃野ありて農耕牧畜に適せり、沿岸漁利に富むは人の普く知る所にして、鯨、鱈、鮭、鱒、鱈、鱈、昆布其他種々の魚介海藻あり、山には樹木繁茂し、又は有用なる礦物を藏せり、樺太の主邑をコルサコフと云ふ、昔時楠溪と稱しアニウ灣に臨める要港にして樺太民政署を置く、其東方大泊には新築家屋二百餘戸、商店、旅人宿等ありて日用品の需要に不便なし、ウラヂミロフカはコルサコフの北凡十里、ススヤ原野の中央に位し、樺太民政支署あり、將來有望の地なり、マウカは又西富内と稱し、西海岸に於ける樞要の地にして樺太民政支署を設く目下市街建設中なり、道路はコルサコフ港よりウラヂミロフカを経てナイブナ以北に通ずる幹線道路あり

樺太の概況

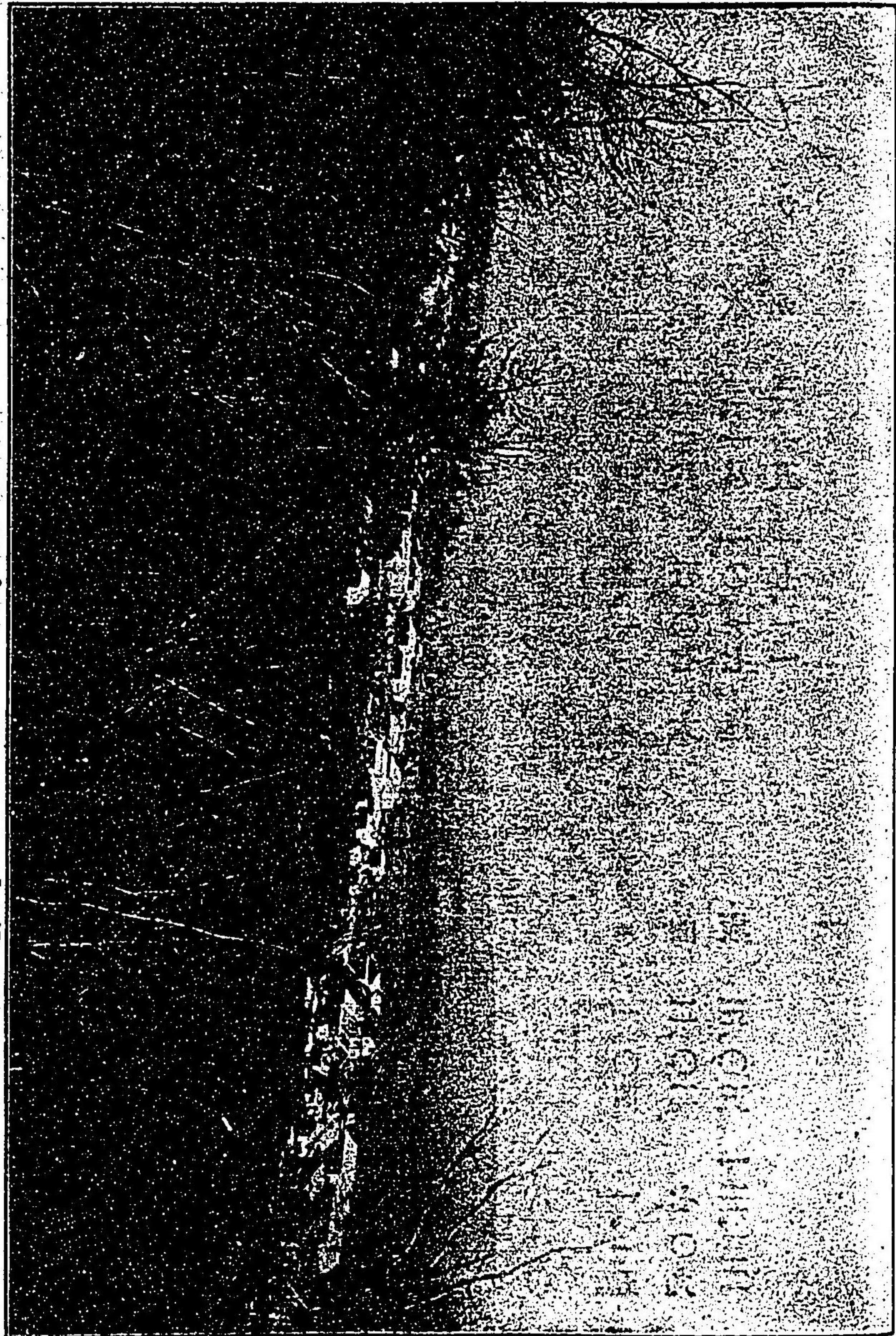
(二)

りて車馬を通ず、其他ウラヂミロンカよりブリイヂチエを経てルウタカに至るも
の及ブリイヂチエよりタリチエに至る支線あり、一小部分を除くの外は車馬を通
ず、又タリチエよりマウカに至る道路は昨年假りに開鑿したるものにして三四里
毎に驛傳の設けあり、徒歩にて往來するを得べし、今其里程表を示せば左の如し

樺 太 里 程 表

◎ウコラルヂミロンカ間

地名	各地間より	地名	各地間より
コルサコフ	二七	リストウエニ	一、二〇
ベルツヤパーヂ	一六	チノエ	二七
フダラヤパーヂ	一九	ホムトフカ	一、二七
トレニヤヤパーヂ	二七	バリシヤカエラニ	一、一七
ソロウイヨフカ	二七	ウラヂミロンカ	九、二四
ミツリヨフカ	一、一八		
ナウラヂ	ヨ		
	四、三五		



樺太の概況

樺の風景ノロケルニハ

(三)

●ノオアレクサンドロフ間(二、二九)

●スコエ、プスタキイ

●トコ、ルサ、アコ、ツ間

大 二八 二八 サアウイナバーヂ 一、二三 二、〇五

メ 二、二六 四、三一 ハールイカアメニ 二九 五、二四

チ 三、〇九 八、三三 アラクリ 四、〇三 一三、〇〇

ト 二九 一三、二九

●ルサ、コ、フ脚間

コ 九、一四 九、一四 タナナイ 三、〇〇 一三、一四

シ 四、〇〇 一六、一四 ベストロ 四、一八 二〇、三三

ト 五、〇〇 二五、三三 ナイナヤ 三、〇〇 二八、三三

ラ 三、〇〇 三一、三二 モルヂ海 五、〇〇 三六、三三

ノ 三、〇〇 三九、三三

原野の概況

開拓の事業を擧ぐるには殖民地の選定を以て急務となす、本島に於ては僅に其一部を選定せしのみにして未だ全部に亘らずと雖も亦以て本島原野の一斑を知るに足れり。今其選定を終りたるものを列挙すれば左の如し

▲選定済の植民地 本島に於ける選定済の植民原野はススヤ原野、ルウタカ原野の各一部とす、ススヤ原野に於ては其大部分を選定しミツリヨフカ、リストウエニ、チノエ、ホムトフカ、バリシヤエラニ、ウラヂミロフカ、ブリエヂチエ、トロイツコエ、ダリチエ、ルゴウオエ、ノオアレクサンドロフスコエ、ススヤ、プスタキイの八箇村に亘り、地積三万一千三十四町歩、其内農耕適地一万九千四百十九町歩、牧畜適地六千七百十五町歩とす、此原野の殘地には良好の地少し。
▲植物及地味 ススヤ川、ルウタカ川、其他河川の本支流沿岸は一帶の闊葉樹林にして楡最も多く、赤楊、ハントイ、柳、槭、櫻等之れに次ぎ、樹下にはハンゴンサウ、ヨブスマサウ、ヨモキ、イタドリ、ヤマソテツ等繁茂し、土性は上層は

腐植質壤土、下層は植質壤土又は砂質壤土等にして其肥沃なること北海道の沃地に同じ、此沿岸潤葉樹林地の外は多く針葉樹林にして其地積最も廣く、落葉松、蝦夷松、椴松、鬱蒼として繁茂し、又間々樺を混する所あり、樹下には蘚苔を密生し、所により雜草を生ず、其土性は概ね一寸乃至三寸の腐植土の下に植質壤土或は壤質壤土ありて、地味は沿岸潤葉樹林より稍や劣ると雖も、以て農耕若くは牧畜を爲すに適す、又赤楊、ヤチタモ等を生ずる樹林濕地あり、排水すれば耕作に適す、其他ヨシ、アイヌワラ等の繁茂せる草原濕地ありて沉炭性壤土より成る

▲村落 舊來の村落は皆露國政府の設けたるものにして概ね道路に沿ひ、半里乃至三里を隔て、各處に數十戸宛密集し、以て耕作牧畜に従事したり、河水は率ね清淨にして飲用に適し又各處とも井を穿ては容易に清水を得べし。

漁業の概況

本島の水産にして既に開發の緒に就きたるもの鱈、鮭、鱒、昆布、鱈の五種とす就中鱈は産額最も多く約二十万石を超へ將來尙は多少開發の餘地あり、漁具は建

網と曳網とに限られ、建網一統の收穫は千石以上二千石にして稀に三千石に近き收穫を爲すことあり、鱈は一ケ年の收穫二万石内外、鮭は四十石内外にして、此二種の漁業は今や其極点まで發達せるもの、如し、昆布は從來マウカ附近に於てのみ採取せしかば其産額僅に六千石内外に過ぎざれども、今後各沿岸に於て採取せば更らに幾倍の増收を期し得べく、鱈も又從來僅に二百石計の收穫に過ぎざりしも、該魚の沿岸に群棲すること疑なき事實なるを以て漁業者の増加と共に將來其收穫の増加すべきは毫も疑を容るべからず、其他北寄貝、帆立貝、大鮑、鰒等の數種に就ても亦頗る有望の漁業たるべき見込なりとす

氣候及農況

▲氣候 前記の原野は東と西とに山脈あるが故に海岸に近き處の外は海上氣象の影響を受くること少きを以て冬期寒き割合には夏期温暖にして植物の生育佳良なり、其生育期は五月下旬より九月下旬までにして、府縣にて夏作物と稱するものは概ね善く生熟す、雨は五月六月に多きも七月八月に至り順次減少するを以て收

獲に困難することなし、秋霜は大低九月下旬に始り、春霜は五月下旬に終る、雪は平年十月中旬又は下旬に下り始め、冬期積ること四五尺に達し翌年四月下旬又は五月上旬融解す、樺太は本邦中に在りては温度低しと雖も、露人が尙其北方に在りて農業を営むを見れば決して生活し難き地にあらざる也。

▲農作 従來の農業は露國人の營みし所に於て其方法甚だ粗放なりしが、地味肥沃なるを以て相應の收穫あり、今露人に就て其概況を調査するに左の如し。

- 一、小麦 五月中旬に播種し、其收穫は一反歩に付凡一石とす
- 一、大麦 五月下旬に播種し、其收穫は一反歩に付き一石とす
- 一、裸麥 五月下旬に播種し、其收穫は一反歩に付き一石とす
- 一、燕麥 五月下旬より六月上旬に播種し、其收穫は一反歩に付き一石六斗とす
- 一、馬鈴薯 六月中に種を下し、一反歩に付き平均三十五俵を收穫す
- 一、甘藍 六月中に下種して、移植せず、一坪に付き凡七箇を收穫す
- 一、牧草 チモシー、オーチャードグラス、白クローバー等にして一反歩に付き、

乾草八九十貫目を收穫す

右の外胡瓜、南瓜、蕪菁、蘿蔔、胡蘿蔔、午葵、蠶豆、豌豆、玉葱、トマトー及び菜の類を耕作せり、大麻、亞麻、蠶繭は特有作物として有望なり、果樹にはグースベリー、カーラント等あり

▲牧畜 露國人は戸毎に牛馬數頭より數十頭を飼育せり、又豚、綿羊、山羊を飼ひるものあり、馬は北海道の土産馬に類似し、性質柔順にして能く勞役に服す、牛は概ね雜種にして体格矮小乳量多からざれども漸次改良せば良牛を産するに至らん、飼育の方は五月下旬より十一月中旬に至る半年間は山野に放牧し、他の半年間は舍飼するを普通とせり、良好なる野草多きを以て飼料に乏しからず、又牧草も前に記する如く生育佳良なり

農民の移住地

▲同島の移住地 本年同島に於て農民を移住せしめたるは左の五ヶ所に於て其他は皆露國人の部落を爲したる所なれば家屋及既墾地あり

原野名	部 落	家 屋 數	既 墾 地
ス ス ヤ	ホムトフカ	三七	三五〇
同	バリシヤエラニ	二五	四二〇
同	ブリイジチエ	五六	八〇〇
同	ダリチエ	七八	一一四〇
ルウタカ	ルウタカ	三〇	二八、五

一、ホムトフカ 此地は同島の幹線道路に沿へる要驛にしてコルサコフの北七里十町、ウラヂミロフカの南二里十四町に位す、ホムトフカ川の沿岸は地味肥沃、潤葉樹の生育良好にして最も農耕に適す。

一、バリシヤエラニ 此地は同島幹線道路に沿ひてホムトフカの北三十三町に在り、河畔肥沃の地は農耕に適す、針葉樹林にして農牧に適する地域も亦少からず。

一、ブリイジチエ 此地はウラヂミロフカの西方十一町、ススヤ川と軍川との落合に位し、ルウタカ及マウカ方面に通ずる道路の分岐点にあり、河岸の地は肥

沃なり、又湿地あるも排水するときは容易に開墾し得べし、軍川以西の地は針葉樹に富むも亦た以て耕地とするに足る

一、ダリチエ 此地はブリイジチエの北西一里四町に位し、ウラヂミロフカより西海岸マウカに通ずる道路に沿ふて部落あり、土地肥沃にして數多の既墾地を認む、部落より以東は潤葉樹林、以西は針葉樹林なり、農村として將來有望の地なり

一、ルウタカ アニ灣の北一里にルウタカ川の東岸に位し、ウラヂミロフカを距ること九里十五町とす、又冬期は氷雪上に馬糞を用ひ海岸九里半にしてコルサコフに至るべし、河岸は地味肥沃にして農耕に適すと雖も、間々潮風の害あるやも知るべからず、ルウタカ川は此地迄小蒸氣船の航行容易なれば將來ルウタカ原野に於ける旅客貨物の出入点として有望の地なり

移住農民と其保護

一、移住民の組織 本年募集したる移住農民は北海道其他府縣よりしたるものに

農民の移住地、移住農民と其保護

(111)

して合計百戸とす、移住民の組織は成るべく五戸以上の團體を良しとす、其理由は一致團結して、相救ひ、相勵みて事業に従ひ以て良き部落を爲さしめんか爲めなり。

一、移住民の資格 同島に移住せんとするものは左の各項の資格を備ふることを要す。

- 一、同島に移住する覚悟あること
 - 二、身体強壯にして農業の勞役に堪ゆるもの二名以上あること
 - 三、性行不良ならざること
 - 四、移住後秋季まで一家を支持し得る糧食若くは資力あること
- 大工、鍛冶、木挽等職工にして農業を兼ね移住せんとするものは家族の開墾勞力に堪ゆるものに限り之れを許可せらるゝものとす。
- 一、家屋及土地の貸付 移住農民には戸毎に建物並に宅地三反歩以内及び其附近に於て未開地七町五反歩を貸付し、移住の初年には殊に二町歩以内の既墾地を

一時貸付使用せしむるものとす(軍令第四十四號官有地貸付假規則を熟覽すべし)

一、牛馬豚の貸付 戸毎に官有牛馬及び小豚各一頭つゝを貸付し之れより生れたる犢牛、仔馬を以て返納せしむ、又各村落に共同放牧場を設け、又官に種牛種馬を備置き巡回交尾せしめ、牛馬の改良を計る計畫なり(署令第十四號家畜貸付規則参照)

一、種子の貸與 移住の初年は約二町歩に播種すべき穀物の種子を貸與す、各種子の割合は大麥四反歩、裸麥四反歩、小麥四反歩、燕麥三反歩、馬鈴薯三反歩とす、但し蔬菜類は甘藍、蘿蔔、蕪菁、蕪菁、菘類、豌豆、菜豆を播種するを可とす、其種子は各地用意すべし(署令第十三號種子貸付規則参照)

耕種及開墾

移住民は家屋及若干の既墾地を貸付せらるゝが故に移住の初より著しき不便を感ずることなかるべし、先づ季節の後れざるやう既墾地に轉付を爲し、次に開墾に取掛るを順序とす。

一、種子 前に記すが如く移住の初年は官より二町に持付くべき種子を貸與せらるゝが故に蔬菜類の外は大抵之れにて足るべしと雖も、尙ほ不足ならば其地にて求むべし、府縣の種子物は氣候の違ふ爲め多く不作勝なれば携帯するの必要なし、但し短き期節に生育する蔬菜類は府縣の種子にても適當すべし、其他夏作物及草花類は持參して試作するも可なり。

一、播種季節の注意 同島は農作の時期短き故に播種の季節は最も勉強して後れざるやうにすべし、初年に豫期の收穫を得ざれば其困難少からざるものあるなり。

一、耕耘 再墾は普通唐鋤を用ゆるも、樹根なき畑にはアラオ及ハローを使用するを便利とす、草取りにはホー、レーキ等を用ひ、又た樹根なき畑にはカルチペーター(除草器)を使用すれば功程速なり。

一、開墾 新墾は府縣に於けるが如く丁寧にせんよりは北海道流に手輕くして多く開くを良しとす、先づ鋸及鉋を以て伐木し、枝を纏めて燒棄て下草は延燒せ

ざる豫防をなし、乾燥の時を見て燒拂ひ又は薪りて燒き、然る後唐鋤を以て開墾すべし、同道には北海道の如く笹の茂り居る處なき故に、開墾一層容易にして樹林地一反歩に付き熟練すれば八人乃至十七人位にて事足るべきなり。

一、新墾地の作物 新墾地は肥沃に過ぐるが爲め、麥の種類によりては莖幹のみ繁茂し結實少きことあり、斯る場合は馬鈴薯を作るを可とす、燕麥其他蔬菜類も亦相應の收穫あるべし。

一、家畜及肥料 家畜は之れを愛養し、運搬、耕耘に使用し、或は牛酪其他畜産の製造を爲すと共に肥料を取りて畑に施すべし、收穫の多きに安んじ、施肥を怠るときは後に至りて損失あるべきは勿論なり。

移住民の渡航

▲旅行の支度 樺太は氣候寒きが故に春季渡航するものは冬仕度を整ふるを安全とす、老人婦女の仕度には分けて注意すべし、荷物は衣服、夜具、家具、農具等にして破損し易きもの、荷嵩の大なるもの、外は成るべく持參するを可とす

荷物は堅固に荷造を爲し必らず名札を付けべし。

- ▲渡航の順路 小樽、コルサコフ間には郵船會社定期船ありて四月は一回以上、五月より十一月迄は毎月五回以上、十二月は二回以上航海す、此線路は函館、小樽線に接続し、而して函館、小樽と府縣との間には常に汽船の往復あるを以て、移住者は函館又は小樽に渡りて乗換ふべし、此の外社外船の小樽、函館等より本島に渡海するもの甚からず、又大家商船會社の日本海線は冬期の外毎月一回以上、敦賀、七尾、伏木、夷、新潟、函館、小樽を経てコルサコフに航するを以て日取りの都合に依りては之れに乗るを便とす。
- ▲瀛車賃及汽船賃の割引 樺太移住民の汽車賃、汽船賃は北海道移住民に準じて割引せらるゝ筈にて其筋にては目下交渉中なり。
- ▲樺太上陸後の保護 コルサコフ、大泊の上陸地には官費を以て移住農民休泊所を設け、上陸後目的地へ出發する迄の間無料にて宿料せしめ便宜を與へらるべし、又同處より移住地に至る沿道の驛遞及び旅人宿には特に契約して宿料及び

馬車賃の割引を爲し置かるゝものなり。

風俗衛生其他

- ▲決心 移住者は必らず移住地を以て永住の地と定め此處に樂しき新郷を開くの決心を要す、此決心あれば自然に勇氣も出て愉快に開墾の業を成就するを得べし。
- ▲協同一致 移住民は互に心を協せ、親切に交際し、相助け、相勵みて共に善良の風俗を維持し、事業を發達せしむるを期すべし、必らず一郷の平和を害するが如き舉動あるべからざるなり
- ▲大切なる心得 倦む勿れ、怠る勿れ、不良の人に親しむ勿れ、山師心を起す勿れ、麥や馬鈴薯を賤しき食物と思ふ勿れ、大酒を飲む勿れ、賭博を爲すなかれ
- ▲冬期の注意 人は忙はしき時より閑な時に善からぬ風に染み易きものなれば冬期長き本島に於ては最も注意せざるべからず、冬期の仕事としては伐木、炭焼俵編み(菅、麥稈にて)畜産上の製造、麻類纖維の製造、農具の修繕其外何事に

よらず働くべし。些細の事なりとて打棄て爐邊を圍んで無益に貴重の時を送るべからず、又老功の人に就き農業上の話などを聞きて智識を廣むるも肝要なり。▲家屋 官より貸與する家屋は露國人の住居したる丸太造にして暖爐其他の構造向は防寒に適し衛生に宜しきが故に妄りに改造せずして之れに住み慣るゝを可とす。

▲衛生の秘訣 北海道の例に依れば原野の移住民は最も健康なり、之れ其氣樂に働くか故なり、衛生の秘訣は決して六ヶ敷ものにあらず、安心と運動とにありと知るべし。

▲金融機關 中央金庫取扱として北海道拓殖銀行の出張所ありて本支店間に於ける爲替の取扱を爲すの外未だ銀行等の設あらざるも郵便局に於ては遠からず、通常爲替の取扱を開始する筈なりと云ふ。

▲賃金 コルサコラに於ける賃金は鍛冶一圓八十錢、大工一圓五十錢、木挽一圓二十錢、農夫一圓二十錢、普通人夫一圓とす、時に依りて多少の高低あり

營業案内

明治三十九年十月廿六日印刷
同 年同月卅一日發行

定價金四拾五錢

編發 札幌區南三條西一丁目十五番地
輯行 兼 秋 葉 源 治
人 兼

印刷人 札幌區大通西三丁目八番地
久 末 吉

印刷所 札幌區大通西三丁目八番地
博 光 舍

大賣捌所 札幌區南一條西三丁目
富 貴 堂

辯護士正六位 廣木登美二

事務所 札幌區大通西三丁目六番地
電話 二五八番

國產南部釜各種
銘茶及び茶器各種

右精々勉強仕候間御用命願上候

札幌區北一條西四丁目電燈會社前
南部釜屋

△ 關 ぐ の

技術化學作用

書齋額面柱掛標札
諸看板及硝子器等
美術なる花鳥畫揮
毫に應ず

其他ペンキ塗看板
意匠御好次第調進
可仕候

札幌南三條東二丁目十八番地

開新堂

鈴木富造



◎料理の新鮮にして美味なる
は札幌第一とす

鰻蒲焼 三川
川魚 三川
御料理 家

◎勉強と誠實は本店の特色
札幌區南六條西三丁目
成田山境内にあり

電話 二四四番

新鮮

牛肉 豚肉

鶏肉 鶏卵

札幌 バタ

札幌南二條西三丁目九番地
小口一太郎

電話三四〇
電略(一)

大連西三丁目

乳樂軒本店

電話一三三番

- 精撰バター 御仕出し
- 無菌牛乳
- 洋食一切 牛乳
- 輕便辨當 配達
- 純良ソーズ

停車場前

乳樂軒支店

○玉突き場の設けあり 電話五二四番

札幌 各種ノ慢性梅毒質新
 一婦人生殖器ノ慢性諸病
 一神經機旺盛ノ諸症
 一腺病及重病后ノ快復期
 一慢性皮膚病、輕久梅毒
 等ノ諸症ニ奇効アリ

札幌區北一條東四丁目
 札幌 溫泉
 札幌 溫泉

青物 乾物
 小林新平
 札幌南四條西三丁目五番地
 電話四百二十九番

30
500

サツホロ
サツホロ



世
有
礦
泉

日本

帝國

札幌北五條西八丁目五番地
札幌炭酸水合名會社
電話百二十一

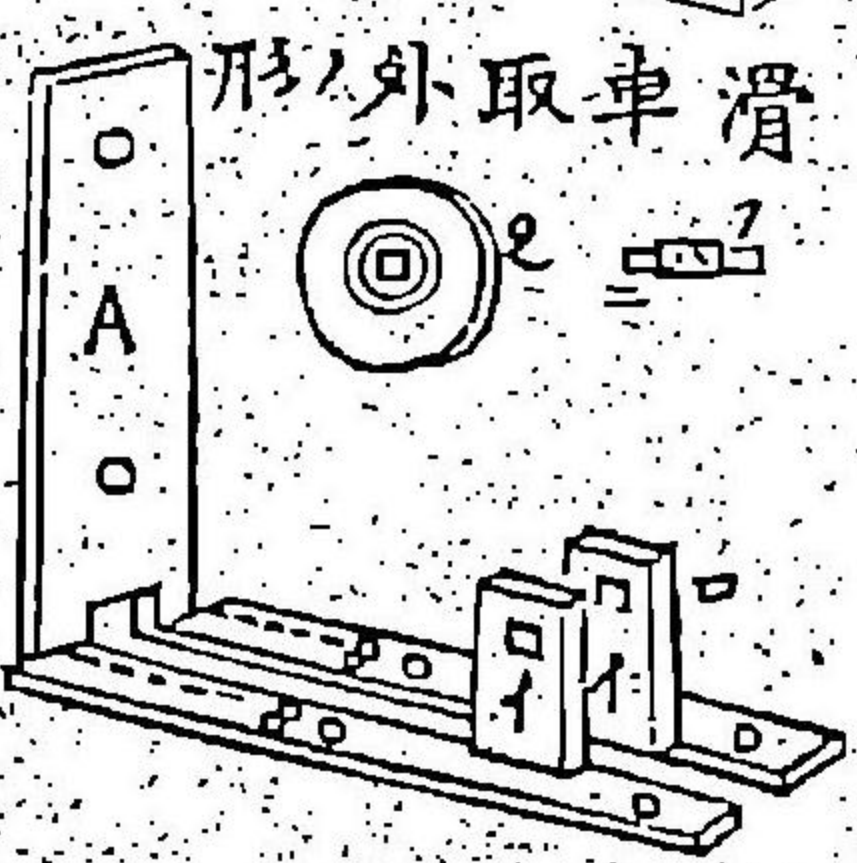
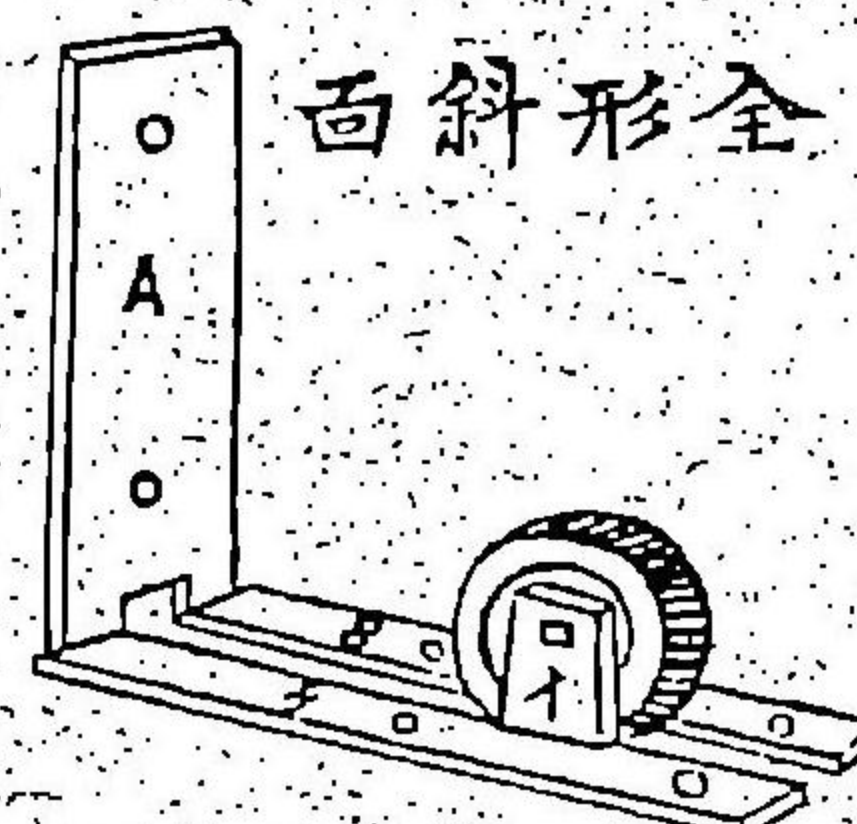
醇

無

良

比

新發明
專賣特許七八五二號
建具三德車專用
卸小賣



○此外和洋農具並鐵製品類は御注文に應じ
何品にても勉強廉價に調製仕候
札幌區南二條東二丁目十一番地
三德車製造發賣元

工場主
伊藤鐵工場
伊藤彌三郎

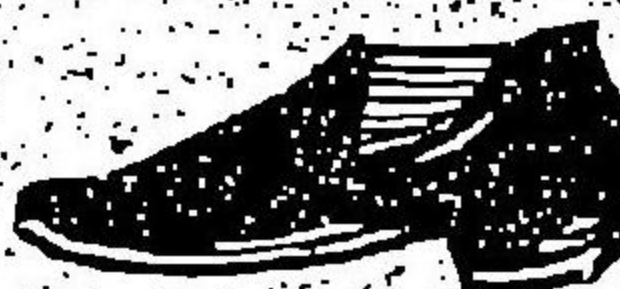
靴製
造附
屬品
販賣



下横山富藏

札幌南一條東二丁目十一番地

靴類
製造
販賣



コ
マ
ツ

南二條西二丁目十五番地

30
501

サツポロ



也
有
礦
泉

醇

無

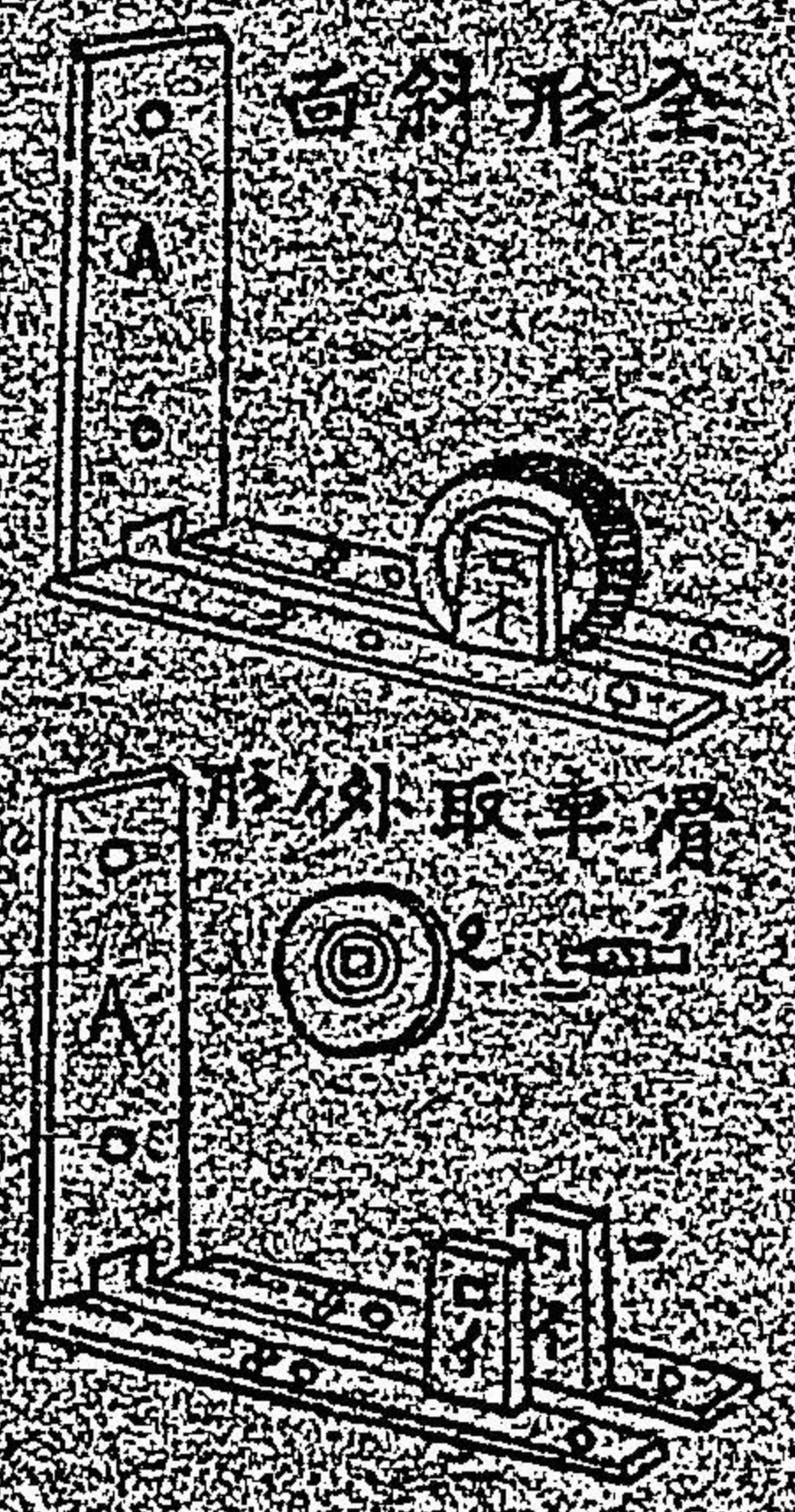
良

比

日本帝國
札幌北五條西八丁目吉番地
札幌炭酸水合名會社
電話百二十一番

新發明

專賣特許七八五二號
雙三德車
御小賣



○此外和洋器具並製成各種新式文明
何品均
札幌南三條東三丁目十一番地
伊藤鐵工場
伊藤彌三郎

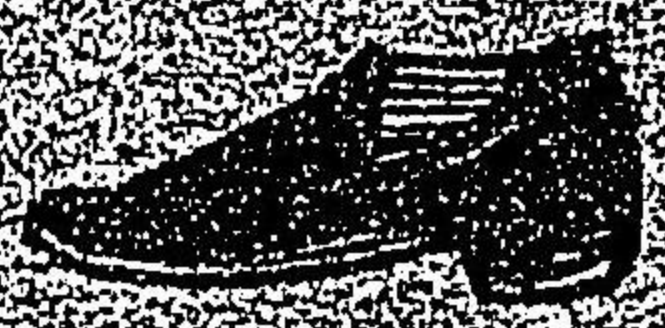
靴製造
賣品附製



今横山富藏

札幌南三條東三丁目十一番地

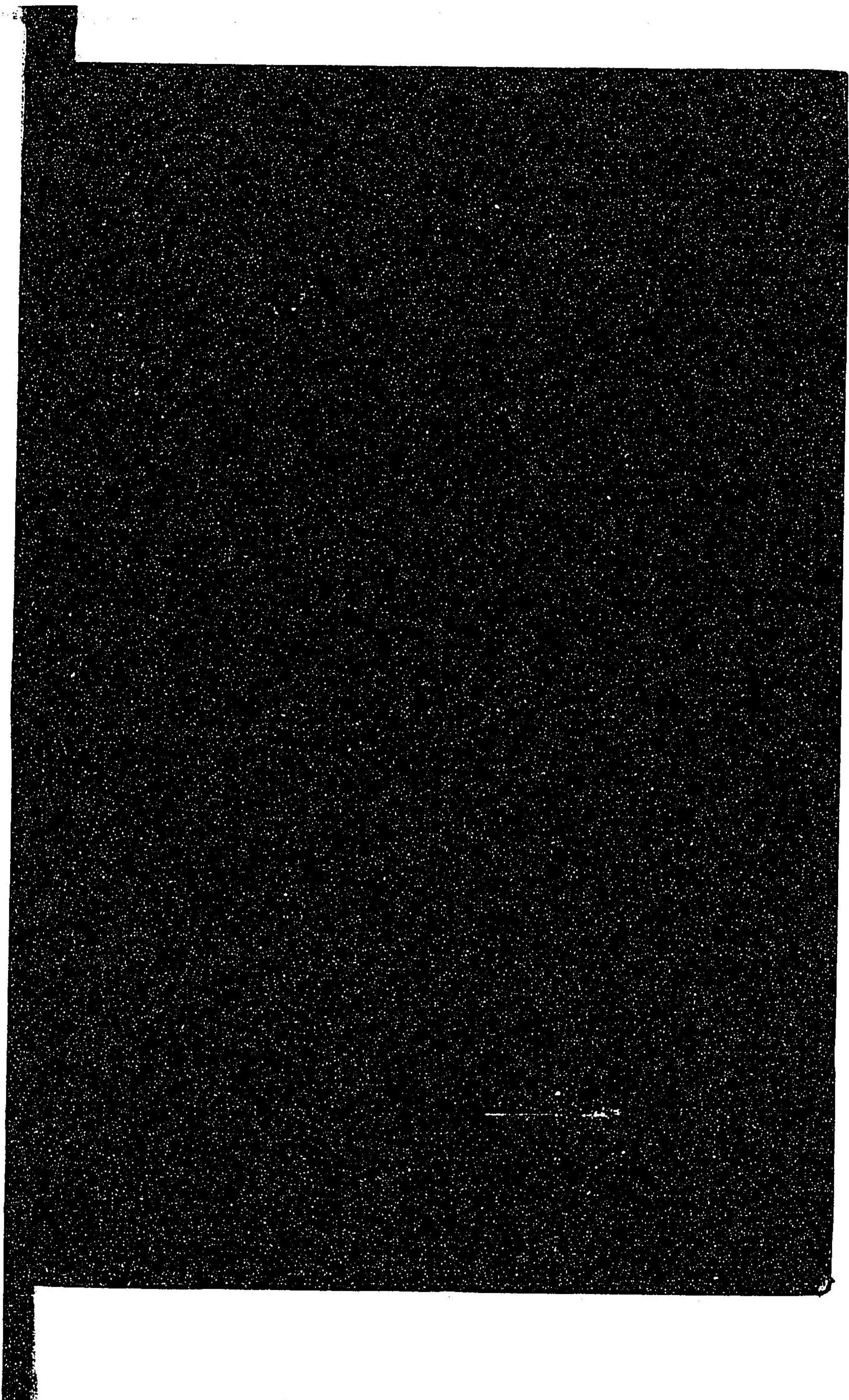
靴製類
販賣



コ
マ
ツ

南三條西三丁目十五番地

30
501



30
501

023198-000-4

30-501

札幌要覽

秋葉 源治 / 編

M39

ADC-0035



